

週刊誌4誌に見る震災関連記事 H23.3.11～H24.12.31発行分

当館では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所事故とそれに伴う福島県内の被災・復興に関する資料を、特に重要な資料ととらえ、「東日本大震災福島県復興ライブラリー」として、収集と提供に取り組んでおります。

本稿は、当館で所蔵している週刊誌4誌(週刊朝日、サンデー毎日、週刊新潮、週刊文春)の記事の中で、東日本大震災に関するもの、原発事故とそれともなう放射線に関する記事の中から、特に福島県に関わる記事を中心にを採録し、一覧にまとめました。

週刊誌で取り上げた内容は、将来的に見ると、新聞と同様にその時の時世をうつす貴重な記事になっていくと考えます。また、週刊誌は図書や月刊誌等と異なり、収集している機関や保存している年限も短く、収集保存していくことは重要なことのひとつだと考えています。現在、震災直後やその後1年間に発行された号は、既に入手が困難な状況になってきています。

今後も、東日本大震災並びに原発事故関連の資料の収集提供に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

凡例

- ・ 週刊朝日、サンデー毎日、週刊新潮、週刊文春の4誌から集録しています。
- ・ 平成23年3月11日から平成24年12月31日までに発行された号から集録しています。
- ・ 東日本大震災および福島第一原子力発電所事故、放射線等に関する記事の内、主に福島県に關係する記事であると採録者が判断した記事を収録しています。
- ・ 記事は巻号順に巻号、特集記事名、記事名、著者(编者、撮影者、構成者等)、掲載ページを掲載しています。
- ・ 角カッコ〔 〕で記入している部分は、データ採録者の推定による記載事項です。

【寄贈のお願い】

- ・ 東日本大震災関連の写真集・記録集等
- ・ 被災に関する調査報告書、復興に関する計画書・報告書、自治体発行広報誌の震災特別号等
- ・ 被災地及び県内外の避難先で発行されたミニコミ誌・フリーペーパー等
- ・ 個人が発行した手記、詩集等(自費出版物も含みます)
- ・ 東日本大震災関連記事が掲載されている雑誌(例えば、「女性セブン」等の当館未所蔵の雑誌)

これらの資料を所有されている方は、ご寄贈いただけませんか。可能でしたら、2部(保存用・貸出用)お願いいたします。

※寄贈の方法は持参いただくか、下記宛てにお送りください。なお、ご寄贈いただきました資料の取り扱いは、お任せいただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム
TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787 E-mail chiiki@library.fks.ed.jp

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|--|---|---|---|
| 第116巻第14号, 通巻5060号, 2011. 3. 31号 | 緊急復刊アサヒグラフ東北関東大震災全記録2011. 3. 11 | | |
| 第116巻第15号, 通巻5061号, 2011. 4. 1号 | 世界が注視する原発でいま、何が進んでいるのか！ 「福島フイフーズ」魂の叫び 緊急連載1 原発破局を阻止せよ！ 子供の未来奪う体内被曝の危険性 危機続く福島第一原発 「原子炉構造に欠陥あり」「GEスリー」元設計者が米メディア 福島原発事故は「人災」だ！！ 国民を不幸に陥れる「亡国の官邸」全内幕 体内被曝の真実 ホウレンソウ、牛乳…ほんとに大丈夫なの！？ 写真家・広河隆一さんが原発周辺の濃度測定 「放射能レベルの深刻さを知るべきだ」 コンセント抜いたか コンセントの呪縛 | 佐藤秀男[ほか]／著 広瀬 隆／著 堀井正明[ほか]／著 上杉 隆[ほか]／著 國府田英之[ほか]／著 三嶋伸一／著 嵐山 光三郎／著 | 18-21 22-23 24-26 36-39 40-41 41-42 132-133 |
| 第116巻第16号, 通巻5062号, 2011. 4. 8号 | 震災を生きる 日本の未来たち 福島第一原発事故の影響で避難所で過ごす女の子[写真] 出荷停止でなぜ「健康に影響なし」！？ 原発汚染食品 本当に知りたいQ&A 緊急連載2 原発破局を阻止せよ！ 食物連鎖で濃縮 放射能の危険な罠 東電の原子炉17基を止めた 佐藤栄佐久前福島県知事が告発 「国民を欺いた国の責任をただせ」 しがみつく女 連載104 欲しい情報 ルポ保坂展人前衆院議員が現場を歩く 見捨てられる街！？ 南相馬市民はいま… 郡山 避難所暮らしの作業員に原発へ「召集」の過酷／2週間ぶりに再開を果たした牛たちは… | 作田裕史[ほか]／著 広瀬 隆[ほか]／著 佐藤 栄佐久／談 室井 佑月／著 保坂 展人／著 佐藤秀男／著 | 5 22-29 30-31 32-33 47 188-189 189-190 |
| 第116巻第17号, 通巻5063号, 2011. 4. 15号 | 核最終処理まで30年もかかる！ 福島原発のデス・ロード 福島原発「最終処理」まで30年のデス・ロード 手ぐすね引いて待つ「原発復興利権」 原発破局を阻止せよ！ 3 放射能ばらまく人災に怒りの声を 汚染食品被曝量シンプル計算法 なにをどれだけ食べると危険なのか 地震発生から水素爆発、核燃料棒の冷却作業…東電社員、下請け作業員が語る 極限の作業と生活 「福島原発難民」ルポ スクープ！4号機内で社員2人の遺体を発見 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載633 小沢氏を震災の統合戦略本部長に起用せよ しがみつく女 連載105 わからないという不安 コンセント抜いたか 連載エッセー694 どこかで春が生まれてる ワイド震災列島 もっと不都合な真実 被災地支援か東京脱出か…震災で評価を「上げた人」「下げた人」 [江頭2:50] | 三嶋伸一[ほか]／著 広瀬 隆[ほか]／著 三嶋伸一／著 今西憲之[ほか]／著 佐藤秀男[ほか]／著 田原 総一郎／著 室井 佑月／著 嵐山 光三郎／著 今西 憲之[ほか]／著 | 18-21 30-31 24-25 26-29 30-32 33 46 236-237 252-253 |
| 第116巻第18号, 通巻5064号, 2011. 4. 22号 | 線量計は東電発表の「7倍」の数値を示した 突撃ルポ「原発の町」「メルトダウン」と書かれた保安院のメモ スクープ！ 「安定した」は真つ赤な“嘘” 福島原発3度目の水素爆発の危険性 推進派からも「政府は無策」と批判の声 鎌田實さんと山下俊一教授が緊急対談 チェルノブイリと福島原発 同じ病巣と相違点 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載634 政府発表だけを「無難」に報じる大マスコミの弊害 しがみつく女 連載106 誰のための情報か 緊急連載4 原発破局を阻止せよ！ 科学的な説明と汚染観測が必要だ 福島ルポ 原発施設の「内外」避難指示圏の「内外」、避難民は、作業員は… 半径20キロ圏内の浪江町 放置された悲しき遺体／富岡町の社員寮に3週間以上「閉じ込められた」／本社は何をやっているのか 本当に早くしないとヤバい／大熊町の病院で遺体のまま3週間放置されていた父 「お見舞い」に行ったはずがアラ！？ 被災者に励まされちゃった雅子さま[味の素スタジアム避難者への慰問] 原発大国から三つ星シェフら集結 炊き出しで飛び交う憶測 トラウマ女子大生いたのに！ わいせつ犯釈放した地検の罪 「ホウレンソウ食いてえな」生ライブで2度歌った斉藤和義 | 形山 昌由／著 三嶋伸一[ほか]／著 鎌田實[ほか]／談 田原 総一郎／著 室井 佑月／著 広瀬 隆／著 今田 俊[ほか]／著 今田 俊[ほか]／著 今田 俊[ほか]／著 今田 俊[ほか]／著 | 18-23 24-27 28-31 36 46 130-131 134-136 138-139 140-141 141-142 143 |
| 第116巻第19号, 通巻5065号, 2011. 4. 29号 | 響け！「負けないで」 福島第一原発写真(89年4月28日号)[写真] 3. 11から1ヵ月 「福島原発・想定外」徹底検証 緊急連載5 原発破局を阻止せよ！ 最悪レベル7に慣れてはいけけない 東電が社史で自賛していた 福島第一原発の虚しき「安全神話」 天皇ご夫妻が見せた「決意」と「象徴天皇」の形 平成版・玉音放送と「災後地方巡幸」でわかる「お二人の総決算」 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載635 終わりの見えない福島原発と菅首相の「事故」 「放射能がうつるう〜！」イジメ始まった福島差別の愚 カレーふるまい、がれきも除去 「男の中の男」駐日スリランカ大使 福島櫛葉町 東京電力協力会社作業員が見た 戦場と化したきた福島第一原発 | 三嶋伸一[ほか]／著 広瀬 隆／著 佐藤秀男／著 岩井 克己／著 田原 総一郎／著 神田知子[ほか]／著 神田知子[ほか]／著 今西 憲之／著 | 6-7 24-29 30-31 32-33 34-35 38 131-132 133-134 140-141 |
| 第116巻第20号, 通巻5066号, 2011. 5. 6-13号 | スクープ福島原発で異常高数値！ 東電が公表しない衝撃の放射線量データ 故郷を出る 震災を生きる [飯館村] 福島第一原発3号機周辺で、なんと900ミリシーベルト！ スクープ！東電が公表しない衝撃の詳細「放射線量データ」 原発破局を阻止せよ！スペシャル 巨大地震におびえる原発列島 福島第二原発 至近の「双葉断層」迫る直下型の危機 ワイド神々の手じまい 小川和久氏に「復興を阻害している」と名指された官房副長官 [福島第一原発放水作業] 辛坊治郎の甘辛ジャーナル 新連載1 福島原発の「致命的な作業」を誰が行うのが正義なのか しがみつく女 連載108 良心を問う【風評被害】 | 尾崎孝史／写真・文 今西 憲之[ほか]／著 広瀬 隆／著 上田 耕司[ほか]／著 辛坊 治郎／著 室井 佑月／著 | 5-8 18-21 24-25 29-30 40-41 50 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|--|---|-----------------------|--------------------|
| 第116巻第21号, 通巻5067号, 2011. 5. 20号 | 緊急連載7 原発破局を阻止せよ! 放射能汚染の学校 学童疎開を急げ | 広瀬 隆[ほか/著] | 25-26 |
| | しがみつく女 連載109 頼りたい、頼れない[市民団体と文科省との話し合い] | 室井 佑月/[著] | 47 |
| | 芸能界から文壇まで被災したわが「ふるさと」 私は震災で生まれ変わった 思い切り泣いてください 心の底から笑えるから 俳優 西田敏行 | 佐藤秀男/[編] | 133-134 |
| | 芸能界から文壇まで被災したわが「ふるさと」 私は震災で生まれ変わった 強烈すぎて作品にできない 物不足と放射能からの脱出 作家 沖方丁 | 田中裕康/[編] | 136-137 |
| | 芸能界から文壇まで被災したわが「ふるさと」 私は震災で生まれ変わった 「約束恐怖症」ロック野郎がふくしまに捧ぐ究極愛 クリエイティブディレクター 箭内道彦 | 佐藤秀男/[編] | 138-139 |
| | 芸能界から文壇まで被災したわが「ふるさと」 私は震災で生まれ変わった 私の20代を豊かにしてくれたマイカーと地図と色鉛筆 フリーアナウンサー 住吉美紀 | 佐藤秀男/[編] | 139-141 |
| 第116巻第23号, 通巻5069号, 2011. 5. 27号 | 官邸メルトダウン 浜岡原発停止はフクシマの「罪滅ぼし」 | | |
| | 西成で騙された原発作業員“衝撃”診断書を独占入手! | | |
| | 暖簾に肘鉄 連載486 復興構想会議から | 内館 牧子/[著] | 42-43 |
| | 連載ルポ8 揺れる被災地村長にあふれた涙と思い 福島・川内村警戒区域内一時帰宅 福島第一原発で60代男性死亡 同僚作業員が語る「過酷作業」 | 佐藤秀男/[著] 今西 憲之/[著] | 135-137 137 |
| 第116巻第24号, 通巻5070号, 2011. 6. 3号 | 梅雨・猛暑・台風シーズン間近 放射能から身を守れ! | | |
| | 計画避難の福島県飯館村 村長のアルバム | 尾崎孝史/取材・文 | 8-10 |
| | 政府・東電の情報隠蔽が生む 終わりになき「放射能不安」地獄 | | 18-20 |
| | 梅雨・猛暑・台風シーズン間近 放射能から身を守れ! | 神田 知子[ほか/著] | 20-27 |
| | しがみつく女 連載111 哀しいポジティブ | 室井 佑月/[著] | 45 |
| | 愛される理由 ヒット作を読み尽くす『原発事故 残留汚染の危険性』(武田邦彦) 原発推進派の客観的な視点 | 長 蘭 安浩/[著] | 96 |
| | おきばり記者コミヤマの「これは事件どす!」復興が進む中で顕在化してきた 震災ショックに苦しむ子どもの「心のなか」 | 小宮山明希/[著] | 119-121 |
| | このままでは数千匹が餓死する 福島原発20キロ圏内 ペットたちはいま | 白川 昌彦/[著] | 128-129 |
| | 福島県内放射能汚染 専門家も「ありえない」小中学校20ミリシーベルト問題 国の基準に翻弄される保護者たち | 藍原 寛子/[著] | 132-133 |
| | 福島原発工事の最前線である“疑惑企業”が大活躍[水谷建設, 西松建設] | 今西 憲之[ほか/著] | 141 |
| 第116巻第25号, 通巻5071号, 週刊朝日緊急増刊 朝日ジャーナル | 原発と人間 | | |
| 第116巻第26号, 通巻5072号, 2011. 6. 10号 | 放射能汚染 米、野菜、肉、魚介類…「食べてはいけない!」見分け方 | | |
| | ポスト3. 11を生きる アートの叫び [Chim ↑ Pom] | 時津剛/写真 | 5-7 |
| | 続々と! 脱原発ポスター | 石井 真弓/文 | 8 |
| | ドン小西のイケてるファッションチェック 512 温家宝(中国首相)+菅直人 [福島市の避難所] | ドン小西/[著] | 11 |
| | 終わりになき放射能汚染 魚、貝、肉、野菜、果物、米…食べていいものはこう見分けろ | | 18-26 |
| | じわじわ広がる土壌・海水汚染 食品安全検査は機械も人も足りずにお手上げ | 大貫聡子[ほか/著] | 27-29 |
| | ジャーナルが伝えたゲンパツ 緊急増刊「朝日ジャーナル 原発と人間」 | | 32-33 |
| | 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい! 連載640 海水注入問題の「茶番劇」と内閣不信任案の行方 | 田原 総一郎/[著] | 34 |
| | 辛坊治郎の甘辛ジャーナル 連載5 原発への判断を誤ったのは現政権と東京電力だけなのか | 辛坊 治郎/[著] | 36-37 |
| | 暖簾にひじ鉄 連載488 福島の花っこ | 内館 牧子/[著] | 40-41 |
| | しがみつく女 連載112 それは…ないない | 室井 佑月/[著] | 43 |
| | 池田教授の机上の放論 連載56 すべての原発を徐々に廃炉に | 池田 清彦/[著] | 135 |
| | 鎌田貴さん全員避難の飯館ルポ お年寄りと牛の涙 | 鎌田 実/[著] | 166-167 |
| 飯館村ルポ「学校は村の希望でありたい」子どもに寄り添う教師たちの思い | 佐藤秀男/[著] | 168-169 | |
| 第116巻第27号, 通巻5073号, 2011. 6. 17号 | 辛坊治郎の甘辛ジャーナル 連載6 天下の暴論。国民は原発賠償に伴う負担を一切拒否したらどうか | 辛坊 治郎/[著] | 40-41 |
| | しがみつく女 連載113 問題発言?なにを今更 | 室井 佑月/[著] | 46 |
| | 大震災 福島第一原発近くで2カ月半元気に走り回るダチョウ | 今西 憲之/[著] | 143 |
| 第116巻第28号, 通巻5074号, 2011. 6. 24号 | 数値一挙掲載 あなたの街の放射能汚染 | | |
| | 福島・宮城・岩手 中学校の雨どいの下で45. 1マイクロシーベルト [福島市立渡利中] | 大貫聡子[ほか/著] | 18-21 |
| | 暖簾にひじ鉄 連載490 記憶の風景 [相馬野馬追] | 内館 牧子/[著] | 44-45 |
| | ルポ「計画避難」飯館村で生きるジイと4世代家族の記録 M8大型余震のXデー | 佐藤秀男/[著] 篠原大輔/[著] | 128-130 140-141 |
| 第116巻第30号, 通巻5076号, 2011. 7. 1号 | 食べてはいけない! 夏の食材 枝豆、カボチャ、とうもろこし、カツオ、アユ、桃、ブドウ… 見分け方 | | |
| | 放射能に強い「夏の食材」はこれだ! | | 18-26 |
| | 辛坊治郎の甘辛ジャーナル 連載8 政府の被曝基準は楽観的すぎる。なぜ、避難区域を広げないのか? | 辛坊 治郎/[著] | 38-39 |
| | 最後の審判227 バルミューダデザイン グリーンファン2 VS. ダイソン エアマルチブライアーAM01[福島第一原発] | フェルディナント・ヤマグチ/[著] | 115 |
| | 不安 被害額は数億円規模に 警戒区域は無法地帯 | 今西 憲之/[著] | 143 |
| 写真家・尾仲浩二がたどる 失われた町を訪ねて 小名浜(福島県) 1992年 | 尾仲 浩二/写真 | 146 | |
| 第116巻第32号, 通巻5078号, 2011. 7. 8号 | あなたの大切な犬、猫、うさぎ、魚… 放射能・震災からペットを守る! | | |
| | 災後100日 被災地のペットはいま | 大貫聡子[ほか/著] | 21-22 |
| | 原発破局を阻止せよ! 14 福島汚染深刻 学童疎開に協力を | 広瀬 隆/[著] | 26-27 |
| | 最後の審判228 東大・大橋教授 VS. 京大・小出助教 教授と助教じゃ、給料、退職金、年金…も天と地ほど差があるよ[福島第一原発] | フェルディナント・ヤマグチ/[著] | 159 |
| 劣情 保安院 西山審議官の“燃料棒”に火をつけた経産省職員の素性 | 森下 香枝/[著] | 174 | |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|--|---|--------------|---------|
| 第116巻第33号、 通巻5079号、 2011. 7. 15号 | 住宅、家具、園芸用品、化粧品… 忍び寄る放射能から家族を守れ！ | 今田 俊[ほか／著] | 18-23 |
| | 辛坊治郎の甘辛ジャーナル 連載10 レベル7事故を起こした日本をIAEAはなぜ批判しないのか | 辛坊 治郎[著] | 40-41 |
| | お代は見てのお帰りに 連載169 「福島原発行動隊」と「七夕祭り」 | 小倉 千加子[著] | 46 |
| | 安心して暮らすために… 放射能除染を徹底せよ | 篠原大輔[ほか／著] | 135 |
| 第116巻第34号、 通巻5080号、 2011. 7. 22号 | 「食品」から「解毒法」まで放射能の疑問に答える | 今田 俊[ほか／著] | 18-26 |
| | しがみつく女 連載118 ホームページを立ち上げました | 室井 佑月[著] | 47 |
| | 独占スクープ！！ 福島第一原発最高幹部がついに語ったフクシマの真実 前編 | 本誌取材班[著] | 138-142 |
| 第116巻第35号、 通巻5081号、 2011. 7. 29号 | 放射能の食品被害 ついに西日本へ 本紙デスクも食べていたセシウム汚染牛肉 | 上田耕司[ほか／著] | 18-21 |
| | 家族のために知っておきたい放射能を避ける穴場「行楽スポット」はここだ 夏本番 海へ 山へ | 神田 知子 | 22-27 |
| | 独占スクープ！！ 福島第一原発最高幹部がついに語ったフクシマの真実 後編 「新工程表はデタラメ」 | 本誌取材班[著] | 28-32 |
| | 原発破局を阻止せよ！ 17 事故の責任者を刑事告発した理由 | 広瀬 隆[ほか／著] | 140-141 |
| 第116巻第36号、 通巻5082号、 2011. 8. 5号 | セシウム牛肉全国へ 食肉メーカー、スーパー、百貨店、料理店などを直撃！ 「おたくの肉は大丈夫？」 | 神田 知子[ほか／著] | 18-21 |
| | 本紙記者が体験 体内から「まさかの」セシウム 福島県民は大丈夫か これがホールボディ検査だ！ | 佐藤秀男[著] | 30-33 |
| | しがみつく女 連載120 出番ですよ【放射能汚染についての専門家】 | 室井 佑月[著] | 45 |
| | 新書の小径 土下座を求めるあまり理解力が低下している『ルポ 東京電力原発危機』 | 青木 るえか[著] | 98 |
| | 独占スクープ！ 第3弾 福島第一原発“最高幹部”が語るフクシマの真実 番外編 「放射性物質200万分の1に減った」はウソ | 本誌取材班[著] | 133-135 |
| 第116巻第37号、 通巻5083号、 2011. 8. 12号 | おきばり記者コミヤマの「これは事件どす！」「原発離婚」「放射能別居」「避難所婚」被災地で決断する女たちのホンネ | 小宮山明希[著] | 130-132 |
| | 放射能 2百キロ圏でがん患者40万人！？ ECRRバスビー博士が警告 | きくち ゆみ[著] | 147 |
| 第116巻第39号、 通巻5084号、 2011. 8. 19号 | スクープ！ 異例の現役総理単独インタビュー108分 総理・菅直人 「3. 11後」を語る | 常井健一／聞き手 | 18-23 |
| | 緊急掲載！ フクシマの真実 福島第一原発「最高幹部」が解説 10シーベルト検出 「汚染源が燃料棒の可能性は否定できない」 | 本誌取材班[著] | 27-29 |
| | 原発破局を阻止せよ！ 20 原発で検出された10Sv本当の意味 | 広瀬隆[ほか／著] | 30-31 |
| | 夏休み特大ワイド 真夏の夜の事件簿 居並ぶ国会議員を硬直させた児玉龍彦東大教授の魂の叫び | 今田瞬[ほか／著] | 132 |
| 第116巻第40号、 通巻5086号、 2011. 8. 26号 | 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載650 「脱原発」を唱えるだけで問題は解決するのか | 田原 総一郎[著] | 33 |
| | しがみつく女 連載123 福島の人々の声を聞きたい | 室井 佑月[著] | 43 |
| 第116巻第41号、 通巻5087号、 2011. 9. 2号 | スクープ！ 放置される全国195カ所の「放射性物質」 3・11首都圏でウラン燃焼寸前だった！ | | |
| | 水木しげるが描いた福島原発の“闇” | 林 るみ[著] | 10-11 |
| | 福島原発10キロ圏内の耳を疑う話 特別扱いで川から発掘？ 「富岡町長の金庫」の謎を追う | 佐藤秀男[著] | 24-26 |
| | ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ…フクシマ 公文書で判明した 米核戦略の深層 悪評高い「許容量20ミリシーベルト」の原点 | 高橋 博子[著] | 34-37 |
| | しがみつく女 連載124 信用するには無理がある | 室井 佑月[著] | 45 |
| | 週刊図書館 書いたひと しりあがり寿 人間そのものは滅びないという希望『あの日からのマンガ』 | 藤村 かおり[著] | 75 |
| | 週刊図書館 原発・放射能特集 話題の新刊『福島原発難民』若松丈太郎 | 笠間 直穂子[著] | 78 |
| | 週刊図書館 原発・放射能特集 話題の新刊『原発のウソ』小出裕章 | 西條博子[著] | 78 |
| | 週刊図書館 原発・放射能特集 人間文庫『原発労働記』堀江邦夫 当事者感覚なし 原発村の王様たち | 温水ゆかり[著] | 79 |
| | 週刊図書館 原発・放射能特集『わが子からはじまる 食べ物と放射能のはなし』安田節子、『放射線から子どもの命を守る』高田純 | | 79 |
| | 週刊図書館 原発・放射能特集 愛される理由 ヒット作を読み尽くす 原発より危ない、動かしている連中『原子カムラを超えて』飯田哲也、佐藤栄佐久、河野太郎 | 永江 朗[著] | 80 |
| | 犬ばか猫ばかペットばか 夏休みSpecial2 ブログで大人気 ウチのニャンコが世界一！ 2匹の無事にホッ 東日本大震災「アメショっす！」 | 藤村 かおり[ほか／著] | 105-106 |
| | 8・15官邸で菅首相に直言した 児玉龍彦・東大教授が訴える 「子供&妊婦の甲状腺がん膀胱がんに気をつけろ！」 | 森下 香枝[著] | 140-142 |
| 第116巻第43号、 通巻5089号、 2011. 9. 9号 | 東電も知らないスクープシリーズ第5弾！ 福島第一原発“最高幹部”が本誌だけに語ったフクシマの真実 新浄化装置「サリー」稼働でもこれだけある不安 | 本誌取材班[著] | 26-28 |
| | 原発破局を阻止せよ！ 23 「原発文化人」に現在の意見を問う | 広瀬 隆[ほか／著] | 126-127 |
| 第116巻第44号、 通巻5090号、 2011. 9. 16号 | スクープルポ 福島第一原発に入った！ | | |
| | 独走スクープ福島第一原発完全ルポ第1弾 本誌記者が現場で見た、撮った 原子炉建屋の中は木端みじんだった | 今西 憲之[ほか／著] | 18-27 |
| | 原発破局を阻止せよ！ スペシャル対談 止まらない放射能拡散、広がる食品汚染、迫る大地震…「原発は現地で止めるしかない」 | 広瀬 隆[談] | 33-35 |
| | フィルムバッジで見た被曝 鎌田實が語る怖い自宅の「ミニホットスポット」 | 鎌田實[談] | 130-132 |
| 第116巻第45号、 通巻5091号、 2011. 9. 23号 | 本誌でしかわからないフクシマの真実 独占スクープ！ 原発ルポ第2弾 政府も東電もいい加減にしろ！ このままでは原発テロが起きる | 今西 憲之[ほか／著] | 22-25 |
| | 原発事故から半年 ルポ福島県伊達市 女たちの3. 11 避難勧奨で引き裂かれた地域の固い絆 | 橋 由歩[著] | 150-153 |
| | 本誌でしかわからないフクシマの真実 政府・東電も、まだ大本営発表を続けるのか 本誌スクープ映像を私はこう見た 回収しきれない放射性物質 いかにこれに対応すべき | 住田健二[著] | 154-155 |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|---|---|--|---------------------------|
| | 本誌でしかわからないフクシマの真実 政府・東電よ、まだ大本営発表を続けるのか 本誌スクープ映像を私はこう見た 地下に防壁を作らなければ汚染は更に拡散する | 小出 裕章/[著] | 155-156 |
| | 本誌でしかわからないフクシマの真実 政府・東電よ、まだ大本営発表を続けるのか 本誌スクープ映像を私はこう見た 2号機の「きれいさ」が原発の耐震脆弱性を示した | 田中 三彦/[著] | 156-157 |
| | 本誌でしかわからないフクシマの真実 政府・東電よ、まだ大本営発表を続けるのか 本誌スクープ映像を私はこう見た コンクリート壁がはがれ塗料が焦げない理由 | 奈良林 直/[著] | 157 |
| | 原発破局を阻止せよ！ 25 首都圏の放射能と汚染食品の恐怖 | 広瀬 隆[ほか/著] | 158-159 |
| 第116巻第47号, 通巻5093号, 2011. 9. 30号 | スナックの灯は消えない 宮城・福島の前線街へ カサブランカ・凡 福島市 独占インタビュー 発言は本当に不適切だったのか？あの夜何があったのか？ 鉢呂前 経産相が語った失言騒動の一部始終 | 都築 響一/写真・文 大貫 聡子/[編] | 8-9 23-24 |
| | 独走スクープ！ 原発完全ルポ第3弾 本誌でしかわからないフクシマの現実 東電が主 張する「事故原因は津波」の大ウソ | 今西 憲之[ほか/著] | 25-27 |
| | 辛坊治郎の甘辛ジャーナル 連載21 「高濃度汚染の車」が物語る 今この国で進む事 態とは？ | 辛坊 治郎/[著] | 36-37 |
| | しがみつく女 連載128 残酷な言葉 [死の町・中間所蔵施設] | 室井 佑月/[著] | 43 |
| | 実りの季節こそ気をつけろ！ 放射能汚染 秋の食材 賢い選び方 | 神田 知子[ほか/著] | 136-139 |
| | エネギヤルが地球を救う！！ [さおりん・エコめぐ] | 崔承燾/写真 | 150-152 |
| 第116巻第48号, 通巻5094号, 2011. 10. 7号 | 福島第一原発“最高幹部”が語る 原発は年内に冷温停止しない 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載656 放射性物質をまき散らすことが 「合法」の日本 | 本紙取材班/[著] 田原 総一郎/[著] | 24-26 40 |
| | しがみつく女 連載129 あなたは手を挙げなくてよしい [菅首相] | 室井 佑月/[著] | 49 |
| | KEY PERSON 目キキ&耳キキ 芝居で「希望」を手渡す 西田敏行 | 菊地陽子[ほか/著] | 53 |
| | 「亡国原発」と闘った男・石丸小四郎の証言 上 「金をケチって」招いた史上最悪の事故 | 永尾 俊彦/[著] | 128-130 |
| 第116巻第49号, 通巻5095号, 2011. 10. 14号 | FROM F 01 フクシマの問題、大人は逃げるな 「亡国原発」と闘った男・石丸小四郎の証言 下 人の心を蝕む原発の魔性 | 石田 葉月/[著] 永尾 俊彦/[著] | 11 34-36 |
| | 辛坊治郎の甘辛ジャーナル連載23美談よりも合理的思考を。5年後のコメは大丈夫か？ | 辛坊 治郎/[著] | 38-39 |
| | しがみつく女 連載130 どうして報道少ないの？ [福島原発事故のその後] | 室井 佑月/[著] | 45 |
| 第116巻第50号, 通巻5096号, 2011. 10. 21号 | FROM F 02 すべて測れ。農地を継いでいくために 辛坊治郎の甘辛ジャーナル連載24放射能対策には「無知の知」こそが大事ではないか？ 愛される理由 ヒット作を読み尽くす 震災の全体像に迫る一冊『春を恨んだりほし ない』池澤夏樹 | 小山 良太/[著] 辛坊 治郎/[著] 長 蘭 安浩/[著] | 9 38-39 80 |
| | 震災後、注目される日本食の「原点」「古代食」を食べて元気に長生きしよう | 永山久夫[ほか/著] | 130-132 |
| | 衝撃！ 原発の敷地外からプルトニウム検出 スロンチウムは80キロ圏に拡散 | 神田知子[ほか/著] | 133-135 |
| | 本誌でしかわからないフクシマの真実 福島第一原発“最高幹部”がプルトニウム検出 の真相を語る 「調べればもっとひどい現実がわかる」 | 本誌取材班/[著] | 136-137 |
| 第116巻第52号, 通巻5098号, 2011. 10. 28号 | FROM F 03 「帰りたい」を、萎えさせない 原発破局を阻止せよ！ 30 東電の傲慢さを集団訴訟で裁く時 | 丹波 史紀/[著] 広瀬 隆/[著] | 13 36-37 |
| 第116巻第53号, 通巻5099号, 2011. 11. 4号 | FROM F 04 除染するほど、「住めない」と思う しがみつく女 連載133 東京新聞が正しい 週刊図書館 「想定外」の災害が喚起する日本SFの視点 『3. 11の未来 日本・SF・ 創造力』笠井潔、巽孝之監修 | 荒木田 岳/著 室井 佑月/著 長山 靖生/[評] | 13 49 79 |
| | 原発破局を阻止せよ！ スペシャル対談 東電はごまかしている！ 「津波前から原発は 制御不能だった」の決定的証拠 | 広瀬 隆/[談] | 142-144 |
| 第116巻第54号, 通巻5100号, 2011. 11. 11号 | 福島第一原発から4. 7キロ 命の現場は、いま [双葉病院] FROM F 05 このままだと、大学がなくなる 原発破局を阻止せよ！ 32 食品にセシウムを入れたのは誰だ！ 週刊図書館 報道ラッシュのあと、写真家が見たものは？ 『東日本大震災 写真家17 人の視点』アサヒカメラ編集部 | 時津剛/写真 大黒太郎/[著] 広瀬 隆/[著] 飯沢 耕太郎 | 5-9 11 36-37 73 |
| | 林野庁が本格調査へ 来年2月 東日本はセシウム花粉に覆われる 「病院関係者が患者を放置した」と報道された 双葉病院の真実 | 作田裕史/[著] 鈴木市郎[ほか/談] | 130-131 134-136 |
| | 週刊朝日新聞 徹底検証 東電に告ぐ！ これでもまだ「地震破壊説」を無視するか？ | 堀井正明/[著] | 141-142 |
| 第116巻第55号, 通巻5101号, 2011. 11. 18号 | FROM F 06 私がいま、福島に赴任する理由 本誌でしかわからないフクシマの現実 福島第一原発“最高幹部”が語る「これは臨 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載662 震災と原発で国に捨て置かれた 南相馬市長の怒り | 小松 知未/[著] 本誌取材班/[著] 田原 総一郎/[著] | 11 24-25 34 |
| | 週刊図書館 話題の新刊『クロニクルFUKUSHIMA』大友良英 | 笠間 直穂子/[評] | 70 |
| | 原発破局を阻止せよ！ 33 山河にセシウムを降らせたのは誰だ！ | 広瀬隆[ほか/著] | 128-129 |
| 第116巻第56号, 通巻5102号, 2011. 11. 25号 | FROM F 07 報じられない外国人学校の現実 [福島朝鮮初中級学校] しがみつく女 連載 136 恐ろしい想像 [臨界の可能性] | 金 炳学/[著] 室井 佑月/[著] | 11 45 |
| 第116巻第57号, 通巻5103号, 2011. 12. 2号 | FROM F 08 「千分の1」の確率のとらえ方 週刊図書館 誰も責任をとらない日本資本主義の“死” 『東電解体 巨大株式会社の終 焉』奥村宏 | 後藤 忍/[著] 芹沢 俊介/[評] | 11 69 |
| 第116巻第58号, 通巻5104号, 2011. 12. 9号 | FROM F 09 考えるべきは「村民の復興」 [飯館村] しがみつく女 連載138 会見に田中を戻せ [平等党 田中昭] 週刊図書館 働くな、土地を放棄せよ、が蝕む人の心 『裸のフクシマ 原発30km圏内 で暮らす』たくきよみつ 野田総理よ、逃げるな！ 福島地元ルポ 放射能汚染ごみ処分場を早く決めよ | 千葉 悦子/[著] 室井 佑月/[著] 上野昂志/評 佐藤秀男/[著] | 11 54 81 139-141 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|--|-------------------|---------|
| 第116巻第61号, 通巻5107号, 2011. 12. 16号 | FROM F 10 震災が日本の音環境を変えた | 永幡幸司/[著] | 11 |
| | 東電がひた隠す福島第一原発 吉田所長の「本当の病状」 | 本誌取材班/[著] | 25-27 |
| | 週刊ノンフィクション劇場 名門・双葉高校野球部と原発 同校OBの太宰賞作家が見たフクシマ 前編 街には戻れない。でも野球がやりたい | 志賀 泉/[著] | 128-132 |
| 第116巻第62号, 通巻5108号, 2011. 12. 23号 | FROM F 11 復興の肝は「かーちゃん」の力 [かーちゃんのカ・プロジェクト] | 塩谷弘康[ほか]/著 | 11 |
| | しがみつく女 連載140 誤魔化すんじゃないよ [福島第一原発吉田前所長, 原発事故についての用語] | 室井 佑月/[著] | 45 |
| | ビジネス成毛塾 厳しい時代に生き残る食生活 『戦国の食術 勝つための食の極意』 永山久夫著 | 成毛 真/[著] | 77 |
| | 原発破局を阻止せよ 38 収束が見えない放射能汚染の拡散 | 広瀬 隆/[著] | 122-123 |
| | 週刊ノンフィクション劇場 名門・双葉高校野球部と原発 同校OBの太宰賞作家が見たフクシマ 後編 消えゆく母校の運命を越えて | 志賀 泉/[著] | 124-128 |
| 第116巻第64号, 通巻5110号, 2011. 12. 30号 | FROM F 12 反原発。「避難組」の覚悟 | 中里見博[ほか]/著 | 11 |
| | 原発破局を阻止せよ 39 除染後も続く汚染 今からでも避難を | 広瀬 隆/[著] | 122-123 |
| | 流通業界最前線 深層リポート お鍋におせち…「冬野菜」で右往左往 正月の食卓を直撃する放射能不安 | 大貫 聡子/[著] | 132-133 |
| 第117巻第1号, 通巻5111号, 2012. 1. 6-13新 春合併号 | あなたは幸せですか? 震災後の生き方を考える | | |
| | しがみつく女 連載144 お正月休みにぜひ! [12月16日開催の政府と東電の合同記者会見] | 室井 佑月/[著] | 56 |
| | 最後の審判 254 六尺禪VS. 越中禪 野田総理、細野&西沢氏、いますぐ禪姿で日本男子の鑑たれ!! [12月16日開催の政府と東電の合同記者会見] | フェルディナント・ヤマグチ/[著] | 153 |
| | 原発破局を阻止せよ! 40 東電が責任放棄 追認する国の狂気 | 広瀬 隆/[著] | 156-157 |
| | 恒例! とれたてワイド 人生、成り行き “男の燃料棒”暴走の末に蟄居 西山元審議官に同情の声しきり | 上田耕司[ほか]/著 | 163-164 |
| | 恒例! とれたてワイド 人生、成り行き 除染法に異議! 児玉龍彦教授は怒りも越年 | 上田耕司[ほか]/著 | 172 |
| FROM F 13 いつかまた、災害が起きたなら | 鈴木 典夫/[著] | 183 | |
| 第117巻第2号, 通巻5112号, 2012. 1. 20号 | 野田政権の「二枚舌」を告発する 年50ミリシーベルト超は帰還困難というが…政府が福島県民に教えない本当の除染基準 | 佐藤秀男/[著] | 132-133 |
| | ニッポンの底力 震災復興 全国行脚でもらったぬくもり 感謝を胸に、スマイル届けたい スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチームリーダー マルヒア由佳理 | 西島博之[ほか]/著 | 140 |
| | FROM F 14 冗談じゃない、子供は守る [Save Watari Kids 渡利の子どもたちを守る会] | 照沼 かほる/[著] | 153 |
| 第117巻第3号, 通巻5113号, 2012. 1. 27号 | スクープ極秘メール入手 ついに動き出した福島第二原発再起動計画 | 本誌取材班/[著] | 28-31 |
| | しがみつく女 連載144 上杉、おーい! [放射性廃棄物の中間貯蔵施設] | 室井 佑月/[著] | 49 |
| | 週刊図書館 新書の小径 東電への怒りの法的限界を淡々と教えてくれる 『原発賠償の行方』井上薫 | 青木るえか/[著] | 74 |
| | FROM F 15 学生が羽ばたいていけるように | 清水晶紀/[著] | 155 |
| 第117巻第4号, 通巻5114号, 2012. 2. 3号 | コンクリートの放射能汚染、急拡大 福島県の懸念を黙殺した国の“大罪” | 神田知子[ほか]/著 | 118-120 |
| | 2号機内部映像公開 東電の「楽観的発表」を信用してはいけない! 福島第一原発幹部が語る「原子炉建屋が倒壊する」 | 本誌取材班/[著] | 120-121 |
| | FROM F 16 引き裂かれてもなお、冷静に [福島大学とJAEAとの連携協定] | 清水 修二/[著] | 141 |
| 第117巻第5号, 通巻5115号, 2012. 2. 10号 | FROM F 17 「もんじゅ」運用法人との連携、教員は [福島大学とJAEAとの連携協定] | 熊沢 透/[著] | 139 |
| 第117巻第6号, 通巻5116号, 2012. 2. 17号 | しがみつく女 連載147 知る権利 [東日本大震災直後の会議事録未作成] | 室井 佑月/[著] | 53 |
| | 週刊図書館 ベストセラー解説 黙認せざるを得ない現実 『ヤクザと原発』鈴木智彦 | 長園 安浩/[著] | 84 |
| | 絶好調 他球団も記者も“感染”か? 中畑人気が招いた思わぬ影響 | 渡辺 勲郎/[著] | 128-129 |
| | FROM F 18 〈その他〉に綴られた被災者の思い | 橋本 撰子/[著] | 145 |
| 第117巻第7号, 通巻5117号, 臨時 増刊2012. 2. 20 | 復刊アサヒグラフ 全記録東北が泣いた一年 | | |
| 第117巻第8号, 通巻5118号, 2012. 2. 24号 | しがみつく女 連載148 イチャモンはやめてくれ [追跡! 真相ファイル 低線量被ばく揺らぐ国際基準] | 室井 佑月/[著] | 53 |
| | 週刊図書館 東電批判ではなく、東電のようなものを拒否する生活 『福島からあなたへ』武藤類子 | 鎌田 慧/[著] | 81 |
| | 原発破局を阻止せよ! 46 再稼働を阻止するために 5 子供だましの嘘が横行するふざけるな! 東電のウソ 福島第一原発幹部が語る驚愕の“真実” 「2号機は崩壊す | 広瀬隆[ほか]/著 | 118-119 |
| | FROM F 19 「新福島市」で地域経済を生み出せ | 本誌取材班/[著] | 134-135 |
| | | 藤本 典嗣/[著] | 145 |
| 第117巻第9号, 通巻5119号, 2012. 3. 2号 | しがみつく女 連載149 そうしなきゃならない理由は? [エネルギー戦略研究会、日本原子力学会シニア・ネットワーク連絡会、エネルギー問題に発言する会] | 室井 佑月/[著] | 55 |
| | FROM F 20 チェルノブイリとフクシマ | クズネツォワ・マリー | 149 |
| 第117巻第10号, 通巻5120号, 2012. 3. 9号 | スクープ! 東電の賠償電話マル秘対応マニュアルの全容 「相手が興奮したら保留ボタンを押す」 「原発、放射能は禁止用語」 | 今田 俊/[著] | 22-24 |
| | 週刊図書館 話題の新刊 『フラガール 3. 11 つながる絆』清水一利 | 川副早央里/[著] | 102 |
| | 原発破局を阻止せよ! 48 福島第一と浜岡 末期的事故の予感 | 広瀬隆[ほか]/著 | 138-139 |
| | FROM F 21 誰も守ってはくれない | 森 良次/[著] | 163 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|---|-------------------------|---------------|
| 第117巻第11号, 通巻5121号, 2012. 3. 16号 | 3. 11 鎮魂、そして再生 | | |
| | 発掘スクープ! 福島第一原発最高幹部が語った 封印された放射能汚染地図「北海道から静岡まで」の恐ろしい中身 | 本誌取材班/[著] | 18-20 |
| | 原発破局を阻止せよ! スペシャル対談 福島第一原発は収束していない! 米国が恐れる「核燃料火災」の大惨事 | 広瀬隆[ほか/談] | 21-23 |
| | 飯館村 放射能汚染に翻弄された4世代家族 途絶えた「農業日誌」と新たな夢 | 佐藤秀男/[著] | 28-29 |
| | しがみつく女 連載151 なんとかしなくては [甲状腺がん] | 室井 佑月/[著] | 53 |
| | 第16回菜の花忌シンポジウム 制度疲労起こしたこの国のかたち FROM F 22 サーファーだから見えた「事実」 | 佐野真一[ほか/著] 奥本 英樹/[著] | 96-101 144 |
| 第117巻第12号, 通巻5122号, 週刊朝日臨時増刊 朝日ジャーナル | わたしたちと原発 | | |
| 第117巻第13号, 通巻5123号, 2012. 3. 23号 | しがみつく女 連載152 知られたいことを知る [スピーディ] | 室井 佑月/[著] | 56 |
| | 警戒区域の動物たち | 太田康介[ほか/著] | 131-137 |
| | FROM F 23 3. 11から1年、母たちは | 西崎 伸子/[著] | 140 |
| 第117巻第15号, 通巻5125号, 2012. 3. 30号 | ワイド スピード注意!! 放医研が海外でこっそり発表「プルトニウム」検出の噴飯 | 今田 俊[ほか/著] | 31 |
| | 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい! 連載679 「フクシマ」を「福島」に戻す、農家の闘い | 田原 総一郎/[著] | 45 |
| | ワイド スピード注意!! 福島・双葉町で持ち上がった避難民「水増し」騒動 | 今田 俊[ほか/著] | 134 |
| | FROM F 24 世界最大の関心事を学ぶ大学として | 入野 修/[著] | 144 |
| 第117巻第16号, 通巻5126号, 2012. 4. 6号 | 1キロあたり100ベクレル 4月1日、セシウム新基準値の適用開始 食卓から消える魚はこれだ! | 国府田英之/[著] | 26-27 |
| | 福島第一原発 いまも20キロ圏内に暮らす1家族の叫び いつまでも届かない補償金請求書 東電の呆れた言い訳 | 今西 憲之/[著] | 42-44 |
| | しがみつく女 連載154 生中継してほしい [4号機の燃料プールからの取り出し] | 室井 佑月/[著] | 51 |
| | 暖簾にひじ鉄 連載530 生者の安らぎ [東日本大震災一周年追悼式] | 内館 牧子/[著] | 52-53 |
| 第117巻第17号, 通巻5127号, 2012. 4. 13号 | フクイチ幹部が語る福島原発の真実 「原発終息宣言」は撤回すべきだ! 新聞・テレビは報じない! 73シーベルトの地獄 | 今西憲之[ほか/著] | 18-21 |
| | 週刊図書館 話題の新刊『ハッピーバースデー 3. 11』並河進、小林紀晴 | 前部昌義/[著] | 122 |
| | 週刊図書館 ベストセラー解説 使用済み核燃料プールの危険性を指摘 『福島第一原発 真相と展望』アーニー・ガンダーセン著 | 長 蘭 安浩/[著] | 124 |
| | 作家・戸梶圭太が怒つづやき 福島舞台の小説が発売中止! ? | 常富浩太郎/[著] | 168 |
| 第117巻第19号, 通巻5129号, 2012. 4. 27号 | めげない原子炉メーカー 廃炉技術開発で「焼け太り」? | 西島 博之/[著] | 125-126 |
| 第117巻第20号, 通巻5130号, 2012. 5. 4-11号 | 週刊図書館 書いたひと 山岡淳一郎 農業から出発した稀有な政治家 南相馬市長に一貫する“現場性”『放射能を背負って 南相馬市長・桜井勝延と市民の選択』 | 大道絵里子/[著] | 83 |
| | 原子炉“潜入”ルポ 福島第二原発も地震で壊れていた! | 桐島瞬/文・写真 | 130-132 |
| 第117巻第21号, 通巻5131号, 2012. 5. 18号 | 「もう日本だけに任せておけない!」世界中が注目する 福島第一原発4号機クライシス | 佐藤秀男/[著] | 152-153 |
| 第117巻第22号, 通巻5132号, 2012. 5. 25号 | CATS IN SHELTER 福島第一原発周辺で保護された猫たち。今は約300キロ離れた横浜市で新しい里親を待っている。 | 太田康介[ほか/著] | 5-7 |
| 第117巻第23号, 通巻5133号, 2012. 6. 1号 | 楢葉町の名物商工会長が逮捕 背景に復興マネーを巡るトラブル | | 127-128 |
| 第117巻第24号, 通巻5134号, 2012. 6. 8号 | 東電内部メール独占入手! 福島第一原発「2号機は再臨界する」 | 本誌取材班/[編] | 24-25 |
| | 4号機は本当に大丈夫なのか? 東電が「安全」を宣言する愚 | 佐藤秀男/[著] | 26 |
| 第117巻第25号, 通巻5135号, 2012. 6. 15号 | 大飯再稼働の真相を暴露する! | | |
| | 国会事故調、再稼働、東電値上げ... 福島原発最高幹部の警告 | | 18-20 |
| | 勝俣東電会長の逃げ切りは許さない! 福島県民が集団告訴へ 6・11 新書の小径 この事態で謙譲の精神は発揮してほしくなかった『ドキュメント テレビは原発事故をどう伝えたのか』伊藤守 平凡社新書 | 青木 るえか/[著] | 23 80 |
| 第117巻第26号, 通巻5136号, 2012. 6. 22号 | 福島第一原発最高幹部の警告 「清水東電前社長は無責任男だ!」 | 本誌取材班/[著] | 130-131 |
| | “責任”という名の無責任 野田首相がついた「禁断のウソ」 | 佐藤秀男/[著] | 131-132 |
| 第117巻第28号, 通巻5138号, 2012. 6. 29号 | 話題の新刊『鼓動 感じて欲しい 小さな命の重み。』犬猫みなしご救援隊著 金子二三夫写真 | 小林莉子 | 115 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|--|------------|----------|
| 第117巻第29号, 通巻5139号, 2012. 7. 6号 | 独占告白福島原発・最高幹部の警告 東京電力「最終報告書」は噴飯ものだ これ以上、国民を騙すな！！ | 本誌取材班／[著] | 26-28 |
| | view-point21 放射能汚染や風評被害に技術の専門家として幅広く対応 福島の復興支援に全力を注ぐ 放射能・放射線測定や管理、除染作業まで 検査開発(株) | | 87 |
| | 日本初！3万人の内部被ばく検査でわかった フクシマ母子の真実 | 山本 朋史／[著] | 114-115 |
| | 内部被ばくを防ぐ食生活と対処法 対談 | 鎌田 賢／[談] | 116-118 |
| 第117巻第30号, 通巻5140号, 2012. 7. 13号 | 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載692 「広告さえ出せばいい」という原発推進派の浅はか | [田原 総一郎／著] | p43 |
| | 懲りない東電も総会紛糾 「社外取締役」の不見識 | | p124 |
| 第117巻第32号, 通巻5142号, 2012. 7. 20号 | 国民よ、このまま再稼働を許すのか！ 本誌独占！ 福島原発・最高幹部が吠える 国会事故調が刑事告発すべきヤツら | 本誌取材班／[著] | p114-115 |
| 第117巻第32号, 通巻5143号, 2012. 7. 27号 | 辛坊治郎の甘辛ジャーナル 連載62 国民に死を命ずる覚悟なき国に原発を持つ資格はない[福島原発事故の国会事故調最終報告書] | 辛坊 治郎／[著] | p40-41 |
| | 週刊図書館 書いたひと 森絵都 彼女たちを「20キロ圏内」へ走らせる逞しさの“正体”を見つめて 『おいで、一緒に行こう』(文藝春秋 1150円) | 藤村 かおり／[著] | p113 |
| 第117巻第34号, 通巻5144号, 2012. 8. 3号 | 原発難民の声が聞こえるか | 佐藤秀男／[著] | p42-43 |
| | 福島第一原発作業員怒りのルポ 東電を殺人容疑で告発する！ | 桐島瞬／[著] | p118-121 |
| | いまさら公開 東電 禁断のテレビ会議ビデオ | 本誌取材班／[著] | p122-124 |
| 第117巻第35号, 通巻5145号, 2012. 8. 10号 | 田原総一郎のギロン堂 そこが聞きたい！ 連載696 事故調報告書に見当たらない「原発は是か非か」 | [田原 総一郎／著] | p33 |
| 第117巻第38号, 通巻5148号, 2012. 8. 17-24号 | 100兆円規模で財政出動し福島県へ首都機能移転を 経済アナリスト 森永卓郎 | [森永 卓郎／著] | p33-34 |
| | 「脳出血」フクイチ吉田前所長 見たいと願った東電ビデオ | | p158 |
| 第117巻第44号, 通巻5154号, 2012. 9. 21号 | 新聞・テレビが報じない福島第一原発のいま 実名独占 東電協会社会長も懸念する 最悪事態は4号機の火災だ | 佐藤秀男／聞き手 | 33-35 |
| | フクイチ幹部が本誌だけに語った！「公開ビデオにもごまかしがある！」 | 本誌取材班／[著] | 35-36 |
| | 現場発ジャーナリスト怒りのルポ1 「作業員は素人同然。これからもミスは起きる」 | 桐島瞬／[著] | 36-37 |
| | 現場発ジャーナリスト怒りのルポ2 「東電よ！オレたちを見殺しにするのか！」 | 桐島瞬／[著] | 37 |
| | 暖簾にひじ鉄 連載552 復興構想会議再び | 内館 牧子／[著] | 46-47 |
| 第117巻第47号, 通巻5157号, 2012. 10. 5号 | 決意の除染視察に込められた天皇陛下の“メッセージ” | | p129 |
| 第117巻第49号, 通巻5159号, 2012. 10. 19号 | 犬ばか猫ばかペットばか 第997回 福島から「福」を運んできた被災犬 | 村上洋子／[著] | 73 |
| | 「企業倫理もメルトダウン」 東電・本誌取材拒否のあきれた理由 | 今西 憲之／[著] | 119 |
| 第117巻第50号, 通巻5160号, 2012. 10. 26号 | 私とがんの向き合い方 胃がん しつこくて腐った野郎だけど、負けるわけにはいかない 俳優 佐藤B作 | 小倉宏弥／[著] | 39 |
| | しがみつく女 連載181 お尻の汚い人々 | 室井 佑月／[著] | 47 |
| | CINEMA PREVIEW 目キキ&耳キキ 原発事故に翻弄される、どこにでもいる家族の物語 希望の国 | | 54 |
| 第117巻第51号, 通巻5161号, 2012. 11. 2号 | 週刊図書館 政府の混乱ぶりと“東電撤退”の真相を追う 『検証 福島原発事故 官邸の一〇〇時間』木村英昭 | 鎌田 慧／[著] | 79 |
| 第117巻第53号, 通巻5163号, 2012. 11. 16号 | 週刊図書館 書いたひと 園子温 目に見えるところには絶望しかない 一つ一つの行動が希望になる 『希望の国』 | 吉川明子／[著] | 85 |
| 第117巻第54号, 通巻5164号, 2012. 11. 23号 | ドリアン助川が折り畳み自転車で走った おくの細道2012 第2回 「災後」の東北を訪ねて [栃木県那須から須賀川市] | ドリアン助川／[著] | 106-109 |
| 第117巻第56号, 通巻5166号, 2012. 11. 30号 | しがみつく女 連載186 最終処分場、どこにする？ | 室井 佑月／[著] | 47 |
| | ドリアン助川が折り畳み自転車で走った おくの細道2012 第3回 「災後」の東北を訪ねて [須賀川市から福島市] | ドリアン助川／[著] | 106-109 |
| 第117巻第58号, 通巻5168号, 2012. 12. 7号 | ドリアン助川が折り畳み自転車で走った おくの細道2012 最終回 「災後」の東北を訪ねて [福島市から平泉町] | ドリアン助川／[著] | 128-131 |
| 第117巻第60号, 通巻5170号, 2012. 12. 21号 | 各界気鋭の知識人が指南する「私の一票」の投じ方 原発政策&復興支援 フクシマの教訓が生きていない 脱原発は「プロセス」を重視せよ | 開沼 博／[談] | 34-35 |

【 サ ン デ ー 毎 日 】

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|---|---|----------------------------------|--------------|
| 第90巻第14号, 通巻5040号, 2011. 3. 27号 | 世界最大級M9. 0東日本大震災 原発「溶解」戦慄の放射能汚染 | 武内 亮／[著] | 20-21 |
| | 原発列島沈没の瀬戸際 | 谷道健太[ほか]／[著] | 22-25 |
| | 「原発爆発、私はこう考える」 | | 26-29 |
| | 隠べいを放置すれば列島が放射能まみれ | 中沢 啓治／[著] | 26 |
| | 想定は甘すぎた もう原発収束すべき | 沢田 昭二／[著] | 26-27 |
| | 大爆発は時間の問題 最悪の事態の始まり | 桜井 淳／[著] | 27 |
| | 起こり得る事態 しっかり開示せよ | 五十嵐 敬喜／[著] | 27 |
| | 本当に必要な情報は分かりやすい情報 | 加藤 順子／[著] | 27-28 |
| | 「安全神話」は崩れた それでも原発建設を | 高嶋 哲夫／[著] | 28-29 |
| | 佐高信の被災レポート「原発爆発事故はまぎれもなく企業災、政治災だ」 | 佐高 信／[著] | 28-29 |
| | ニッポン震撼ワイド あまりにも酷すぎる菅のパフォーマンス | | 128-137 |
| | 与野党党首会談は仙石の一言で決まった！ | 山田 厚俊／[著] | 128-129 |
| | 原発“爆発”映像を日テレがスクープできたワケ | 村田 久美／[著] | 130 |
| 2011年3月11日午後2時46分 国内観測史上最大 東日本大震災が発生 大津波にのまれた街、暮らし、そして命 | 毎日新聞写真部／[編] | [3]-[12] | |
| 炉心溶解を引き起こした福島第1原発。左から1号機、2号機、3号機、4号機 | 西本 勝／撮影 | [10] | |
| 第90巻第15号, 通巻5041号, 2011. 4. 2号 | 緊急増刊 東日本大震災[1] 巨大津波襲来 死者・行方不明2万人超 福島第一原発炉心融解 | | |
| 第90巻第16号, 通巻5042号, 2011. 4. 3増大号 | 福島原発「消せない不安」 | 田倉直彦[ほか]／[著] | 20-23 |
| | フォトジャーナリスト広河隆一が見た半径4キロ地帯 | 広河隆一[ほか]／[著] | 23 |
| | 過酷事故は想定外 日本の原発を総点検せよ | 藤後 野里子／[著] | 26-28 |
| | 「官邸vs. 東電」不都合な真実 | 武内 亮[ほか]／[著] | 29-32 |
| | 「原発政策、政治家は関与できず霞が関の独裁だ」 私に寄せられた内部告発の中身 | 青木 英一／[著] | 32-34 |
| | 佐藤栄佐久前福島県知事激白 | | |
| | 激闘永田町 「原子力政策」の転換論議 喉元過ぎればまた推進？ | 石森 孝憲／著 | 38 |
| | 政経外科 | 佐高 信／著 | 39 |
| | それってどうよ！？ | 池野 佐知子／[編] | 45 |
| | 3. 11その時こうした今こう思っている さとう宗幸、高橋克彦、玄侑宗久、瀬名秀明、乃南アサ... | 菊地 香[ほか]／[著] | 166-167 |
| | ワイド 想定外 | | 176-181 |
| | 名誉教授から助教まで... 原発専門家を解説 | 池上 正樹／[著] | 177 |
| | 避難所に誕生した自治組織と区長 | 高城 龍二／[著] | 179 |
| 原発から35キロの身障者 「避難所には入れない」 | 小川 直樹／[著] | 179-180 | |
| 第90巻第17号, 通巻5043号, 2011. 4. 10増大号 | 「フクシマ」暴走 大本営発表の大罪 | 藤後野里子[ほか]／[著] | 22-25 |
| | 放射線降る街をゆく[南相馬市][双葉町][伊達市月舘町] | 広河 隆一／[撮影] | [3]-[7] |
| | 復旧作業に従事、待機中の作業員が告発「放射性物質で死ぬ人が出るかもしれない」 | 田倉 直彦／[著] | 25-26 |
| | 「国民生活第一」が聞いてあきれろ“平成の棄民” | 田中 康夫／[著] | 27-28 |
| | 「岩手」「宮城」の被災地で本当に起きていること | | 29-33 |
| | 「原発どうする」「ちゃんとやる」岡田幹事長の10分視察 | 高城 龍二／[著] | 30-31 |
| | 小沢一郎を使わない新4人組“無策の独裁” | 青木 英一／[著] | 186-188 |
| | ワイド 人災列島 | 山田 厚俊／[著] | 192-196 |
| | 南相馬病院を訪れた鎌田實医師 政府批判の覚悟 | | 193 |
| | 第90巻第18号, 通巻5044号, 2011. 4. 17号 | 「フクシマ」激震 官邸・保安院・東電「悪トモダチ作戦」10の隠蔽 | 田倉直彦[ほか]／[著] |
| 社長に代わって | | 長谷川直亮／写真 | [13] |
| 原発廃炉の極秘計画 「巨大石棺」では制御不能 | | | 20-21 |
| 海水大量注入で始まった原子炉腐食の塩害 | | | 21 |
| IAEA勧告でも飯館村民を避難させない保身の政治判断 | | | 21-22 |
| 避難指示上げヨウ素剤 原発周辺に配布しない背信 | | | 23 |
| 民主と東電「赤い貴族」の親密な関係 | | 青木英一[ほか]／[著] | 25-27 |
| 3. 11後混乱期「危険と損得」放射線量予報が流れる耐乏生活が始まる | | 藤後野里子[ほか]／[著] | 28-31 |
| 「水はタダ」の時代終焉 必需品の浄水器や放射性物質濾過器の落し穴 | | | 29 |
| 野菜は無農薬で割高に 東北、北関東の新米は贅沢品！？ | | | 29-30 |
| ホタテ、カキは高騰、サンマは絶望。消えぬ濃縮蓄積の心配 | | | 30-31 |
| 肉、牛乳が減り味噌重視 質素な和食の食卓に回帰 | | | 230 |
| 3. 11後の原発 私はこう考える2 | | 村田久美[ほか]／[構成] | 218-221 |
| 雇用促進をアメリにした原発促進に憤り | 雨宮 処凛／[著] | 220 | |
| 第90巻第19号, 通巻5045号, 2011. 4. 23号 | 緊急増刊 東日本大震災2 被災地に生きる 復興に向けて | | |
| 第90巻第20号, 通巻5046号, 2011. 4. 24号 | ザ・デイ・アフター-3. 11 今ここにある「フクシマ」の最悪 | | 20-27 |
| | 囁かれる「最後の盾」格納容器の底抜け 菅が追い込まれる「海への汚染水放出」 | 田倉 直彦／[著] | 20-22 |
| | 高濃度汚染水 GWには12万トンに倍増するも処理のメドなし！ | 藤後 野里子／[著] | 24-25 |
| | 避難指示、規制値、情報公開の泥縄 人命救助より政治判断 | 藤後 野里子／[著] | 24-25 |
| | 自衛隊と米軍 原発有事対応能力とその限界 | 山田 厚俊／[著] | 25-26 |
| | 何も知らされていないのでは 専門家が読み解く枝野会見 | 山田 厚俊／[著] | 26-27 |
| | 東日本大震災 福島第1原子力発電所 いまだ危機脱せず [春の風にもおびえながら] | 毎日新聞社／写真 | [3]-[7] |
| | [海も、大地も泣いている] | | |
| | News Navi | | 32-37 |
| | 被災地発！ “復興のシンボル”「フラガール」の笑顔ふたたび | 中村 芳平／[著] | 33 |
| | 亡国の「原子力村」A級戦犯「5人」の実名 | 武内 亮／[著] | 162-165 |
| 官邸vs東電20兆円めぐる裏の大攻防戦 | 徳丸威一郎／[著] | 168-169 | |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|--|--------------------------|----------------------|
| 第90巻第21号, 通巻5052号, 2011. 5. 1号 | あなたは生き延びられるか レベル7×余震M8 | 田倉直彦[ほか/著] | 20-28 |
| | 女性ライターが直撃 正面ゲート前は無味無臭だった | 藤後 野里子/[著] | 26 |
| | 政経外科 | 佐高 信/[著] | 39 |
| | 埼玉に“集団疎開” 双葉町避難所ルポ | 直木 詩帆/[著] | 118-119 |
| | 放射能とがん 最低限これだけ知らないと危ない | 村田 久美/[著] | 126-127 |
| | 菅・岡田と心でできるか 小沢と仙石「国難同盟」 | | 130-137 |
| | 週末被災地行脚で美談作り“成就せず”堅物・岡田 | 山田 厚俊/[著] | 136-137 |
| 第90巻第22号, 通巻5048号, 2011. 5. 8-15合 併号 | 工程表が想定していない「フクシマ」「東電」の乱 | 田倉直彦[ほか/著] | 18-22 |
| | 元原子力安全委専門委員「警戒区域を直ちに除染せよ！」 | | 20-21 |
| | 風評被害は政府がつくる 農産物、大気のずさんな測定 | | 21 |
| | 列島54基「活断層想定外」の恐怖 | 藤後 野里子/[著] | 23-25 |
| | 東電資産売却で尾瀬が危ない!? | 直木詩帆[ほか/著] | 26-27 |
| | 医療・介護はカネ次第! | 結城 康博/[著] | 51 |
| | 森永晴彦「フクシマ」を眠らせ、太陽を呼び覚ませ | 森永晴彦[ほか/著] | [130]-133 |
| | 大震災「復興利権」はこう蠢く | 武内 亮/[著] | 148-150 |
| | 「1300億円義援金」許されざる配分 | 山田 厚俊/[著] | 150-151 |
| | 「ふんツ！」 | 関 雄輔/写真 | [10] |
| 第90巻第23号, 通巻5049号, 2011. 5. 22号 | 巨大地震に弱い町 | 谷道健太[ほか/著] | [16]-21 |
| | フクシマを襲う「漏水地獄」 | 徳丸 威一郎/[著] | 22-24 |
| | News Navi | | 29-33 |
| | 自家発電完備でキリン増産へ 自粛、節電、風評で“試練”の夏 | 中村 芳平/著 | 30 |
| | 文明の星時間 福島を思い出。 | 茂木健一郎/[著] | 64-65 |
| | 連載 会社の流儀 日本バイオ・エネルギー開発(東京) バイオエネルギーで被災地復興を! 海外経験生かし汚染農地を再生 | | 78 |
| | 青い空 白い雲 菅、五百旗頭の「想定内ハシヤギ」で復興構想会議は頓挫 震災に負けない企業の秘訣 | 牧 太郎/[著] 村田 久美/[著] | [104]-105 111-113 |
| 第90巻第25号, 通巻5050号, 2011. 5. 29号 | 浜岡停止はそんなに大英断か 今すぐ止めるべき原発 | 藤後野里子[ほか/著] | 16-21 |
| | 短い、少ない [写真] | 山本 貞夫/文 | [9] |
| | メルトダウン「福島第1」“死の水”9万トンの行方 未知なる恐怖 地下水被曝 | 山田 厚俊[ほか/著] | 22-25 |
| | 政経外科 なぜ原発推進を唱える側には「こんな人間」しかいないのか | 佐高 信/[著] | 41 |
| | 気分はナイスオン! 福島県でゴルフをやろう | 金田一 美奈子/[著] | 107 |
| | 「3. 11」が変えた価値 | 奥村 隆[ほか/著] | 125-129 |
| | 貴重品になった空気と水 | 玄侑 宗久/[著] | 128 |
| | 東電救済 甘すぎる賠償のウラ | 鳴海 崇/[著] | 130-132 |
| | 東電と北朝鮮につながる意外な閩人脈 | 青木 英一/[著] | 132-133 |
| 第90巻第25号, 通巻5051号, 2011. 6. 5号 | 福島第1「トリプル・メルトダウン」セシウムの雨降りそそぐ 列島被曝の戦慄 | 大場 弘行[ほか/著] | 16-18 |
| | お汁粉状態の汚染水は“殺人水”だ | 徳丸 威一郎/[著] | 19-21 |
| | 見せかけのエネルギーシフトに騙されるな! 脱原発できない民主党の“高濃度汚染” | 山田 厚俊[ほか/著] | 24-27 |
| | News Navi | | 28-33 |
| | 大震災関連の倒産100件に 9割が風評など「間接被害型」 | 中村 芳平/[著] | 29 |
| | 政経外科 フクシマの怒りをよそに「祝宴」に興じていた面々 | 佐高 信/[著] | 35 |
| | サンデー時評 「フクシマ」と「ヒロシマ」について | 岩見 隆夫/[著] | 36-37 |
| | 連載 会社の流儀 三重執電(三重)「熱い想い」と「でっかい夢」を運ぶ会社 震災後の救援物資輸送でも一致団結 | | 80 |
| | 青い空 白い雲 室温28度の中で「大震災のウソ」を痛感する | 牧 太郎/[著] | [112]-113 |
| | 和合亮一 フクシマで生まれた格差を貫く言葉を探して浜通りに通う 子どもにがん保険を掛けるべきか | 菊地 香/[著] 奥村 隆[ほか/著] | 126-129 130-134 |
| 第90巻第26号, 通巻5052号, 2011. 6. 12号 | フクシマ・シンドローム 福島の子もは「学童疎開」だ | 大場 弘行/[著] | 16-18 |
| | 太平洋を越えたプルトニウムの謎 | 徳丸 威一郎/[著] | 19-21 |
| | 「民主党に東電指導は“ないものねだり”」 | 塩田 潮[ほか/著] | 21 |
| | 災後ニッポンの最大不幸 | 奥村 隆[ほか/著] | 22-25 |
| | 決断できない菅首相 | 榊原 英資/[著] | 22 |
| | 責任の所在不明 | 村山 富市/[著] | 22-23 |
| | あいまい「風評被害」 | 海原 純子/[著] | 23-24 |
| | ヒバクシャ無視 | 大石 又七/[著] | 24 |
| | 無常観の喪失 | 島田 裕巳/[著] | 24-25 |
| | 想像力の欠如 | 武田 徹/[著] | 25 |
| | 政経外科 読売「東電社長人事」の「大誤報」を読み解く | 佐高 信/[著] | 33 |
| | サンデー時評 斑目さんの言語感覚、でたらめ | 岩見 隆夫/[著] | 34-35 |
| | 技術評論家桜井淳が告発する原子カムラ 東大・原研研究者は総辞職し、500人の安全審査機関を作れ | 桜井 淳/[述] | 42-45 |
| | 誰にも聞けない 放射能と性 | 菊地 香/[著] | 132-133 |
| | 「祈りの日」東宮御所で開かれた「ある行事」 | サンデー毎日皇室取材班/[編] | 134-135 |
| 第90巻第28号, 通巻5054号, 2011. 6. 19号 | 菅は奸なり 小鳩が募引くベテナ劇場全内幕 | 青木英一[ほか/著] | 18-21 |
| | 連載 会社の流儀 エマウス・メディカル・ジャパン(東京)「アミノピュア」で世界に向け た社会貢献を | | 83 |
| | フクシマが哭いている 低線量・内部被爆から身を守る “機能不全”の官邸スルー ヘリウムガス冷却計画 | 藤後 野里子/[著] 徳丸 威一郎/[著] | 119-121 122-123 |
| 第90巻第29号, 通巻5055号, 2011. 6. 25号 | 緊急増刊3 メルトダウン 福島第一原発詳細ドキュメント | | |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|--|---|------------------------|------------------|
| 第90巻第30号, 通巻5056号, 2011. 6. 26号 | イラ国民は爆発寸前だ ポスト“ペテン師”「傀儡」の宴 | 山田厚俊[ほか/著] | 16-20 |
| | 中曽根大勲位vs.小宮山宏前東大総長三菱総研理事長 原子力の次は太陽光だ | 中曽根 康弘/[述] | 24-27 |
| | しのび寄る「脳内被曝」 | 大場 弘行/[著] | 119-121 |
| | 市独自の内部被曝調査で国を動かす | 三保 恵一/[談] | 121 |
| | 政府の工程表では住民は「平成の棄民」だ | 徳丸 威一郎/[著] | 122-123 |
| | 小出裕章京大原子炉実験所助教「私は一体何だったのでしょうか」 | 小出 裕章/[述] | 124-125 |
| 第90巻第31号, 通巻5057号, 2011. 7. 3号 | スッパ抜き 亀井・自民有志「救国の新党」 | 鳴海 崇/[著] | 16-18 |
| | 被災者が詠む 涙の震災川柳 | 菊地 香/[著] | 24-27 |
| | 政経外科「原発文化人」のビートたけしをメディアはなぜ追求しないのか | 佐高 信/[著] | 35 |
| | サンデー時評 牛を殺さない「希望の牧場」構想 | 岩見 隆夫/[著] | 36-37 |
| | 幸せな老後への一歩 南相馬市の桜井市長にお会いしました「戦う被災地」と「何も見えない永田町」 | 萩原 博子/[著] | 41 |
| | 「安全デマ」の危険な話 | 奥村 隆/[著] | 115-117 |
| | 我が子を守る「放射能汚染」解毒法 フクシマ作業員が告発 工程表最優先で連日残業、安全二の次 | 大場弘行[ほか/著] 大杉 泰/[著] | 125-129 130 |
| 第90巻第32号, 通巻5058号, 2011. 7. 10号 | ニッポン菅機能不全 8月「原発解散」裏シナリオ | 青木 英一/[著] | 16-18 |
| | 原発再稼働宣言はペテンだ！！ | 藤後 野里子/[著] | 24-26 |
| | 山折哲雄「文明と欲望」 | 山折哲雄[ほか/著] | 27-29 |
| | 政経外科 高木仁三郎さんもあきれたカネで不安に蓋をする体質 | 佐高 信/[著] | 37 |
| | 幸せな老後への一歩 昔の「満州国」で起きたことが今の「被災地」で起きています | 萩原 博子/[著] | 47 |
| | 放射能からベツトを守る | 直木 詩帆/[著] | 135-137 |
| | 原発とがん 日米英独データ入手 | 大場 弘行/[著] | 140-142 |
| | 口止めされた4号機プール危機 原発コンサルタントが明かすホワイトハウスの魂胆 | 大杉 泰/[著] 徳丸 威一郎/[著] | 143 144-145 |
| 第90巻第33号, 通巻5059号, 2011. 7. 17号 | 内部被曝に克つ「食の防衛」 | 徳丸威一郎[ほか/著] | 16-21 |
| | テレビから消えた原子カムラの面々 | 奥村 隆/[著] | 22-23 |
| | 精神科医中井久夫 日本にとりつく希望的観測という病 | 中井久夫[ほか/著] | 116-117 |
| | サンデー時評 牛を殺さない「希望の牧場」構想 | 岩見 隆夫/[著] | 36-37 |
| | 福島・南相馬市長怒りの激白 「脱原発」でいっそ解散してくれ | 桜井 勝延/[著] | 131 |
| 第90巻第34号, 通巻5060号, 2011. 7. 24号 | 「放射能」と闘うニッポンの母 | 大場 弘行/[著] | 16-21 |
| | 「東電vs. 原子カムラ」バトル勃発 | 徳丸威一郎/[著] | 21-22 |
| | 1日で1700人減った石巻の怪 | 奥村 隆/[著] | 23-25 |
| | 政経外科「反原発」の声が上がる理由を一度でも考えたことがあるか | 佐高 信/[著] | 35 |
| | サンデー時評 池上彰さんの「特別授業」に疑問 | 岩見 隆夫/[著] | 36-37 |
| | 幸せな老後への一歩 「原発」に代わる発電方法が求められる中「海流」は新たな日本の資源になれるか | 萩原 博子/[著] | 46 |
| | 医療・介護はカネ次第！ ボランティアの対応だけでは限界の被災地 | 結城 康博/[著] | 47 |
| | 原発耐性テストを原子カムラに丸投げ 菅の「脱原発」なんて大嘘！ | 鳴海 崇/[著] | 123-124 |
| 第90巻第35号, 通巻5061号, 2011. 7. 31号 | セシウム牛、牛乳 安全の「想定外」 | 大場弘行[ほか/著] | 16-19 |
| | 見捨てられた福島第1原発 吉田所長が漏らした「三つの重大懸念」 | 徳丸 威一郎/[著] | 20-21 |
| | 作業員激白 「15分間で500マイクロシーベルト食いました」 | 大杉 泰/[著] | 22 |
| | 政経外科 制御されない決意の有無がメディアを二つに峻別する | 佐高 信/[著] | 35 |
| | 幸せな老後への一歩 電力の「真実」はどこにあるのか？ 一方で「東電救済」の法案が審議入り | 萩原 博子/[著] | 41 |
| | 著者インタビュー 佐野真一 『津波と原発』 | 亀井 洋志/構成 | 98 |
| 第90巻第36号, 通巻5062号, 2011. 8. 7号 | 政経外科 尻尾を巻くのはいつも男 奇跡を起こすのは常に女 | 佐高 信/[著] | 45 |
| | 幸せな老後への一歩 福島第1原発は本当に「津波」で壊れたのか 運転を続ける「老朽化した原発」は大丈夫か | 直木 詩帆/[著] | 136-137 |
| | 「セシウム米」が実る秋 | 徳丸威一郎[ほか/著] | 138-141 |
| | カリウム散布に追われる福島“三ちゃん”農家の苦悩 「田んぼの命を守るため買い手のないコメを作る」 | 奥村 隆/[著] | 142 |
| | 原発文化人「生斬り」対談 田原総一郎vs. 佐高信 | 青柳雄介[ほか/構成] | 144-147 |
| 第90巻第38号, 通巻5064号, 2011. 8. 14号 | 全国30社 放射能対策 | 奥村 隆/[著] | 16-18 |
| | 「その水は安全ですか？」 | 大場 弘行/[著] | 19-21 |
| | 余震でフクシマ倒壊「Xデー」 | 徳丸 威一郎/[著] | 22-23 |
| | 政経外科 安倍元首相が脱原発論に「納得」と書く夫人にぜひ頼みたいこと | 岩見 隆夫/[著] | 35 |
| | 「東日本大震災復興宝くじ」8月9日(火)まで発売 | | 104-105 |
| | 菅vs. 海江田「痴話ゲンカ」で東電高笑い SUNDAY CAFE 山口達也 | 鳴海 崇/[著] 依田 美陽/[著] | 121-122 [135] |
| 第90巻第39号, 通巻5065号, 2011. 8. 21-28号 | 「放射能」溜め込む森林 | 藤後 野里子/[著] | 190-193 |
| | セシウムが引き起こす「膀胱がん」 | 大場 弘行/[著] | 16-19 |
| | 「原子カムラ」メルトダウン 経産省、保安院幹部更迭は「終わり」の始まり | 徳丸 威一郎/[著] | 20-21 |
| | 小松左京 享年80の“遺言” | 森 忠彦/[著] | 22-23 |
| | 完全保存版 放射能と食 第1弾 これだけは知っておきたい基礎知識 | 奥村 隆/[著] | 34-37 |
| | サンデー時評 「望郷の念やみがたく福島に」 | 岩見 隆夫/[著] | 40-41 |
| | 幸せな老後への一歩 すべてが後手後手に回る原発事故への対応 一体、誰が放射能から「食卓」を守るのか？ | 萩原 博子/[著] | 46 |
| | 青い空 白い雲 「子供の被曝」放置で菅さんはゆくゆくは刑事被告人 | 牧 太郎/[著] | [166]-167 |
| | 3. 11後の私 | 菊地香[ほか/構成] | 185-189 |
| | 闘い続けねばならぬ「浪費は悪」の罪悪感 | 鹿島 茂/[著] | 185 |
| | 人目をばばからず「反原発」と言えるようになった | いしだ 壱成/[著] | 186 |
| | 説教強盗的節電の強要 漂う大政翼賛的雰囲気 | 田中 康夫/[著] | 186-187 |
| | 人類は100年以内に滅亡すると確信した | 柳沢 桂子/[著] | 187-188 |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|---|---|--|---|
| | 反対派に転向ではない科学者の立場を貫く 意識は簡単に変わらず転換点として記憶される | 武田 邦彦／[著] 小熊 英二／[著] | 188-189 189 |
| 第90巻第40号、 通巻5066号、 2011. 9. 4号 | 脱「植民地東北」対談 桜井勝延南相馬市長vs. 民俗学者赤坂憲雄 政経外科 小宮山前東大総長が果たした東京電力の広告塔という役割 幸せな老後への一歩 経済産業省の“原発の尾”を踏んでしまった古賀茂明さん 青い空 白い雲 ウソで固めたニッポンの夏。秋はヤミ金地獄で・・・ 完全保存版 放射能と食 第2弾 <秋の魚は大丈夫？> 東北6県100地点 「放射能」汚染マップで分かった盲点 | 菊地 香／[構成] 佐高 信／[著] 荻原 博子／[著] 牧 太郎／[著] 永見 恵子／[著] 徳丸威一郎[ほか]／著 | 26-29 35 41 [124]-125 136-139 140-145 |
| 第90巻第41号、 通巻5067号、 2011. 9. 11号 | 完全保存版 放射能と食 第3弾<実りの秋 食卓再点検> 本棚の整理術 従わせない者と従う者との関係 続 3・11後の私 復興のためには体力づくり 50年前の食生活に戻れ | 奥村 隆／[著] 緑 慎也／[著] 菊地 香[ほか]／著 小泉 武夫／[著] | 24-27 114 128-133 130-131 |
| 第90巻第42号、 通巻5068号、 2011. 9. 18号 | 関東圏180地点放射能汚染地図 都心に潜むチェルノブイリ級 完全保存版 放射能と食 第4弾<除染を極める> フクシマ下請け労働者使い捨て 放射線管理員も逃げ出す汚染地獄 | 徳丸威一郎[ほか]／著 奥村 隆／[著] 大杉 泰／[著] | 119-123 124-127 128-129 |
| 第90巻第43号、 通巻5069号、 2011. 9. 25号 | どじょうすくい内閣は「原発」「東電」をすくう フクシマ国営清算会社 許されざる東電生き残り 海江田万里悔恨 政府補償をケチった財務省 大洪水、大地震・・・地球がおかしい！ 放射能から逃げる移住急増中 失敗しない「田舎暮らし」 それってどうよ！？ まず「疑う」ことから物事が始まる悲しさ 椎名誠vs. 桐野夏生「3・11後の作家」 時限爆弾 内部被曝で20年後に現れるがん 100年経っても完全廃炉は実現せず 居住不能区域を知らせない無能政府 石巻ルポ 被災者格差はここまで広がっていた！ ブラックボックス 加工食品は大丈夫？ 自殺、孤独死・・・ 10年後も続く人災死 義援金 まだ6割しか配られてないワケ | 鳴海 崇／[著] 鳴海 崇／[著] 海江田 万里／[述] 谷道 健太／[著] 藤後 野里子／[著] 池野 佐知子／[編] 椎名 誠／[述] 大場 弘行／[著] 徳丸 威一郎／[著] 小出 裕章／[著] 菊地 香／[著] 菊地 香／[著] 奥岡 幹浩／[著] | 16-18 18-19 22-23 24-25 26-28 41 [112]-115 118-119 118-121 121 [122]-125 124-125 125 126 |
| 第90巻第44号、 通巻5070号、 2011. 10. 2号 | 鉢呂「放射能をつけたぞ」報道の検証 政経外科 とにかくペラペラしゃべらず「沈黙」していてくれませんか 大洪水、大地震・・・地球がおかしい！ 桜井淳が糾弾「ストレステストによる安全確認は幻想だ」 福島市渡利・大波地区ルポ 「除染しても数値が上がった！」 人口密集地のリスク考慮を 加工食品52社に聞いた ウイナー ハンパグ・・・ 子供のお弁当は大丈夫？ | 山田 厚俊／[著] 佐高 信／[著] 谷道 健太／[著] 桜井 淳／[述] 大場 弘行／[著] 山内 知也／[著] 徳丸威一郎[ほか]／著 | 18-21 39 24-25 114-117 125-127 127 128-134 |
| 第90巻第45号、 通巻5071号、 2011. 10. 9号 | 自分の「被曝量」測定法 またしても [須賀川市仮設住宅] | 大場弘行[ほか]／著 尾籠 章裕／写真 | 144-147 [13] |
| 第90巻第47号、 通巻5073号、 2011. 10. 16号 | 川上弘美 3・11とデビュー作書き直し 政経外科 原発という既得権益にしがみつくと日立トップの旧式ロボットの思考 青い空 白い雲 アジア巨大原発市場で日本は儲けるつもり？ 84品目3ヵ月汚染データで判明 食べていいもの いけないもの | 菊地 香／[著] 佐高 信／[著] 牧 太郎／[著] 徳丸威一郎 ほか／[著] | 26-28 35 [108]-109 123-129 |
| 第90巻第49号、 通巻5075号、 2011. 10. 23号 | 政経外科 総理になってほしい著名人10人に原発賛成派ゾロゾロという「世論」 岸田秀 原発事故は、自閉的共同体の幻想を捨てるため天がくれたチャンスだ 最凶「プルトニウム」254億ベクレルほどどこまで飛んだのか 住まいの「徹底除染」基本から最先端 ニュースな動物たち 待っています [広野町] | 佐高 信／[著] 菊地 香／[著] 徳丸 威一郎／[著] 大場 弘行／[著] | 39 122-123 130-131 132-134 141 |
| 第90巻第50号、 通巻5076号、 2011. 10. 30号 | 自分たちの生活が第一。原発被害者そっちのけ 東電・経産省vs.枝野 賠償100兆円 サンデーらいふらしい 読書の部屋 郵便番号が物語る無邪気さの罪 サンデーらいふらしい 一冊の本 東京を中心とした社会からの離脱 [関野野著「フクシマ以後—エネルギー・通貨・主権」] 0ベクレル鍋の作り方 首都圏に降り注いだストロンチウム | 鳴海 崇／[著] 池内 紀／[著] 松本 潤一郎／[著] 徳丸威一郎[ほか]／著 奥村 隆[ほか]／著 | 23-25 109 111 140-144 144-146 |
| 第90巻第52号、 通巻5078号、 2011. 11. 6増大号 | 本棚の整理術 震災を「どう読むか」という視点 1都11県汚染地図で一目瞭然 新米の安全度 加工・調理法別 放射性物質食材別除去率 | 緑 慎也／[著] 大場弘行[ほか]／著 徳丸 威一郎／[著] | 110 140-143 [144]-145 |
| 第90巻第53号、 通巻5079号、 2011. 11. 13号 | 少なすぎる放射能検査 児玉龍彦再び怒る 福島で行なわれたトンデモ“除染” News Navi 年末期控え悩ましい解除時期「震災手形」モラトリアム措置 News Navi “震災瓦礫”最大2000トン ハワイ・米西海岸へ漂着予測 幸せな老後への一歩 国じゅうが真っ二つに分かれて論議沸騰 でも、今はTPPより大切なことがある 青い空 白い雲 2011秋は「やけっぱち消費」に支えられ 斎藤環が語る3・11と心のケア 仮設住宅でひきこもりが増えている | 大場弘行[ほか]／著 大場 弘行／[著] 森岡 英樹／[著] 土方 細秩子／[著] 荻原 博子／[著] 牧 太郎／[著] 池上 正樹／[著] | 23-26 27 29 29 46 [108]-109 115-118 |
| 第90巻第54号、 通巻5080号、 2011. 11. 20号 | 幸せな老後への一歩 時が流れても、大災害にあっても立ち上がる 東北の「下町口ケツ」は「日本の宝」です 100ベクレル超の「危ない食品」激増 放射性物質「暫定規制値」見直しの死角 | 荻原 博子／[著] 徳丸威一郎[ほか]／著 | 46 129-134 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|---|-------------|-----------|
| 第90巻第55号, 通巻5081号, 2011. 11. 27号 | 政経外科 水俣病も薬害エイズも断罪された 東電経営陣に刑事責任を問うべし | 佐高 信/[著] | 40 |
| | 医療・介護はカネ次第! 福島第1原発周辺の介護事情 | 結城 康博/[著] | 47 |
| | 1都8県83自治体の「放射能検査」 子どもの給食は本当に安全か | 大場弘行[ほか]/著 | 131-134 |
| 第90巻第57号, 通巻5083号, 2011. 12. 11号 | 規制値超え 福島県産新米から1270ベクレル 主要外食産業33社に聞いた「どこのコメを使っていますか」 | 奥村 隆/[著] | 139-142 |
| 第90巻第57号, 通巻5083号, 2011. 12. 18号 | 吉田所長を入院させた東電・官邸の思惑 | 大場弘行[ほか]/著 | 26-27 |
| | 検査で分からない「危険な放射性物質」 | 奥村 隆/[著] | 26-30 |
| | 同郷対談 中村敦夫vs. 鈴木邦夫 「左翼右翼」から見る原発と自然 | 中村敦夫[ほか]/著 | [38]-41 |
| | 医療・介護はカネ次第! 仮設住宅での介護環境の限界 | 結城 康博/[著] | 55 |
| 第90巻第60号, 通巻5086号, 2011. 12. 25号 | 枝野・細野による孫・橋下「反原発文化人斬り」 | | 20 |
| | 教えて! 近藤原子力委員長さん「原発御用学者なんですか?」 | | 23-24 |
| | 福島で総スカン 西山元審議官「残念な人の女性の習慣」 | | 24-25 |
| | 食道がん判明 吉田前所長が漏らした「原発のウソ」 | | 25 |
| | 「フクシマ」を再び考える | 奥村 隆/構成 | 130-133 |
| | 怒れ! 原爆落とした米国の原発押しつけ | 菅原 文太/[著] | 131-132 |
| | 福島産忌避は風評被害でなく消費者の知恵 | 秋山 豊寛/[著] | 132-133 |
| | バカと非難されようと我が身は自分で守る | 中村 安希/[著] | 133 |
| 私に何が、出来るのか。どんな未来を選ぶのか。 | 大宮 エリー/[著] | 134-136 | |
| 第91巻第2号, 通巻5088号, 2012. 1. 1-8号 | 牛乳汚染スパイラルから子どもを守れ | | 26-27 |
| | おせち料理、モチはどこまで大丈夫か? | | 27-28 |
| | 被災者置き去り非常識「国・県・東電」頼りにならず | | 28 |
| | 上野千鶴子vs. 開沼博 わたしたちは「共犯者」なのか? | 上野千鶴子[ほか]/著 | 145-147 |
| | がんから生還 俳人 金子兜太92歳 3・11を詠む | 菊地 香/[著] | 148-150 |
| 古賀茂明vs. 小島慶子 「幸せニッポン」こう作る | 古賀茂明[ほか]/著 | 158-161 | |
| 第91巻第3号, 通巻5089号, 2012. 1. 15号 | 2012年の「放射能」食卓汚染 | 大場 弘行/[著] | 135-137 |
| | 危ない原発「政治収束」が狂わせる廃炉 | 徳丸 威一郎/[著] | 138-139 |
| 第91巻第5号, 通巻5091号, 2012. 1. 29号 | セシウム花粉「心配なし」は本当か | 奥岡 幹浩/[著] | 34-35 |
| | 幸せな老後への一歩 原発の再稼働に「あの手、この手」の政府 このままでは「脱・原発」が遠のいていく | 荻原 博子/[著] | 45 |
| | 放射能フリーな賢い買い物 | 大場 弘行/[著] | 123-125 |
| | 年末年始セシウム値急上昇の謎を追う | 大場 弘行/[著] | 126 |
| 覚悟すべき巨大地震と本当の備え | 藤後野里子[ほか]/著 | 134-137 | |
| 第91巻第6号, 通巻5092号, 2012. 2. 5号 | 福島第1 政府事故調「中間報告」 失敗学・畑村委員会の「失敗」 | 桜井 淳/[著] | 25-27 |
| 第91巻第7号, 通巻5093号, 2012. 2. 12増大 号 | 東電 値上げの「ウラ」 原発再稼働の「ウソ」 | 大場 弘行/[著] | 21-23 |
| | 幸せな老後への一歩 復興庁スタート前で被災地に「疑問の声」「新しい省庁」は本当に必要だろうか? | 荻原 博子/[著] | 47 |
| | 放射能で発がん危険度「女性は男性の1.5倍」 | 土方 細秩子/[著] | 134-135 |
| 第91巻第8号, 通巻5094号, 2012. 2. 19号 | サンデーらいぶらりい 一冊の本 おぞましい原発洞窟の探検ガイド [土井淑平著『原子カムフラ 原発利権に群がる人々』] | 山田 文大/[著] | 97 |
| | NHK番組に噛みついた「原子カムラ」反省の色なし | 大場 弘行/[著] | 127-129 |
| 第91巻第9号, 通巻5095号, 2012. 2. 26号 | 医療界の原子カムラ | 大場 弘行/[著] | 23-25 |
| 第91巻第10号, 通巻5096号, 2012. 3. 4号 | サンデーらいぶらりい 本棚の整理術 記者は「線」のどちら側にいるか [高田昌幸著『@Fukushima 私たちの望むものは』] | 緑 慎也/[著] | 116 |
| | 東大から起きた「原子カムラ」内部批判 | 徳丸 威一郎/[著] | 148-151 |
| 第91巻第11号, 通巻5097号, 2012. 3. 11増大 号 | 青い空 白い雲 春が来れば「フクシマ」は競馬と共に蘇る | 牧 太郎/[著] | [128]-129 |
| | そこまでやるか! 東電「国有化阻止」 | 徳丸 威一郎/[著] | 145-147 |
| 第91巻第12号, 通巻5098号, 2012. 3. 18号 | 南相馬で最大7200ベクレル 内部被曝173人「要注意レベル」 | 徳丸 威一郎/[著] | [24]-26 |
| | 東京湾に放射能汚泥堆積中 汚染は北方領土から伊豆半島まで | 大場 弘行/[著] | 26-28 |
| | 本誌記者があの日フクシマで聞いた「原発爆発」取り消し放送の真相 | 奥村 隆/[著] | 29 |
| | 田口ランディ寄稿 戦後の原発選択を私たちは批難できるか | 田口 ランディ/[著] | 36-38 |
| | すみきちのぶっちゃけ堂 [ゲスト 和合亮一] | 住吉美紀[ほか]/著 | [56]-60 |
| | 川上未映子 生まれくる子どもと放射能 | 菊地 香/[著] | 160-163 |
| 長倉洋海が被災地で出会った笑顔 子どもたちからの元気便 [いわき市 南相馬市] | 長倉洋海/写真・文 | [171]-[175] | |
| 第91巻第14号, 通巻5100号, 2012. 3. 25増大 号 | チェルノブイリ膀胱炎「全否定」の放医研に大阪市立大名名誉教授が反論 | 大場 弘行/[著] | 27-29 |
| | 有名高校の華麗なる野望の人脈 [震災で底力を発揮した「盛岡一」「福島」] | 藤後野里子[ほか]/著 | 30-34 |
| | 沖方丁 30年後の福島のための天地明察 | 菊地 香/[著] | 38-42 |
| | News Navi 「ゆつくり故郷へ戻るよう」 4月「帰村宣言」福島県川内村 | 高城 龍二/[著] | 49 |
| | チェルノブイリ、福島、広島・・・災後1年に問う原発と放射能 | 木下 昌明/[著] | 50 |
| | 座談会 被災地出身学生が語る「東日本大震災」と「東大」 | 青柳 雄介/構成 | 106-110 |
| | ニュースな動物たち 孤独な歩み [富岡町] | 佐々木順一/写真 | [167] |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|--|--------------|-----------|
| 第91巻第15号, 通巻5101号, 2012. 4. 1号 | 「3・11復興予算」を弄ぶ霞が関の「血税ドロボー」 | 鳴海 崇/[著] | 22-23 |
| | 東電の“派遣教員”東大教授“逆ギレ”反論の東大話法 | 徳丸 威一郎/[著] | 28-29 |
| | 坂東真砂子 怒りの寄稿「福島第一原発事故、一年後」 | 坂東 真砂子/[著] | 33-35 |
| 第91巻第16号, 通巻5102号, 2012. 4. 8号 | 青い空 白い雲 横路も野田も瓦礫! 値打ちのない政治家ばかり! | 牧 太郎/[著] | [132]-133 |
| 第91巻第17号, 通巻5103号, 2012. 4. 15増大号 | こんな小細工を弄してまで原発再稼働なのか | 大場 弘行/[著] | 215-217 |
| 第91巻第18号, 通巻5104号, 2012. 4. 22増大号 | 食品放射能「新基準」で浮上 “要注意”は牛肉、シイタケ、川魚 | 大場 弘行/[著] | 229-231 |
| 第91巻第19号, 通巻5105号, 2012. 4. 29増大号 | 北朝鮮 ミサイルの次に来る「核」 毎日新聞論説委員、緊急鼎談 フクシマは依然、ドンの射程内にある | 倉重篤郎[ほか]/[著] | 22-24 |
| | 「福島・浪江町」渾身ルポ 震災遺族が東京電力を民事提訴 「原発事故で見殺しにされ | 栗野 仁雄/[著] | 159-161 |
| 第91巻第20号, 通巻5106号, 2012. 5. 6-13号 | “原発規制庁”を骨抜きにした「大戦犯」の実名 | 鈴木 哲夫/[著] | 20-21 |
| | 小沢が進める「放射能浄化」計画の仕掛け人 | 山田 厚俊/[著] | 22 |
| | 大飯原発再稼働寸前 原発コンサルが緊急警告 「緊急時の対応も安全基準も穴だら | 徳丸 威一郎/[著] | 25-27 |
| 第91巻第21号, 通巻5107号, 2012. 5. 20号 | 農水省「自主基準検査やめて」の大欺瞞 | 大場 弘行/[著] | 147-148 |
| | ウクライナ症例報告が暗示する子どもの「健康不安」 | 大場 弘行/[著] | 149 |
| 第91巻第22号, 通巻5108号, 2012. 5. 27号 | 政経外科 原発報道で一番頼りにされる新聞が「東電おばさん」を起用する不可思議 | 佐高 信/[著] | 39 |
| | サンデーらいつらいつ サンドロット 簡単じゃないができる再興の一步目は「確信」 『放射能除染の原理とマニュアル』山田國廣/[著] | 小林 照幸/[著] | 108 |
| 第91巻第23号, 通巻5109号, 2012. 6. 3号 | 2年ぶり田植え 福島・川内村ルポ「それでもオレらは0ベクレル米を作ってみせる」 | 大場 弘行/[著] | 26-27 |
| 第91巻第24号, 通巻5110号, 2012. 6. 10増大号 | News Navi フクシマ“原発避難民”の「日常記録」 | 木下 昌明/[著] | 32 |
| 第91巻第26号, 通巻5112号, 2012. 6. 17号 | 緊急寄稿 技術評論家 桜井淳 フクシマ「放射能大量拡散」の意外な“犯人” | 桜井 淳/[著] | 26-27 |
| | 政経外科 「3・11以前」の人は総とっかえをしないとやはり国民は納得しない | 佐高 信/[著] | 39 |
| 第91巻第27号, 通巻5113号, 2012. 6. 24号 | 「3・11」を短歌で詠んだ俳人 長谷川權インタビュー 「言葉は一枚の毛布にかなわないのか」 | 長谷川權[ほか]/[著] | 124-126 |
| 第91巻第28号, 通巻5114号, 2012. 7. 1号 | 幸せな老後への一步 安全の担保されない「原発再稼働」が「国民の生活を守る」ことになるのか | 荻原 博子/[著] | 49 |
| | サンデーらいつらいつ 自由のために 『フクシマと沖縄「国策の被害者」生み出す構造を問う』前田哲夫/[著] | 斎藤 貴男/[著] | 128 |
| 第91巻第29号, 通巻5115号, 2012. 7. 8増大号 | 福島いわきルポ「原発マネー」の哀しい格差 | 大場 弘行/[著] | 44-47 |
| 第91巻第30号, 通巻5116号, 2012. 7. 15号 | News Navi なし崩し再稼働にブレーキを 小出裕章助教の“言葉の重み” | 栗野 仁雄/[著] | 31 |
| 第91巻第32号, 通巻5118号, 2012. 7. 22号 | 幸せな老後への一步 「東電&経産省コンビ」のやりたい放題で私たちが払う電気代はどこまで上がるのか | 荻原 博子/[著] | 47 |
| | 政経外科 「福島原発のど真ん中」に連れて行くべきなのは「ピートたけし」その人だ | 佐高 信/[著] | 35 |
| 第91巻第33号, 通巻5119号, 2012. 7. 29号 | 幸せな老後への一步 「原発再稼働」の一方で今日も続く被災地・福島の「エンドレスな戦い」 | 荻原 博子/[著] | 46 |
| | 政経外科 「風穴を開ける」と立ち向かい続けた鉄壁がいま市民の声で揺らいている | 佐高 信/[著] | 35 |
| 第91巻第34号, 通巻5120号, 2012. 8. 5号 | サンデー時評 「脱原発」運動と「六〇年安保」騒動と | 岩見 隆夫/[著] | 40-41 |
| | 幸せな老後への一步 政府主催の「意見聴取会」とは全然違う「10万人集会」に集まった国民の本当の声 | 荻原 博子/[著] | 46 |
| 第91巻第35号, 通巻5121号, 2012. 8. 12号 | 「脱原発デモ」で永田町、霞が関は吹っ飛ばす! 8月政変の「全解剖」 | 森田 実[ほか]/[著] | 16-21 |
| | 原子力規制委トップ内定 田中俊一「知られざる素顔」 | 大場 弘行/[著] | 26-27 |
| | 予想上手の馬券ベタ 福島第一原発事故の収束作業でビルドアップがやっていた社名に反する行為 | 井崎 脩五郎/[著] | [116] |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|---|--|------------|---------|
| 第91巻第36号, 通巻5122号, 201 2. 8. 19-26号 | 政経外科 自分の家に火をつけた人間が火消しを手伝ったら「消火賞」を与えるのか | 佐高 信/[著] | 37 |
| 第91巻第38号, 通巻5124号, 2012. 9. 2号 | News Navi 原発事故で捜索中断1カ月余 浪江町「遺族の慟哭」はいまも | 粟野 仁雄/[著] | 28 |
| 第91巻第39号, 通巻5125号, 2012. 9. 9号 | 政経外科 「政府は何を反省したのか」と責める自分こそ「思考のブラックアウト」だ | 佐高 信/[著] | 35 |
| | 財界・メガバンク大苦言60分 私が脱原発を決めた理由 | 吉原 毅[ほか/著] | 162-164 |
| | 事故収束宣言から8カ月「福島第1原発4号機」は大丈夫なのか | 大場 弘行/[著] | 165 |
| 第91巻第40号, 通巻5126号, 2012. 9. 16号 | News Navi 福島の高校生を励ました共演 南米発“脱貧困”のための音楽 | 奥村 隆/[著] | 31 |
| | 秋の味覚と放射能 魚介、野菜、キノコ・・・66品目の最新データ一覧表付き | 大場 弘行/[著] | 135-137 |
| 第91巻第41号, 通巻5127号, 2012. 9. 23号 | 彷徨う「放射能ゴミ」 最終処分場「寝耳に水」の栃木・矢板市ルポ | 大場 弘行/[著] | 26-27 |
| 第91巻第42号, 通巻5128号, 2012. 9. 30号 | News Navi 大震災の犠牲者を家族のもとへ 身元確認に奮闘した歯科医たち | | 31 |
| 第91巻第43号, 通巻5129号, 2012. 10. 7号 | ニュースな動物たち ボク、ここにいるよ [三春町] | 内藤 絵美/写真 | [169] |
| 第91巻第44号, 通巻5130号, 2012. 10. 14号 | フクシマ影の戦犯「津波は大丈夫」の消せない大罪 | 鳴海 崇/[著] | 18-19 |
| 第91巻第46号, 通巻5132号, 2012. 10. 21号 | News Navi 町長の“悔悟”と牧場主の“覚悟” 「原発の町」を逃れた人たちの今 | 木下 昌明/[著] | 31 |
| | すみきちのぶっちゃけ堂 [ゲスト 開沼博] | 住吉美紀[ほか/著] | [50]-54 |
| | 潜入ルポ フクシマへの伝言 廃炉作業に今も3100人 チェルノブイリ「最終警告」 | 徳丸 威一郎/[著] | 138-140 |
| 第91巻第47号, 通巻5133号, 2012. 10. 28号 | News Navi 言葉の力を信じて社会に訴える 今秋「脱原発文学者の会」が発足 | 奥村 隆/[著] | 31 |
| 第91巻第55号, 通巻5141号, 2012. 12. 16号 | 福島1区 脱原発県の審判 「自民」が戦々恐々 未来の党 どんでん返しの「シナリオ」 | 徳丸 威一郎/写真 | 22-23 |
| 第91巻第57号, 通巻5142号, 2012. 12. 23号 | 三陸沖「M7・3」震度5弱の衝撃「消えない危機」 | | 24-25 |
| | 「福島第1」燃料棒取り出し中なら“危機一髪” | 大場弘行[ほか/著] | 25 |

【 週刊新潮 】

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|--|---|-------------------|----------|
| 第56巻第12号, 通巻2785号, 2011. 3. 24号 | 未曾有のマグニチュード9.0 東北沿岸部壊滅「巨大地震」暴虐の爪痕 | | 28-61 |
| | ホームで停車「常磐線4両」が天地逆で「く」の字になった | 末松 友幸/[撮影] | [22-23] |
| | 水素爆発「福島原発」想定地震はマグニチュード7.6 | | 33-34 |
| | 「原子力保安院」は意味不明で小学生にもわかるシーベルト講座 | | 34-35 |
| | 東工大卒だから視察を強行した「菅総理」禁断のパフォーマンス | | 35-36 |
| | 「日本政府が米軍の原発用冷却剤を断った」という衝撃報道の真價 | | 37 |
| | 「コスモ石油」「東電」を悩ませる悪質チェーンメール発信者 | | 37-38 |
| | 命からがら逃げ出した「釣り船船長」が目撃した波の怪物 | | 41-42 |
| | なぜ「巨大地震」の不吉な予兆は見過ごされたか | | 42-47 |
| | コラム 日本ルネッサンス 第453回 国難の克服を日本再生につなげよ | 桜井 よしこ/[著] | 152-153 |
| 第56巻第13号, 通巻2786号, 2011. 3. 31号 | 「大震災」復興の群像 | | 33-49 |
| | 「原発20キロ圏内」避難民が口に出せない故郷の名 | | [13] |
| | 首相官邸「240時間」の機能不全 | | 24-27 |
| | 「暴走原発」最深部に留まった人々の死闘 | | 28-32 |
| | 大問題は「地震国債20兆円」と潰れた家の「住宅ローン」 | | 34-35 |
| | 被災した「紀子さま」実弟の「2トントラック」奮戦記 | | 37 |
| | ボランティア「原発決死隊」を呼びかけた元オウム大幹部 | | 45-46 |
| | 原発パニック! 放射能より怖い「流言流語」! 日本列島を席卷した「デマ」と「噂」に惑った | | 50-53 |
| | サイエンス宅配便 第94回 原発、誰の言葉を信じていいのか | 竹内 薫/[著] | 61 |
| | コラム がんの練習帳 第94回 原発事故とがんリスク | 中川 恵一/[著] | 62 |
| コラム TVふうりん 第45回 大地震「テレビ」が映し出す「誠意」と「頼りなさ」 | 吉田 潮/[著] | 63 | |
| テンポ インシデント 大地震3日後の相馬市で「82歳義父」撲殺事件 | | 130 | |
| コラム 日本ルネッサンス 第454回 国難に総力結集できない菅総理 | 桜井 よしこ/[著] | 140-141 | |
| 第56巻第14号, 通巻2787号, 2011. 4. 7号 | 「大震災」瓦礫に咲く花 | | 33-48 |
| | 原発30キロ圏内でただ1軒営業するコンビニにバナナが来た! | 南 慎二/[撮影] | 14-15 |
| | 毎日牛乳1トンを堆肥に捨てる「福島酪農家」の嘆き | 南 慎二/[撮影] | 16-17 |
| | 緊急融資を受けられずに潰れた「ミス郡山」女将の老舗旅館 | 南 慎二/[撮影] | 18-19 |
| | 異例の「オフレコ記者懇」で空威張りした「菅総理」の器 | | 33-34 |
| | 福島原発30キロ圏内に主人の帰りを待ち続ける犬がいる! | | 34-35 |
| | 美談か売名か!? 被災地の「はるな愛」「コロッケ」「小泉進次郎」 | | 36-37 |
| | 「ビートたけし」に西表島避難と噂われた「高城剛」の言い分 | | 37 |
| | 「くりからもん」の方々被災地に届けた救援物資 | | 38-39 |
| | 「日テレ」デスク逃亡! 「共同」退避命令! メディアに吹いた臆病風 | | 42-44 |
| | 「放射能」土壌汚染を「ひまわり」が救うというロシア出身科学者レポート | | 48 |
| | 闇雲に恐れない! 浮足立つ前に読む「放射能」リスクの基礎知識—「チェルノブイリ」から25年。蓄積データが示す「怖いこと」と「特に怖くないこと」 | | 50-54 |
| | コラム サイエンス宅配便 第95回 無力感に苛まれて | 竹内 薫/[著] | 61 |
| | コラム がんの練習帳 第95回 「ただちに影響が出ない」被ばくって? | 中川 恵一/[著] | 63 |
| | コラム オギノメ猫の目 第95回 人々の、眠れない夜 | 荻野目 慶子/[著] | 68 |
| | テンポ ロビー 原発礼賛「大前研一」と2度も会った「菅総理」 | | 127 |
| コラム 日本ルネッサンス 第455回 国難の中、困ったときの友こそ真の友 | 桜井 よしこ/[著] | 140-141 | |
| コラム 変見自在 第440回 過去に生きる | 高山 正之/[著] | 142 | |
| 第56巻第15号, 通巻2788号, 2011. 4. 14号 | 「大災禍」の人間曼荼羅 | | 35-46 |
| | 大災禍 月光の残骸荒野 | 田中 和義/[撮影] | 巻頭カラーページ |
| | グラビア 初公開! 放射能と戦争する「暴走原発」内部の記録写真 | | [13-17] |
| | あなたが子供だった時、東京の「放射能」は1万倍! | | 24-27 |
| | 津波が引き裂いた「家族」の物語 | | 28-31 |
| | 原発と放射能で甦った「広瀬隆」は何をしていたか | | 35-36 |
| | 海の向こうからやってきた「放射能専門家チーム」何が凄いか | | 37-38 |
| | 両陛下「お見舞い」に胡坐で応じた避難者に誰か礼儀を | | 38-39 |
| | 近江のゴジラから「電線泥棒」に転落した元ソフトバンク選手 | | 39-40 |
| | 残骸荒野で苦闘する「自衛隊」を阻むつまらない事情 | 桜林 美佐/[著] | 52-54 |
| | コラム がんの練習帳 第96回 放射性ヨウ素は“期間限定” | 中川 恵一/[著] | 62 |
| | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第441回 福島の様 | 斎藤 由香/[著] | 66 |
| | コラム オギノメ猫の目 第96回 風に吹かれて | 荻野目 慶子/[著] | 68 |
| | テンポ ビジネス「ロボット大国」の名が泣く原発作業は米欧頼み | | 124 |
| テンポ インシデント やはり「逮捕者」が出た震災で釈放「61人」 | | 127 | |
| 週刊新潮別冊 FOCUS US大災害緊急復刊 【2011年】4. 20号 | FOCUS 大災害緊急復刊 | | |
| | 我ら、避難を潔しとせず 原発「20キロ圏内」に暮らす人々 | 桜井 修/[撮影] | 8-11 |
| | 晴れの日は強張りながら廃校で 被災地を「ピカピカ」にする20人 [田村市] | 南 慎二/[撮影] | 12-13 |
| | 人影が蒸発した「福島原発」20キロ圏内の光景 風音だけが聞える | 南 慎二/[撮影] | 27-31 |
| | 暴走原発の鎮圧に「オールジャパン」出動 任務は成功したけれど | エア・フォート・サービス/[撮影] | 32-35 |
| | 津波被災地の夜の壮絶 月明かりが照らす「非日常」の風景 [第18共徳丸ほか] | 田中 和義/[撮影] | 38-43 |
| | 蔵元消失でもう呑めない!? 「幻の酒」一覽 花見自粛どころか酒がない [浪江町鈴木酒造 双葉町富沢酒造ほか] | 福田 正紀/[撮影] | 80-81 |
| 日給2万円もいる「原発労働者」の業務日誌 | | 92-97 | |
| 第56巻第16号, 通巻2789号, 2011. 4. 21号 | 「大震災」曙光の荒野 未だ人災の余震は止まず | | 24-50 |
| | 小沢のソメイヨシノ | | 巻頭カラーページ |
| | 20キロ圏内で「レジ」「自販機」「ATM」はこうなった | 桜井 修/[撮影] | [13-15] |
| | 白い「防護服警官」の人海戦術的な遺体捜索の現場 | 桜井 修/[撮影] | [16-17] |
| | 「サハラ砂漠」横断の老俳優が犬を拾って歩く福島砂漠 | 桜井 修/[撮影] | [18-19] |
| 尾を引きすぎの「巨大地震」は一体いつ収まるのか | | 24-25 | |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ | |
|---|---|---------------------------|----------------|-----------|
| | 汚染水が25メートルプール160杯分もある「原発安定」は12月 | | 26-27 | |
| | 理想の避難所「赤坂プリンス」の定員が埋まらないその理由 | | 34-35 | |
| | これから流行りそうな鉛の壁の「放射能防護住宅」!? | | 35-36 | |
| | 敵前逃亡した「特殊武器防護隊」陸曹に綿毛のような罪と罰 | | 48-49 | |
| | B級重大ニュース 福島原発の漫画 | | 55 | |
| | コラム がんの練習帳 第97回 放射線量の「しきい値」がカギ! | 中川 恵一/[著] | 62 | |
| | 「放射能」という集団ヒステリー | | 117-122 | |
| | 「暴走原発」正門で涼しい顔の「札幌医大」教授の良識 | | 117-119 | |
| | 保育園に「モンペ」を大量発生させた過剰反応の心理 | | 119 | |
| | 福島県の魚と野菜は100キロ食べてもガンになれない | | 119-120 | |
| | ライバル「週刊現代」を批判した「週刊ポスト」 | | 120-121 | |
| | 日本製なら「放射能汚染」という外国人に正しい知識を | | 121-122 | |
| | テンポ ロビー 汚染水排出“非通知”で世界に恥を曝した「菅政権」 | | 123 | |
| | テンポ インシデント 被曝に効果ありと「ニセ薬」を売った「男と女」 | | 126 | |
| | テンポ インシデント 東邦銀行「陸上部」を襲った「震災」と「妊娠」 | | 128 | |
| | コラム 日本ルネッサンス 第457回 最悪の原発事故、情報公開の徹底を | 桜井 よしこ/[著] | 136-137 | |
| | コラム 変見自在 第442回 恥しい記事 | 高山 正之/[著] | 138 | |
| | フランスの“人間国宝”が振舞った高級フレンチ炊き出し | 南 慎二/撮影 | [144-145] | |
| | 第56巻第17号、 通巻2790号、 2011. 4. 28号 | 「原発と放射能」レベル7の機密情報 | | 24-53 |
| | | 20キロ圏内「幽霊町(ゴーストタウン)」の犬の生活 | 八尋 伸/撮影 | 巻頭グラビアページ |
| 桜満開でも穏やかならぬ福島第一原発正門 | | 南 慎二/撮影 | [13-15] | |
| 原発20キロ圏内で牛を放った飼い主の嘆き | | 広中 岳志/撮影 | [16-17] | |
| 「原発の町」に残された「アトム」の落とし子 | | 桜井 修ほか/撮影 | [18-19] | |
| 騙されて「福島第一」にきた「孫請け労働者」時給1900円 | | | 24-26 | |
| 東京電力「工程表」についての夥しい数の疑問符 | | | 26-27 | |
| 国民7割が呆れている「菅総理」無様な危機管理 | | | 27-28 | |
| なぜか現地を視察しない「核燃料棒製造会社」の脛の傷 | | | 28-29 | |
| チェルノブイリで実証されている「除染」の難易度 | | | 29-30 | |
| 「ゼオライト」使用浄水器には実用効果があるか | | | 30 | |
| 原子力損害賠償「天文学的数字」への積み上げ方 | | | 31 | |
| どこかに消えた「入院被曝作業員」たちの健康状態 | | | 31-32 | |
| 持て囃される「原子炉廃炉銘柄」と東電株の儲け方 | | | 33-34 | |
| 値がつかのか心配の「目に青葉 うみ放射能 初がつお」 | | | 34-35 | |
| 福島ナンバーなら落書きされる深刻な「放射能差別」 | | | 35-36 | |
| 放射能教育を排除した「日教組」の功罪 | | | 36 | |
| 「国際美術展」中止!「羽田空港」忌避!で日本の烙印 | | | 37-38 | |
| 1000円払えばネットで買える!?「ヨウ素剤」副作用に気を付ける | | | 38 | |
| 日本は最悪のタイミングで「レベル7」を発表した | | | 38-40 | |
| 世界は「フクシマ」をどう報じているのか | | | 40-41 | |
| 1年で「積算放射線量」が限界を超える市町村の名前 | | | 41-43 | |
| 「セカンドライフ」憧れの土地!田舎暮らし人気No.1が壊滅した | | | 44-45 | |
| 本当に「第一原発」周辺は20年も住めなくなるのか | | | 45-46 | |
| ウォール街が勝手に試算した「東京電力」今期は赤字2兆円 | | | 46-47 | |
| ビール?アサリ?「放射線防護食品」は何が効くのか | | | 47-48 | |
| 「ストロンチウム」初検出が意味していること | | | 48-49 | |
| 「原発銀座」アメリカ西海岸で予防薬が売り切れている | | | 49-50 | |
| 「一家に一台」時代が来た「ガイガーカウンター」正しい購入法 | | | 50-51 | |
| 家庭でも手作りできる「ガイガーカウンター」の精度 | | | 52-53 | |
| コラム がんの練習帳 第98回 「放射性ヨウ素」でがん治療! | | 中川 恵一/[著] | 62 | |
| コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第443回 悲しみのフクシマ | | 斎藤 由香/[著] | 66 | |
| 鎮まらぬ「福島第一原発」専門学者4人に訊くこのまま「冷温停止」か「再臨界」で「爆発危機」か 暴走「1号機」から「4号機」まで再点検する | | | 117-122 | |
| 「再臨界」の1号機で「水蒸気爆発」から地球被曝が起きる | | 小出 裕章/[著] | 117-119 | |
| 最速なら1ヵ月で「冷温停止」に至る道筋がつく | | 奈良林 直/[著] | 119-120 | |
| 压力容器内の「水素爆発」の危機は今も去っていない | | 野口 邦和/[著] | 120-121 | |
| 「再臨界」なく「爆発」を防ぎながら収束へ | | 宮崎 慶次/[著] | 121-122 | |
| テンポ インシデント 「計画避難」飯館村で自死を選んだ「102歳古老」 | | | 127 | |
| 第56巻第18号、 通巻2791号、 2011. 5. 5-12号 | | 追憶の「3・11」 | | |
| | | 管見妄語 98 風評の原因 | 藤原 正彦/[著] | [22] |
| | 対「放射能」緊急訓練 | | 26-31 | |
| | 「放射性物質」飛散シミュレーションで避難すべき地域 | | 26-27 | |
| | 問い合わせ殺到でも「セシウム除去剤」値段が秘密だった | | 27-28 | |
| | 爆発破片が放射線青天井!「福島第一」原発最奥部の暗闘 | | 28 | |
| | 今も「20キロ圏内」に留まって暮らす家族の肖像 | | 28-29 | |
| | 東京電力が支払う「仮払金100万円」被災者の使い道 | | 29-30 | |
| | 「EU非公式会合」で不手際の日本が叩かれるわけ | | 30-31 | |
| | 予告された神奈川西部の地震で「浜岡原発」のリスク | | 31 | |
| | 原発10基で「7000億円」が福島に降ったカラクリ | | 35-37 | |
| | 「暴走原発」を鎮められぬ「A級戦犯」輝く履歴書 | | 47-49 | |
| | 慰問「天皇陛下」をカシヤカシヤ撮影する「避難所のマナー」 | | 56 | |
| | 「石原軍団」から杉さままで「芸能人」炊き出しランキング | | 57-58 | |
| | 計画的避難「飯館村」で「猪肉」の生産者が嘆く事情 | | 61-62 | |
| | 今こそ北へ! まだ間に合うGW「みちのく観光」ガイド | | 66-69 | |
| | コラム がんの練習帳 第99回 「海外避難」は逆効果? | 中川 恵一/[著] | 91 | |
| | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第444回 有事に助けてくれる人(その二)防衛省訪問記 | 斎藤 由香/[著] | 92 | |
| | テンポ ロビー 財務省がひそかに進める「東電潰し」青写真 | | 167 | |
| | 瓦礫に覆われた被災地の「全記録」グラビア編 | | 186-188(福島県内分) | |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|--|--|-------------------------|----------------------|
| 第56巻第19号, 通巻2792号, 2011. 5. 19号 | 「高級ホテル」と「体育館」避難所でもこんなに差のある「食卓日記」 | 佐藤 喜穂／撮影 | [16-17] |
| | 島田雅彦の見た「福島第一」20キロ圏周縁の光景 | 島田 雅彦／[著] | 43-45 |
| | 赤信号を突っ走れ！ ラーメン炊きだして判明した秋吉久美子の夫婦生活 | | 48-49 |
| | コラム がんの練習帳 第100回 「チーム中川」が今できること | 中川 恵一／[著] | 64 |
| | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第445回 有事に助けてくれる人(その三)海上自衛隊 | 斎藤 由香／[著] | 68 |
| | コラム 福田和也の世間の値打ち 第445回 『軍事研究』が明かす「自衛隊」救援活動 | 福田 和也／[著] | 110-111 |
| | テンポ タウン 瓦礫の下から発見された失踪「女子高生」 | | 126 |
| | 「避難民」をお見舞いされた「女性皇族」それぞれのご評判 コラム 日本ルネッサンス 第460回 健康被害解決への専門家の声 | 桜井 よしこ／[著] | 130-132 136-137 |
| 第56巻第20号, 通巻2793号, 2011. 5. 26号 | 防護服の道化もいる極限の地「福島原発」 | | [15-21] |
| | 藤原正彦の管見妄語 101 大敗北の殿 | 藤原 正彦／[著] | [22-23] |
| | 防護服の背中に書かれた「御国の為にかんばりやす」 | | 26-28 |
| | 福島原発「メルトダウン」の後始末 | | 29-31 |
| | 巨額賠償なのに国民負担「極小」という内閣の偽情報 東電管内「電気代」は38%上昇する! | | 32-34 |
| | 虚栄の門 正体見たり! 時の人広瀬隆が宣伝した娘の自然食品店 | | 44 |
| | コラム がんの練習帳 第101回 フクシマの原発、ヒロシマの原爆 | 中川 恵一／[著] | 66 |
| | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第446回 有事に助けてくれる人(その四)海上自衛隊の力 20キロ圏内一時帰宅で「どうしても取りに行きたかったもの」 | 斎藤 由香／[著] 伊藤 諭／撮影 | 70 136-137 |
| 第56巻第21号, 通巻2794号, 2011. 6. 2号 | 20キロ圏内防護服を着た「ベツ救出大作戦」 | | [13-19] |
| | 原発を致命的に拗らせた元凶 国難に混乱で対処した指導者「菅直人 総理」という度し難き人災 | | 24-30 |
| | 初めは手柄だったのに「海水注水停止」の嘘とペテン | | 24-27 |
| | 自分は安全視察でも「SPEEDI」隠して飯館村を見殺し | | 27-28 |
| | 無責任体質が生んだ「無意味会議」乱立で機動力は皆無 | | 28-29 |
| | 中韓首脳に見透かされた中身空虚なパフォーマンスの日々 | | 29-30 |
| | 虚実の「放射能狂騒曲」 | | 31-36 |
| | 専門家も驚いたオオカミ少年の「セシウムの雨」報道 | | 31-32 |
| | 海の家は戦々恐々!?初夏の海水浴どこまでいけば安全か? | | 32-33 |
| | 溶けた炉心が余震で割れたら「水蒸気爆発」が起きるのか | | 33-34 |
| | 冷却作業を妨害する汚染水9万トン処理費用に9兆円 | | 35-36 |
| | 梅雨になれば「福島原発」に降る300ミリの雨の行き先 | | 36 |
| | 被災民が泣いている! 義援金1300億円を届けぬ「日本赤十字」の怠慢 コラム がんの練習帳 第102回 「ゼロリスク社会・日本」の崩壊 | 中川 恵一／[著] | 40-43 64 |
| 「ブロガー」告発でようやく配られた「放射線計測器」 コラム 日本ルネッサンス 第462回 放射能除去で国土復興を目指せ | 桜井 よしこ／[著] | 132 138-139 | |
| 第56巻第22号, 通巻2795号, 2011. 6. 9号 | ビキニ環礁 シルクロード セミパラチンスク 観光スポットもある「核実験場」の今 | | 40-43 |
| | 我が名の石碑 本社シカトで注水した福島原発吉田所長処分問題 「小隊長の手帳」に記された「被災地自衛隊」の3か月 | | 131 [139-145] |
| 第56巻第23号, 通巻2796号, 2011. 6. 16号 | 知られざるフクシマ「20キロ圏内」絶望に支配される牛の悲劇 | | [13-15] |
| | 人影が消えたフクシマ犬たちの出産ラッシュで心配されること | | [16-17] |
| | 現金に困窮する被災者 巨額義援金を寝かして恥じなかった「日本赤十字」 | | 32-34 |
| | 福島県から遥か彼方 原発「200キロ」圏外の「放射能リスク」本当のところ | | 40-43 |
| | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第449回 闇の中の一筋の光 テンポ タウン 「総理の責任」に触れなかったNSP「原発事故」特集 コラム 日本ルネッサンス 第464回 国産クインスで原発事故収束を | 斎藤 由香／[著] 桜井 よしこ／[著] | 68 135 140-141 |
| 第56巻第24号, 通巻2797号, 2011. 6. 23号 | テンポ タウン 意表をつかれた「震災復興」大河「新島八重」 | | 129 |
| | 震災から3か月原発直下「自衛隊精鋭部隊」の「遺体捜索」 | | 141-147 |
| 第56巻第25号, 通巻2798号, 2011. 6. 30号 | 「菅政権」どの面下げて安全宣言! マッチポンプと世間が嘔う! 全ての「原子力発電所」停止で日本の明日 | | 34-36 |
| | 東日本を復興させる目からウロコの7つのアイディア | | 50-53 |
| | 放射能版「人権団体」から解任要求された福島県「放射線アドバイザー」 | | 136-138 |
| 第56巻第26号, 通巻2799号, 2011. 7. 7号 | 『原発ジプシー』著者が見た「福島原発」33年前と今 | 堀江 邦夫／[著] | 48-51 |
| | “原子炉で死んでくれ!” 東電「株主総会」糾弾6時間 | | 131 |
| | コラム 日本ルネッサンス 第467回 原発安全対策、国民に明確に示せ | 桜井 よしこ／[著] | 140-141 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ | 藤原 新也ほか／撮影 | 153-157 |
| | 01 幸福色の青い屋根 02 いわきの女子高生は負けない | | 154-155 156-157 |
| 第56巻第27号, 通巻2800号, 2011. 7. 14号 | 仮設住宅横たわる「格差避難」の現実 | 福田 正紀／撮影 | [15-17] |
| | 僧侶たちの被災地供養600キロの旅 | 福田 正紀／撮影 | [18-19] |
| | 東北の政商小針磨二の人脈を磨耗した長男の肉屋経営 | | 52-53 |
| | 子供の尿からセシウムで騒然! 首都圏名門校校門前を計測! 「国立私立小・中学校」放射線量全調査 | | 154-157 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 03 真っ赤に燃ゆる世界遺産 | 藤原 新也／撮影 | [196-197] |
| 第56巻第28号, 通巻2801号, 2011. 7. 21号 | 120日目の被災地 フクシマから放射能の笑いを撒き散らす「ケーシー高峰」 | 南 慎二／撮影 | [18-19] |
| | コラム がんの練習帳 第109回 「科学」と「哲学」 | 中川 恵一／[著] | 64 |
| | 120日目の被災地 “一坪に30匹”福島第一原発30キロは「鈴なりカブトムシ」 | 南 慎二／撮影 | [139] |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|--|--|--------------|-----------|
| 第56巻第29号, 通巻2802号, 2011. 7. 28号 | テンポ ロビー 被災者を前にタバコを吸い続けた「海江田大臣」 | | 38 |
| | 新墮落論 原子力村民を片っ端から訴える反原発の扇動者広瀬隆 | | 46 |
| | 復興予算「20兆円」で東北がゴースタウンになる! | 原田 泰／[著] | 52-54 |
| | 日本中に不安をまき散らす「年間1ミリシーベルト」男「放射能ヒステリー」を煽る「武田邦彦(中部大学教授)」の正体 | | 138-141 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 05 太陽に罪はなし。 | 藤原 新也／撮影 | [158-159] |
| 第56巻第30号, 通巻2803号, 2011. 8. 4日 | コラム がんの練習帳 第111回 見逃されてきた「ラドン」のリスク | 中川 恵一／[著] | 68 |
| 第56巻第31号, 通巻2804号, 2011. 8. 11-18夏 季特大号 | 「大和なでしこ」漂流譚 | | |
| | 1万3000人が転校した「福島原発」至近の小・中学校 | 深笛 義也／[著] | 64-66 |
| | 特別対談「養老孟司」東大名誉教授×「中川恵一」東大病院放射線科准教授 一番体に悪いのは「放射能ストレス」である! | 養老 孟司[ほか]／著 | 68-71 |
| | コラム がんの練習帳 第112回 ラドンとタバコ | 中川 恵一／[著] | 80 |
| | テンポ ビジネス 「放射能汚染」懸念が煽る「2010年産米」価格 | | 165 |
| | 大和なでしこ漂流譚 被災者お見舞い「雅子妃殿下」が破顔なわけ | | [177] |
| | 瓦礫に咲く花 福島いわき | 南 慎二／[撮影] | [187-189] |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 07 寄宿擬態。 | 藤原 新也／[撮影] | [190-191] |
| 第56巻第32号, 通巻2805号, 2011. 8. 25号 | 祈りの夏 | 本田 武士／[著] | [15-17] |
| | 兵士に聞け(原発最前線編)敵は「放射能」だった自衛官と銃後の家族 | 杉山 隆男／[著] | 50-53 |
| 第56巻第33号, 通巻2806号, 2011. 9. 1号 | 大検証! セシウムではガンにならない—WHOと国連科学委員会によるチェルノブイリ報告書 | | 44-49 |
| | 12万人のセシウム内部被曝の子どもに健康被害はなかった | 長瀧 重信／[著] | 44-47 |
| | 低線量被曝でも全身に確率的健康被害がある | 安斎 育郎／[著] | 47-48 |
| | セシウムが蓄積する筋肉は放射線に強い抵抗力 | 遠藤 啓吾／[著] | 48-49 |
| | 50年前の東京には6000ベクレルのセシウムが降った | 松本 義久／[著] | 49 |
| | ワイド特集 陸の上の潮騒 露出度が4倍になって「山本太郎」反原発は儲かるか! | | 50 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 09 二度目の原爆 | 藤原 新也／[撮影] | [164-165] |
| 第56巻第34号, 通巻2807号, 2011. 9. 8号 | 被災地縦断「劇団四季」が原発30キロで届けた笑顔 | 伊藤 諭／[撮影] | [144-145] |
| 第56巻第35号, 通巻2808号, 2011. 9. 15号 | 「野田ドジョウ内閣」身体検査 原発輸出に反対で農作物も輸出が停まる「玄葉外相」 | | 28 |
| | コラム 日本ルネッサンス 第476回 東日本復興と防災インフラを急げ | 桜井 よしこ／[著] | 138-139 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 11 黄色いカナリア。 | 藤原 新也／[撮影] | [152-153] |
| 第56巻第36号, 通巻2809号, 2011. 9. 22号 | コラム がんの練習帳 第117回 韓国で急増する「甲状腺がん」 | 中川 恵一／[著] | 64 |
| | コラム おれのゴルフ 連載428 東北3県訪問で改めて誓ったチャリティーナメントの継続 | 青木 功／[著] | 116-117 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 12 「福島美少女凶鑑」のモデルno.0033 | ホンマ タカシ／[撮影] | [154-155] |
| 第56巻第37号, 通巻2810号, 2011. 9. 29号 | コラム 日本ルネッサンス 第478回 原発抜きで日本は生き残れるのか | 桜井 よしこ／[著] | 52-53 |
| | 御用学者と呼ばれて 原子力と放射能の専門学者座談会 | 澤田 哲生[ほか]／談 | 55-60 |
| | コラム がんの練習帳 第118回 甲状腺がんは“99.99%”治る? | 中川 恵一／[著] | 80 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 13 巨大植物は無言で語る。 | 藤原 新也／[撮影] | [186-187] |
| 第56巻第38号, 通巻2811号, 2011. 10. 6号 | コラム がんの練習帳 第119回 患者数だけが增える謎 | 中川 恵一／[著] | 64 |
| | 御用学者と呼ばれて [第2弾] 原子力と放射能の専門学者座談会 食品汚染と風評被害の真実 | 澤田 哲生[ほか]／談 | 57-63 |
| | コラム オモロマンティック・ボム! 連載120 デモであれこれ2 | 川上 未映子／[著] | 77 |
| | コラム がんの練習帳 第120回 “過剰”ながん検診 | 中川 恵一／[著] | 82 |
| | 福島原発から一番近い酒蔵 兄妹が会津で仕込む新酒の味 | 本田 武士／撮影 | [186-187] |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 15 忠猫ハチ公愛し。 | 藤原 新也／撮影 | [194-195] |
| 第56巻第40号, 通巻2813号, 2011. 10. 20号 | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 16 野生のきのこ | ホンマ タカシ／撮影 | [148-149] |
| 第56巻第41号, 通巻2814号, 2011. 10. 27号 | 夜光塗料が原因だった世田谷「ホットスポット」大騒動! 年間30ミリシーベルトを50年浴びた「女性」はガンになったか! | | 30-33 |
| | コラム がんの練習帳 第122回 “知らぬが仏”のがんもある | 中川 恵一／[著] | 64 |
| | 荒川静香のステイ・ポジティブ がんばってる、東北の農家 環境をつくれば稲が育つ | 荒川 静香／[著] | [82-83] |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 17 ホルミンス色の町。 | 藤原 新也／撮影 | [154-155] |
| 第56巻第42号, 通巻2815号, 2011. 11. 3号 | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 18 「鬼」がいた森 | ホンマ タカシ／撮影 | [158-159] |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|---|-------------|-----------|
| 第56巻第43号, 通巻2816号, 2011. 11. 10号 | 福島県ペットも「仮設ペットハウス」へお引越し | 伊藤 諭／撮影 | [16-17] |
| | コラム がんの練習帳 第124回 放射線もがんも“正しく”怖れよう | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | 荒川静香のステイ・ポジティブ がんばってる、東北の農家 基本は生き物が好き愛と希望の牧場 | 荒川 静香／[著] | [78-79] |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 19 大和まほろば。 | 藤原 新也／撮影 | [148-149] |
| 第56巻第44号, 通巻2817号, 2011. 11. 17号 | コラム がんの練習帳 第125回 原発事故と原爆の違い | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 20 原発で働く | ホンマ タカシ／撮影 | [150-151] |
| 第56巻第45号, 通巻2818号, 2011. 11. 24号 | コラム がんの練習帳 第126回 今度は福島県民を“長生き”に | 中川 恵一／[著] | 64 |
| | 福島・コメ作り名人でも苦戦する「風評被害」 | 伊藤 諭／撮影 | [150-151] |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 21 となりの畑。 | 藤原 新也／撮影 | [158-159] |
| 第56巻第46号, 通巻2819号, 2011. 12. 1号 | コラム がんの練習帳 第127回 チェルノブイリの教訓 | 中川 恵一／[著] | 64 |
| 第56巻第47号, 通巻2820号, 2011. 12. 8特大号 | 御用学者と呼ばれて [第3弾] 原子力と放射能の専門学者座談会 放射線への過大評価は、すなわち他のリスクに対する過小評価である | | |
| | コラム がんの練習帳 第128回 “バランスよく”被ばくリスクに対処する | 中川 恵一／[著] | 78 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 23 犬の名前。 | 藤原 新也／撮影 | [183-184] |
| 第56巻第48号, 通巻2821号, 2011. 12. 15号 | コラム がんの練習帳 第129回 「内部被ばく」とは何か | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | 「牛の惑星」になっていた警戒区域 | 南 慎二／撮影 | [152-153] |
| 第56巻第49号, 通巻2822号, 2011. 12. 22号 | テンポ ビジネス 福島企業の入魂開発で「放射線測定器」低価格競争 | | 38 |
| | コラム がんの練習帳 第130回 ヒトの体も“放射線源” | 中川 恵一／[著] | 70 |
| | 二人の写真家が見た“3.11からの1年”藤原新也×ホンマタカシ 25 水の記憶。 | 藤原 新也／撮影 | [170-171] |
| 第56巻第50号, 通巻2823号, 2011. 12. 29号 | コラム がんの練習帳 第131回 飲酒の「しきい値」 | 中川 恵一／[著] | 62 |
| 第56巻第51号, 通巻2824号, 2012. 1. 5-12号 | コラム がんの練習帳 第132回 がんの練習問題① | 中川 恵一／[著] | 82 |
| | コラム 変見自在 連載477 エジソンの鼠 | 高山 正之／[著] | 182 |
| | 「糸井重里」が震災被災者とフラガール見物に出かけたわけ | 本田 武士／撮影 | [187] |
| 第57巻第3号, 通巻2826号, 2012. 1. 26号 | コラム オモロマンティック・ボム！ 連載134 3月は今もつづく | 川上 未映子／[著] | 59 |
| 第57巻第4号, 通巻2827号, 2012. 2. 2号 | グラビア 藤原正彦の管見妄語 135 無用が拓く地平 | 藤原 正彦／[著] | [18-19] |
| | テンポ ビジネス ベルラーシと組んだ「内部被曝検査」ビジネス | | 32 |
| | 無闇に恐れない！ 新刊専門書放射線の健康影響を平易に解説 | | 44-45 |
| 第57巻第5号, 通巻2828号, 2012. 2. 9号 | コラム がんの練習帳 第136回 がんの練習問題⑤ | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第481回 福島のカーネーション農家 | 斎藤 由香／[著] | 66 |
| 第57巻第7号, 通巻2830号, 2012. 2. 23号 | コラム がんの練習帳 第138回 がんの練習問題⑦ | 中川 恵一／[著] | 64 |
| 第57巻第8号, 通巻2831号, 2012. 3. 1号 | コラム がんの練習帳 第139回 がんの練習問題(読者プレゼント) | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | 荒川静香のステイ・ポジティブ がんばってる、東北の農家 世界が認めた福島の果樹農家 | 荒川 静香／[著] | [82-83] |
| | コラム 日本ルネッサンス 第499回 原発事故克服に専門家を活用せよ | 桜井 よしこ／[著] | 142-143 |
| 第57巻第9号, 通巻2832号, 2012. 3. 8号 | 3月8日震災1周年追悼号 | | |
| | 「補償金リッチ」で「避難準備区域」解除でも自宅に帰らない | | 57-58 |
| | 瓦礫2600万トンを野晒しにする「放射能アレルギー」に絆があるか | | 58-59 |
| | 瓦礫は拒否でも「さいたまスーパーアリーナ」隣に核廃棄物ドラム缶4万本 | | 59-60 |
| | コラム がんの練習帳 第140回 がんの練習問題(読者プレゼント第2弾) | 中川 恵一／[著] | 71 |
| | 御用学者と呼ばれて 第4弾 原子力と放射能の専門学者座談会 決定版 「低線量被曝と内部被曝」の正しい知識 | 松原 純子[ほか]／談 | 122-128 |
| | 「オバマ大統領」がリスペクトした「自衛隊ヘリ」原発海水投下 | | 133-134 |
| | コラム 日本ルネッサンス 第500回 被災者が福島で暮らすために | 桜井 よしこ／[著] | 158-159 |
| | 「一日300トン」噴出いわき「温泉アパート」を悩ます「湯気」 | 本田 武士／撮影 | 162-163 |
| | 被災地春暁 | 土居 誉／撮影 | [173-174] |
| 第57巻第10号, 通巻2833号, 2012. 3. 15号 | 大震災一年 夜明け前の甲鐘 | | |
| | 自衛隊の291日 | 陸上自衛隊／写真提 | [5-16] |
| | 時計の針が止まったままの福島第一原発「20キロ圏内」 | 尾崎 孝史／撮影 | [23-25] |
| | 「原発から3キロ」で愛娘を探す父の「夢の中の一年」 | 尾崎 孝史／撮影 | [26-27] |
| | 「漂流金庫」5780個の中から出てきた命の次に大事なもの | | 48-49 |
| | 「駝鳥」「イノブタ」「野良子牛」20キロ圏内ワイルドライフ | | 52-53 |
| | 「滝川クリステル」「杉本彩」が被災地ペットを引き取った | | 53-54 |
| | 「GACKT」「秋吉久美子」ボランティアを続ける意外な面々 | | 55-56 |
| | 2037年の「福島県」の姿 原発事故26年目「チェルノブイリ」を歩く | | 59-62 |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|--|---|------------|------------------------|
| | コラム オモロマンティック・ボム！ 連載141 3月の記憶 | 川上 未映子／[著] | 67 |
| | コラム がんの練習帳 第141回 震災・原発事故から1年 | 中川 恵一／[著] | 72 |
| | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第486回 震災一周年 | 斎藤 由香／[著] | 76 |
| | ステーション・ブラックアウト！ 原発「全電源喪失」の96時間 「福島原発」No.3にインタビュー10時間！ | | 136-142 |
| | 復興の大プレーキという「復興庁」は顔を洗って出直せ！ | | 143-144 |
| | 福島差別を醸し出す絵本「みえないばくだん」作者の人類愛 | | 145 |
| | 脱原発で人がもっと死ぬ！『「反原発」の不都合な真実』 26年の時を経て チェルノブイリを歩く | 伊藤 諭／撮影 | [146-147] [188-191] |
| 第57巻第11号、 通巻2834号、 2012. 3. 22号 | コラム がんの練習帳 第142回 「リスク」を見る目を養う | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | 荒川静香のステイ・ポジティブ がんばってる、東北の農家 読者から届いた1500通のハガキ | 荒川 静香／[著] | 86-87 |
| | コラム 日本ルネッサンス 第502回 がれき処理に政府の指導力発揮を | 桜井 よしこ／[著] | 140-141 |
| 第57巻第12号、 通巻2835号、 2012. 3. 29号 | 辰巳琢郎&木場弘子がゆく絆の食卓② だから安心！美味しい肉牛が出荷されるまで | 木場 弘子／レポート | [10-11] |
| | コラム がんの練習帳 第143回 「飯館村」再生のために | 中川 恵一／[著] | 72 |
| 第57巻第13号、 通巻2836号、 2012. 4. 5号 | コラム がんの練習帳 第144回 「青森の雪」のゆくえ | 中川 恵一／[著] | 70 |
| 第57巻第14号、 通巻2837号、 2012. 4. 12号 | コラム がんの練習帳 第145回 復興を妨げる「がれき受け入れ拒否」 | 中川 恵一／[著] | 62 |
| 第57巻第15号、 通巻2838号、 2012. 4. 19号 | コラム がんの練習帳 第146回 先人に学ぶ「がれき処理」の知恵 | 中川 恵一／[著] | 62 |
| 第57巻第16号、 通巻2839号、 2012. 4. 26号 | コラム がんの練習帳 第147回 「震災がれき」は危険なのか？ | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | コラム 変見自在 連載492 セスナの教訓 | 高山 正之／[著] | 136 |
| 第57巻第17号、 通巻2840号、2012. 6. 3-10ゴールデンウィーク特大 | グラビア 藤原正彦の管見妄語 148 楽観せよ！ | 藤原 正彦／[著] | [20-21] |
| 第57巻第18号、 通巻2841号、201 2. 5. 17菫蒲月特大号 | 「武田邦彦」センセイ曰く「あと3年で日本に住めなくなる」 | | 48-49 |
| | テンポ ビジネス 「放射能」アレルギー-払拭に樹脂製「遮蔽シート」 | | 143 |
| 第57巻第19号、 通巻2842号、 2012. 5. 24号 | コラム 窓際OLのすってんころりん日記 第495回 競馬場へ行こう！ | 斎藤 由香／[著] | 66 |
| 第57巻第21号、 通巻2844号、 2012. 6. 7号 | 細野大臣が引率した「福島第一原発4号機」初公開の茶番劇 | | [16-17] |
| 第57巻第22号、 通巻2845号、 2012. 6. 14号 | コラム がんの練習帳 第153回 “月島の先輩”を見習って | 中川 恵一／[著] | 62 |
| | 立入禁止 off limits 自殺を招いた福島第一原発20キロ圏内の景色 | 尾崎 孝史／撮影 | [150-151] |
| 第57巻第24号、 通巻2847号、 2012. 6. 28号 | コラム 日本ルネッサンス 第515回 福島で世論に迎合する民主党 | 桜井 よしこ／[著] | 140-141 |
| 第57巻第27号、 通巻2850号、 2012. 7. 19号 | BOOK OF THE WEEK お笑い芸人の被災地救援顛末記 | 立川 談四楼／評 | 139 |
| 第57巻第28号、 通巻2851号、 2012. 7. 26号 | 立入禁止 off limits 東電は知らない！？福島第一原発の刺青作業員 | 桐島 瞬／撮影 | [16-18] |
| | テンポ アーツ 「白虎隊」の生と死を描く入魂オペラ | | 125 |
| 第57巻第35号、 通巻2858号、 2012. 9. 20号 | B級重大ニュース 世界一の絹でドレス | | 53 |
| 第57巻第36号、 通巻2859号、201 2. 9. 27菫蒲月増大号 | 原発避難生活を送っていた石器ねつ造「ゴッドハンド」 | | 53 |
| | テンポ ビジネス 福島「稲刈りツアー」をなぜ「高島屋」が？ | | 165 |
| 第57巻第42号、 通巻2865号、201 2. 11. 8神帰月増大号 | コラム がんの練習帳 第173回 チーム中川の「壁新聞」 | 中川 恵一／[著] | 75 |
| 第57巻第43号、 通巻2866号、 2012. 11. 15号 | コラム がんの練習帳 第174回 “急増”した自然被ばく量 | 中川 恵一／[著] | 64 |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|---------------------------------------|---|------------|---------------|
| 第57巻第44号, 通巻2867号, 2012. 11. 22号 | コラム がんの練習帳 第175回 医療被ばくも急増中 | 中川 恵一/[著] | 66 |
| 第57巻第45号, 通巻2868号, 2012. 11. 29号 | コラム がんの練習帳 第176回 国民皆保険がもたらした“被ばく”と“長寿” | 中川 恵一/[著] | 66 |
| 第57巻第46号, 通巻2869号, 2012. 12. 6号 | 福島の子供達に成長支援の仕組みを 南相馬 福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会 半谷英寿代表理事 被災地秋景 | | 62 161-163 |
| 第57巻第48号, 通巻2871号, 2012. 12. 20号 | コラム 日本ルネッサンス 第539回 福島復興を妨げる「1ミリシーベルト神話」 | 桜井 よしこ/[著] | 154-155 |
| 第57巻第49号, 通巻2872号, 2012. 12. 27総選挙増大号 | コラム 福田和也の世間の値打ち 第525回 自衛隊の影に隠れた「警察官」震災活動の貢献度 | 福田 和也/[著] | 64-65 |

【 週 刊 文 春 】

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|---|---|-------------|---------|
| 第53巻第12号, 2011. 3. 24号 | CATCH UP 海に呑みこまれた町 東日本大震災 | | 15-22 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 奇蹟の生還43人が語る「生死を分けた瞬間」 | | 24-30 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 計画停電だけじゃない卵、鮮魚、水道水が不足する | | 31-32 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 被災地はツイッター「使えるケータイ、つながらないケータイ」 | | 32-33 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 交通大パニック！復旧が遅かったJR、「帰宅難民」の怒り | | 34 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 緊急地震速報なぜハズれればなしなのか | | 35 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 東京湾なら液状化日テレ、フジ、泥の海に沈む | | 35-36 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 日本経済ガケぶち復興資金20兆円を投入せよ | | 36-37 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 小沢一派クーデター計画は大地震で幻に消えた | | 38 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 「暴走ドミノ」被曝の真相 | | 149-153 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 都内でもカベに亀裂、天井落下耐震建設神話の崩壊 | | 154-155 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 薬天星野新沼謙治…有名人を直撃した「大地震」 | | 155-156 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 子供、食料、帰宅ルート…徒歩帰宅7つの教訓 | | 156-157 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 スーパームーン新たな警告次の震源地はどこだ！？ | | 157-158 |
| | ぶち抜き特集東日本大震災 佐々淳行直言「菅と仙谷は自衛隊に誤れ！」 | 佐々 淳行／[著] | 159 |
| ぶち抜き特集東日本大震災 スマトラ沖大津波では遺体漂流村落消滅 | 青沼 陽一郎／[著] | 160 | |
| 第53巻第13号, 2011. 3. 31号 | CATCH UP 危機的状況が続く福島第一原発事故 瓦礫と煙の中の終わりが見えない戦い | | 13 |
| | CATCH UP 原発事故「レベル5」の恐怖① これが日本の運命を握る3号機使用済み燃料プールだ | | 14-15 |
| | CATCH UP 原発事故「レベル5」の恐怖② 不肖・宮嶋放射能からの迷走 | 宮嶋 茂樹／撮影 | 16-17 |
| | CATCH UP 原発事故「レベル5」の恐怖③ 東京大脱出！ | 細田 忠／撮影 | 18-19 |
| | CATCH UP 東北高校の笑顔なき甲子園 | 田中 茂／撮影 | 20 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 東京電力の「大罪」 御用メディアが絶対に報じない | | 22-27 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 内部告発もモミ消す経産省、原子力保安院との黒い癒着 | | 28-29 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 現場に投入自衛隊 “特殊部隊員” 爆発で「右足裂傷」！ | | 30-32 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 「防災相への電話も間違い」菅首相 “メルトダウン” | | 32-33 |
| | 最前線の医師から届いた10通の「SOSメール」 | 鳥集 徹／[著] | 34-36 |
| | 芸能人、有名人「募金・寄付」の舞台ウラ | | 37 |
| | 官邸に届けられた「史上最大の作戦書」の全貌 自衛隊&米軍 自衛隊員20万名態勢！ | | 38-41 |
| | 震災・原発で「食卓から消える食品」「安全な食品」 | | 42-43 |
| | THIS WEEK 政治 大震災で国会は自然休会に “倒閣” を逃した自民の無念 | | 52 |
| | THIS WEEK 新聞不信 原発報道に欠ける “科学の眼” | 兎／[著] | 54 |
| | 夜ふけのなわとび 1210 こんなこと…… | 林 真理子／[著] | 60-61 |
| | 本音を申せば 連載第644回 非常事態 | 小林 信彦／[著] | 62-63 |
| | 伊集院静の「悩むが花」連載第13回 揺さぶられた時こそ、男の真価が問われるぞ | 伊集院 静／[著] | 64-65 |
| | いまなんつった？ 連載139 せめて受かるといいですね | 宮藤 官九郎／[著] | 69 |
| | ツチヤの口車 696 被害と人間性 | 土屋 賢二／[著] | 73 |
| | 風まかせ赤マント 1028 ぼくもガシガシ揺れた | 椎名 誠／[著] | 76-77 |
| | さすらいの女王 628 あなたの「幸福」は？ | 中村 うさぎ／[著] | 105 |
| | 人生モグラたたき！ 88 | 池田 暁子／画 | 106-107 |
| | 見もの聞きもの 折り合い！ランキング 連載23 東北～関東思い出の海岸 私調べ | 能町 みね子／[著] | 113 |
| | 見もの聞きもの 日々是ゴルフ好日録 連載61 スポーツ選手にできること | 中嶋 常幸／[著] | 114 |
| | 見もの聞きもの カーナビ 連載289 震災時のクルマ心得 | 渡辺 敏史／[著] | 114 |
| | 病院情報ファイル2011 医療ユーザー編 被災地の広域患者搬送 | 恵原真知子／取材・構成 | 115 |
| | 文春図書館 特別編 緊急メッセージ「苦難を乗り越える一冊」 | | 126-131 |
| | 阿川佐和子のこの人に会いたい+池上彰のそこからですか！？震災緊急対談 原発を切り抜けても、どん底からの再出発になる。でも、ここは日本人の力を信じよう！ | 阿川佐和子[ほか]／談 | 132-136 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 オール電化の無責任停電本当の危機は7月に始まる | | 137-138 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 「情報操作だ」「もっと避難させろ」欧米メディアにニッポン不信 | | 138-139 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 原発停止処分政商にスガった東電首脳の実名 | 森 功／[著] | 139-140 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 中国ツアー「大手マスコミ接待リスト」を入手！ | | 141-142 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 東京からさっさと逃げ出す外資と共同通信 | | 142-143 |
| | 総力検証世界を震撼させたレベル5「原発大パニック」 「莫大な経済損失」金融界エコノミストに箱口令 | | 143 |
| 「原発は気にしない。今日を生き抜くんだ！」日本人の底力「被災地250キロ縦断ル | | 144-147 | |
| 原発20キロ圏「見捨てられた町」を行く | 青沼陽一郎[ほか]／著 | 148-151 | |
| CATCH UP 東日本大震災から10日 復興への道程 | | 153-160 | |
| 第53巻第14号, 2011. 4. 7号 | CATCH UP 育てて、採って、搾って、捨てて 放射性物質検出の四県で原乳、野菜が出荷制限に | 田中 茂／[著] | 13-15 |
| | CATCH UP 保養所は全国各地に、広大な研修センターも持っているのに「東電避難所」はいつできる？ | | 16-17 |
| | CATCH UP 原発避難民の生活① 5日ぶりの入浴は那須御用邸の湯 天皇・皇后陛下のご意向で…… | 時事通信社／写真提供 | 18 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|----------------------------|--|---------------|---------|
| | CATCH UP 原発避難民の生活② いつまで続く透析患者の流浪の旅 病院ごとに各地へ疎開 | 石川 啓次／撮影 | 19 |
| | CATCH UP 原発避難民の生活③ 静まり返る“陸の孤島” 30km圏内の町、南相馬を往く | 馬場 雄二／撮影 | 20 |
| | 東京電力の「罪と罰」 原発「自衛隊」「消防隊」に非常すぎる仕打ち スクーブ！首相はなぜ座視しているのか | | 22-25 |
| | 東京電力の「罪と罰」 東電よ、いつまでたれ流すつもりだ 社長の体調不良も隠していた | | 26-29 |
| | 東京電力の「罪と罰」 ハイパーレスキュー隊長が明かす「鳴り止まぬ線量計、視界ゼロ！」 | | 31 |
| | 東京電力の「罪と罰」 賠償金のツケ消費税20%それでも東電を救うのか | | 33-34 |
| | 東京電力の「罪と罰」 「原発を作れば国民は長生きできる」渡部恒三東電との蜜月 | | 34-35 |
| | 東京電力の「罪と罰」 班目春樹原子力安全委員長の暴言妄言をスッパ抜く！「結局はカネ、嫌なら5倍、10倍払いましょ」 | | 35-36 |
| | 東京電力の「罪と罰」 「原発より津波のほうが大変！」勝間和代は電力会社の「広告塔」 | | 36 |
| | 東京電力の「罪と罰」 近藤誠慶応大学医学部講師直言「テレビの放射線専門家はウソばかり」 | 近藤 誠／[著] | 37 |
| | ガレキと濁流の後の「一筋の光」 「東日本大震災」被災地密着ワイド全6本 | | 38-43 |
| | THIS WEEK 新聞不信 引きこもる菅首相と小沢元代表 | 翼／[著] | 50 |
| | 夜ふけのなわとび 1211 人間の器量 | 林 真理子／[著] | 56-57 |
| | 本音を申せば 連載第645回 非常事態2 | 小林 信彦／[著] | 58-59 |
| | 伊集院静の「悩むが花」 連載第14回 けど君、こんな狭い国でどこに逃げるの？ | 伊集院 静／[著] | 60-61 |
| | ツチヤの口車 697 想定外の出来事 | 土屋 賢二／[著] | 69 |
| | 風まかせ赤マント 1029 コブつき逃避行 | 椎名 誠／[著] | 80-81 |
| | さすらいの女王 629 協調性と同調圧力 | 中村 うさぎ／[著] | 90 |
| | 病院情報ファイル 2011 医療ユーザー編 放射線被曝と治療 | 恵原真知子／取材・構成 | 107 |
| | 見もの聞きもの テレビ健康診断 連載326 「会話をきっちり見たい」という気持ちに応えたNHK | 青木 るえか／[著] | 111 |
| | 見もの聞きもの ヨコモレ通信 連載357 東京都庁救援物資受付窓口 | 辛酸 なめ子／[著] | 114 |
| | 見もの聞きもの 日々是ゴルフ好日録 連載62 心の工夫 | 中嶋 常幸／[著] | 116 |
| | 池上彰のそこからですか！？ 連載22 「暫定規制値」とは何か？ | 池上 彰／[著] | 126-127 |
| | 阿川佐和子のこの人に会いたい 第869回 養老孟司 | 阿川佐和子[ほか]／談 | 128-132 |
| | ワイド特集ドサクサまざれ 売り切れ続出「家庭用発電機選び」のチェックポイント | | 135-136 |
| | 「新しいこの国のかたち」立花隆×塚屋太一 震災・原発からの再出発 | 立花 隆[ほか]／著 | 138-141 |
| | 放射性物質「汚染食品」風評か、本当に危ないのか 産地徹底ルポ 野菜、牛乳の次は米、魚が消える！？ | 青沼 陽一郎／[著] | 142-144 |
| | CATCH UP 棺は冷たい土の中に 東日本大震災の現実 | 志水 隆／撮影 | 149-151 |
| | CATCH UP 被災地スマイル 悲しみの非日常を逞しく乗り越える | | 152-156 |
| 第53巻第15号、 2011. 4. 14号 | CATCH UP 新聞・テレビでわからない大震災① 避難所になった宮城・女川原発 混乱の福島原発とは何が違ったのか？ | 田中 茂／撮影 | 13 |
| | CATCH UP 新聞・テレビでわからない大震災② 菅総理の招かれざる避難所視察 被災者たちは朝から床を雑巾がけ | 田中 茂／撮影 | 14-15 |
| | CATCH UP 新聞・テレビでわからない大震災③ 卑しき「震災ドク」逮捕の瞬間、一部始終 金庫をバールでこじ開けようとして… | 幸多 潤平 | 16-17 |
| | 本誌だから書ける 東京電力「原発解体」の緊迫情報 アメリカが突きつけた最終結論 「あと6ヵ月はかかる！」 | | 22-26 |
| | 本誌だから書ける 東京電力「原発解体」の緊迫情報 米軍が官邸に届けた「放射性物質拡散シミュレーション」最悪の場合6時間で東京にも | | 33-35 |
| | 「放射能」「津波」恐怖に負けない男たち 大震災から4週間現地リポート 原発10キロ圏内「牛を見捨てられない」畜産農家に同行取材 | | 36-39 |
| | 池上彰のそこからですか！？ 連載23 プルサーマルとは何のこと | 池上 彰／[著] | 46-47 |
| | THIS WEEK 生活 震災、原発の影響でゴールデンウィークの旅行はどうなる？ | 岡崎 博之／[著] | 51 |
| | 夜ふけのなわとび 1212 大嫌いなこと | 林 真理子／[著] | 56-57 |
| | 本音を申せば 連載第646回 非常事態3 | 小林 信彦／[著] | 58-59 |
| | ユニバ君 VOL. 71 事前の対策 | | 64 |
| | いまなんつった？ 連載141 ない……と……言われています……が？ | 宮藤 官九郎／[著] | 65 |
| | ツチヤの口車 698 リスクがいっぱい | 土屋 賢二／[著] | 69 |
| | 風まかせ赤マント 1030 悪魔のとくり | 椎名 誠／[著] | 72-73 |
| | 文春図書館 活字まわり 4 カメラで顔を隠している | 長島 有里枝／[著] | 119 |
| | 文春図書館 私の読書日記 地震と歴史、江戸とパリ、大秀才ジェネレーション | 鹿島 茂／[著] | 120-121 |
| | 緊急寄稿「戦闘ストレス」で自衛隊は潰れるのか！？ 震災支援で初の殉職 | 麻生 幾／[著] | 129-131 |
| | 東日本大震災「株を上げた人」「下げた人」14本 まさかの有事にこそ人間の真価が問 | | 137-143 |
| | 読者より | | 144 |
| | CATCH UP 日本から消えかかっている故郷 福島出身作家が聞いた、現地のやるせない本音 | 清野 一／撮影・文 | 150-152 |
| 第53巻第16号、 2011. 4. 21日号 | CATCH UP 東日本大震災から1ヵ月 鎮魂、そして再生へ | 宮嶋 茂樹／撮影 | 18-20 |
| | 東京電力レベル7「福島第一原発」の反乱 「やっつけられねえッ！」所長が東電本社幹部を怒鳴りつけた 衝撃スクープ | | 22-26 |
| | 「非常用発電機、冷却ポンプを配置したコンサル会社が悪い」福島原発を作った原子力のドン 独占インタビュー | | 30-31 |
| | 「暴走原子炉」のバケの皮を剥ぐ！ 「原発事故調査」日米の第一人者が緊急告発 | チャム ダラス[ほか]／談 | 32-36 |
| | 両親が見つからない「子どもたち」 「いま大人だったらもっと何かできるのに…」被災地密着ルポ | | 37-39 |
| | 私の「日本再生計画」10人の大提言 放射能に負けない「三春の桜」 | 玄侑 宗久／[著] | 45 |
| | 池上彰のそこからですか！？ 連載24 「トイレのないマンション」？ | 池上 彰／[著] | 50-51 |
| | THIS WEEK 新聞不信 機能不全の官邸が起こす“人災” | 翼／[著] | 54 |
| | 夜ふけのなわとび 1213 最初の一步 | 林 真理子／[著] | 60-61 |
| | 伊集院静の「悩むが花」 連載第16回 悲観しても何もはじまらんだろう | 伊集院 静／[著] | 64-65 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|--|---|----------|
| | ユニバ君 VOL. 72 日本の底力 | | 68 |
| | ツチヤの口車 699 災害の教訓 | 土屋 賢二/[著] | 73 |
| | 病院情報ファイル2011 作業者の造血幹細胞保存 | 恵原真知子/取材・構成 | 112 |
| | 文春図書館 私の読書日記 原発政策、オウムの精神史、移行化石と進化 | 立花 隆/[著] | 124-125 |
| | 地震でモノはなぜ消えた!? 総力検証 水、コンビニ弁当、納豆、タバコ… | 青沼 陽一郎/[著] | 133-136 |
| | 美智子皇后と雅子さま被災者との知られざる「ご交流」 新聞・TVではわからない | | 149-151 |
| | 読者より | | 152 |
| | CATCH UP 故郷を奪われた人々の届かない想い「俺はここにずっといるよ」 最悪の汚染区域、飯館村の現在 | 飯田 勇/撮影・文 | 156-157 |
| | CATCH UP 全国から集められた原発作業員の知られざる「生活」 Jヴィレッジは分煙、プレハブ小屋の二段ベッドで横になる | 飯田 勇/撮影 | 158-159 |
| | 第53巻第17号, 2011. 4. 28号 | CATCH UP 東京電力「会長」と「社長」の器の差 | |
| CATCH UP 不肖・宮嶋が見た未曾有の大災害 東日本大震災地獄の黙示録 | | 宮嶋茂樹/撮影・文 | 18-24 |
| 総力特集大震災「官邸迷走40日」の全行状 玄葉国家戦略担当相復興を裏切る大スキャンダル 独占スクープ「オレの選挙区に50台タンクローリーを出せ！」 | | | 26-29 |
| 総力特集大震災「官邸迷走40日」の全行状 菅首相「ヒステリーと涙」の異常症状! | | | 30-33 |
| 放射能に勝つ「食材」「水」 細胞生物学の権威が緊急報告 | | 太田 成男/[著] | 39-41 |
| 自民論客出血覚悟の「日本復興プラン」 | | 塩崎恭久[ほか]/著 | 46-48 |
| 池上彰のそこからですか!? 連載25 シーベルトとは何だろう | | 池上 彰/[著] | 50-51 |
| 今週のBEST10 連載第138回 用意しておきたいラジオ | | 村瀬 秀信/構成 | 52-53 |
| THIS WEEK 芸能 ようやく出勤した石原軍団炊き出し “風評” と “台所事情” | | | 55 |
| ユニバ君 VOL73 復興への願い | | | 70 |
| ツチヤの口車 700 薄暗い | | 土屋 賢二/[著] | 77 |
| 先ちゃんの浮いたり沈んだり 連載516 棋士が集ったチャリティイベント初めて街頭に立ち募金箱を持った日 | | 先崎 学/[著] | 85 |
| さすらいの女王 632 選挙で起こりそうな葛藤 | | 中村 うさぎ/[著] | 91 |
| 病院情報ファイル 2011 震災ストレス | | 恵原真知子/取材・構成 | 121 |
| 人生モグラたたき 92 | | 池田 暁子/[著] | 122-123 |
| 東京電力「黒い独占企業」のタブー 本当は反省なんかしていない | | | 157-159 |
| 東京電力「黒い独占企業」のタブー 「M8の余震が来る」地震学者が緊急アピール | | | 161-162 |
| 東京電力「黒い独占企業」のタブー 原発から3キロ 見捨てられた病院院長が明かす “真実” | | | 164-165 |
| 読者より | | | 166 |
| CATCH UP 京都大学で「原子炉と放射線」を学ぶ 炉心から30cmの特別講義 | | 三宅 史郎/撮影 | 167-169 |
| 石油探訪 東日本大震災現地ルポルタージュ | | 神津 カンナ/[著] | 174-177 |
| CATCH UP 阪神・淡路大震災にはなかった異景「津波の木」 | | 大久保千広/撮影 | 178 |
| 第53巻第18号, 2011. 5. 5-12号 | | 「東日本大震災」本誌が掴んで書かなかった全情報 福島原発世界を震撼させた45日間 戦慄ドキュメント | 麻生 幾/[著] |
| | 「東日本大震災」本誌が掴んで書かなかった全情報 東京電力の「大罪」決定版 日本有数の優良企業はなぜ公害企業に成り果てたのか! | | 30-33 |
| | 「東日本大震災」本誌が掴んで書かなかった全情報 「放射能汚染」福島で何が起きているのか 20キロ圏立ち入り禁止、母乳、野菜、魚… | | 34-36 |
| | 「東日本大震災」本誌が掴んで書かなかった全情報 「50キロ自己規制」自分の身だけを守る卑怯な記者たち | 上杉 隆/[著] | 37 |
| | 「東日本大震災」本誌が掴んで書かなかった全情報 小誌記者が聞いた「慟哭」と「祈り」 震災から40日 岩手・宮城・福島 被災地ルポ | | 38-43 |
| | 池上彰のそこからですか!? GW集中講義 「3・11」後の世界を読み解く | 池上 彰/[著] | 60-61 |
| | 伊集院静の「悩むが花」 連載第18回 出会いと別れ 特別拡大版 Q今回の震災で… | 伊集院 静/[著] | 69 |
| | 風まかせ赤マント 1033 レベル7 | 権名 誠/[著] | 82-83 |
| | ユニバ君 VOL74 「実態」を見る | | 89 |
| | 新家の履歴書 239 畠山重篤(漁師) | 畠山 重篤/[著] | 94-97 |
| | 合併号特別企画 自力で乗りきる究極の休息法! 震災ストレスに勝つ! | | 142-145 |
| | 病院情報ファイル 2011 医療ユーマー編 体内被曝を避ける防塵策 | 恵原真知子/取材・構成 | 153 |
| | 総力ワイド「消えた主役」を追え! 全28人 黒田清子さん地震後ご兄弟よりいち早く御所に駆けつけた | | 185-186 |
| | 総力ワイド「消えた主役」を追え! 全28人 麻生元首相自ら被災地に届けた「グロンサン1千本」 | | 186-187 |
| | 総力ワイド「消えた主役」を追え! 全28人 sengoku38一色正春職探しより「被災地支援」 | | 187 |
| | 総力ワイド「消えた主役」を追え! 全28人 榎本加奈子宮城で炊き出し大魔神がサバく「百キロの鶏肉」 | | 188-189 |
| | 第53巻第19号, 2011. 5. 19号 | CATCH UP 「試食パフォーマンス」という大切なお仕事 民主党、食べる食べる食べる | |
| CATCH UP 入学から2週間、学校は避難所のまま… 湊小学校、最後の授業 | | 宮嶋 茂樹/撮影 | 18-19 |
| 総力特集小誌だけが書ける「放射能汚染」本当の危機 日本の原発作業員が消滅する! スクープ・リポート | | | 22-24 |
| 総力特集小誌だけが書ける「放射能汚染」本当の危機 ヒューマンズムが聞いてアキれる “涙の辞任” 小佐古参与原爆被爆者切り捨ての過去 | | | 28-29 |
| 総力特集小誌だけが書ける「放射能汚染」本当の危機 放射能恐怖報道どこまでエスカレートするのか | | | 32-33 |
| 総力特集小誌だけが書ける「放射能汚染」本当の危機 原発パニック日本人がいまなすべきこと 藤原正彦緊急提言 | | 藤原 正彦/[著] | 40-43 |
| ツチヤの口車 702 非常時に何をもって逃げるか | | 土屋 賢二/[著] | 69 |
| ユニバ君 VOL. 75 国家としての管理体制 | | | 82 |
| 文春図書館 私の読書日記 雨ニモマケズ、共同体、野生 | | 山崎 努/[著] | 120-121 |
| 読者より | | | 152 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|---|---|--------------|---------|
| 第53巻第20号, 2011. 5. 26号 | CATCH UP 質問を無視する菅総理の脳で 涙ぼろぼろ海江田大臣 | 深野 未季／撮影 | 13 |
| | CATCH UP 山積みの支援物資をめぐる南三陸町の苦悩 「過剰」と「不足」と「賞味期限切れ」 | 大久保 千広／撮影 | 14-15 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 隠されていたメルトダウン、作業員にも死者も出た | | 22-25 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 「最初は大下痢、ぶらぶら病。出血そして老化へ…」 内部被爆患者6000人を診た医師が警告する | 肥田 舜太郎 | 26-29 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 東電 “原発のドン” 激白「2号機、3号機のメルトダウンも3月にわかっていた」 メルトダウン1号機「想定外の津波」ではなく地震で壊れた | | 30-32 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 菅政権が妨害した海洋調査恐るべき「放射能汚染データ」 | 上杉 隆／[著] | 32-33 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 母たちの放射能パニック ヨーグルト風呂、子供にビール… | | 36 |
| | 「死の町」チェルノブイリ25年後の「惨状」 心臓と眼がやられる。フクシマは大丈夫か 現地徹底レポート | 青沼 陽一郎／[著] | 40-43 |
| | THIS WEEK 新聞不信 震災復興論議 大新聞の混迷 | 兎／[著] | 54 |
| | 夜ふけのなわとび 1217 仙台へ | 林 真理子／[著] | 58-59 |
| | 伊集院静の「悩むが花」連載第20回 酒が強くなる必要はまったくないよ [Q福島原発の賠償問題が…] | 伊集院 静／[著] | 62-63 |
| | ユニバ君 VOL. 76 夢溢れる日本へ | | 66 |
| | いまなんつった？ 連載146 見らいんホラ、めんこい写真 | 宮藤 官九郎／[著] | 67 |
| | 文春図書館 マンガホニャララ 原発事故を描き、被災した漫画！ | ブルボン小林／[著] | 121 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた ヒロシマ、ナガサキ「内部被爆者たち」 終わりのない苦痛 内部の細胞が壊死して下痢や嘔吐に | | 137-141 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 売れない牛乳は乳製品に食の安全ウワサの全真相 | | 141-142 |
| | 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 東京・千葉・福島本当の放射線量を計ってみた！ | | 142-144 |
| 東京電力の大ウソ放射能地獄に日本は陥ちた 慶大医学部講師近藤誠緊急発言「低線量被曝でもがんになる」 | 近藤 誠／[[著]] | 144-145 | |
| CATCH UP 25年目の「レベル7」チェルノブイリに見るフクシマの未来図 | 青沼 陽一郎／撮影 | 158-159 | |
| CATCH UP 世界で初めて撮影された内部被曝 細胞に残ったプルトニウムの爪痕 | | 160 | |
| 第53巻第21号, 2011. 6. 2号 | 総力特集東京電力「放射性物質」終わりのない恐怖 原発「海産物汚染」旋律データを全公開！ | 上杉 隆／[著] | 24-27 |
| | 総力特集東京電力「放射性物質」終わりのない恐怖 衝撃発表！危機管理に重大疑問 東京電力「下請けパルプ会社」に原発警備を丸投げした | | 28-29 |
| | 総力特集東京電力「放射性物質」終わりのない恐怖 「海水注入中断知らなかった」菅政権のウソ決定的証拠 | | 29-30 |
| | 総力特集東京電力「放射性物質」終わりのない恐怖 「福島は安心」で批判された有名教授(長崎大山下俊一)「大学が守ってくれますよ」 | | 34-35 |
| | 夜ふけのなわとび 1218 この広さは…… | 林 真理子／[著] | 62-63 |
| | 本音を申せば 連載第652回 国会は被災地で開け | 小林 信彦／[著] | 64-65 |
| | 見もの聞きもの 宮崎哲弥のDVD教養主義 米ドラマにおける原発事故対応『ザ・ホワイトハウス(セブンス・シーズン)』 | 宮崎 哲弥／[著] | 115 |
| | 文春図書館 今週の必読 精神医療の第一人者が綴った震災の記録『災害がほんとうに襲った時』中井久夫 | 河合 香織／評 | 118 |
| | 文春図書館 私の読書日記 歴史は繰り返す。大災害も大恐慌も | 鹿島 茂／[著] | 122-123 |
| | 阿川佐和子のこの人に会いたい 第876回 岩手県陸前高田市市長 戸羽太 あの陸前高田がすばらしい街になったー犠牲者のために、そう思われる街にしたい。 | 戸羽 太[ほか]／談 | 126-130 |
| | 渾身のボ後編 チェルノブイリで起こったことはフクシマで起きる | 青沼 陽一郎／[著] | 131-138 |
| | CATCH UP 中韓トップを引き連れて…やっぱり食べた！ | | 155-157 |
| | CATCH UP 大震災から2カ月、ひろがる生活支援の輪 家賃1年間・家電2年間無料を実行する佐賀県と石巻港に突如出現した豪華客船での1泊2日 | 三宅史郎 [ほか]／撮影 | 158-159 |
| 第53巻第22号, 2011. 6. 9号 | CATCH UP 原発作業服体験記 作業服を独占入手！フクシマの過酷な労働環境を追体験 | 近藤 俊哉／撮影 | 14-15 |
| | CATCH UP 大潮と台風が引き起こす第二の津波 震災による地盤沈下・海拔ゼロメートル地帯の悲劇 | 田中 茂／撮影 | 18-19 |
| | CATCH UP 被災の海に沈んだ日常生活 ボランティアダイバーが海底で見たもの | 越智 隆治／撮影 | 20 |
| | 総力特集 東電と放射能小誌だから書ける「疑惑の核心」 東京電力「工程表」福島原発吉田所長を無視して作られた！ 驚愕スクープ「事故収束シナリオ」は根拠のない“作文”だった | | 22-25 |
| | 総力特集 東電と放射能小誌だから書ける「疑惑の核心」 福島原発内部文書入手！非常時冷却システムを撤去した勝俣会長 安全より利益を優先した東京電力。その主張を追認した政治家、官僚の罪を問う | 上杉 隆[ほか]／著 | 25-28 |
| | 総力特集 東電と放射能小誌だから書ける「疑惑の核心」 遅れに遅れた退避勧告 東電がヒタ隠した放射線データ殺人的数値 | 青沼 陽一郎／[著] | 30-32 |
| | 「震災復興」白熱5大討論！ 原子力か、自然エネルギーか／財源は国債か、増税か／電力不足には計画停電か、節電か／国主導か、地方主導か／農業、漁業の賠償…一線をどこで引くか | | 38-42 |
| | 総力特集 東電と放射能小誌だから書ける「疑惑の核心」 原発作業員とヤクザ フクシマ50に暴力団員がいた | 鈴木 智彦／[著] | 43-45 |
| | 夜ふけのなわとび 1219 被災地の本 | 林 真理子／[著] | 58-59 |
| | いまなんつった？ 連載148 宮城に帰ったら | 宮藤 官九郎／[著] | 66 |
| | 風まかせ赤マント 1037 テレビへの不満 | 椎名 誠／[著] | 70-71 |
| | ユニバ君 VOL. 78 新しい日本 | | 73 |
| | いっぴんで読めるニッポン咄 雨にも負けず | やまもと 俊子／[著] | 103 |
| | 文春図書館 私の読書日記 大震災、旧石器考古学、宇宙の「悪の枢軸」 | 立花 隆／[著] | 116-117 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|--------------------------------|---|------------|----------------|
| | 総力特集 東電と放射能小誌だから書ける「疑惑の核心」531億円汚水処理アレバ社「処理ビジネス」に米専門家が発見 | | 130-133 |
| 第53巻第23号, 2011. 6. 16号 | CATCH UP 震災より原発よりも自分と党が大事な政治家に送る言葉 | | 13 |
| | 総力特集国会こそ汚染されたガレキの山 菅総理政治主導の隠された大罪 スクープ | | 34-36 |
| | 池上彰のそこからですか!? 連載30 科学者の助言をどう生かすか | 池上 彰/[著] | 50-51 |
| | 伊集院静の「悩むが花」連載第23回 “泣ける本”なんて阿呆みたいなのを…… | 伊集院 静/[著] | 62-63 |
| | ツチヤの口車 706 政府・東電とわたしの類似点 | 土屋 賢二/[著] | 77 |
| | 衝撃レポート放射能と日本のコメ 福島で何が起きているのか わずか1カ所の土壌検査で市内の田植えは始められた | 青沼 陽一郎/[著] | 141-143 |
| | スーパーワイドゼロから這い上がろう! 雅子さま涙、涙、また涙お見舞い秘話 初の被災地ご訪問「完全密着」 | | 152-153 |
| CATCH UP 初めて被災地を訪れた皇太子ご夫妻の長い一日 | 田中 茂/撮影 | 157 | |
| 第53巻第24号, 2011. 7. 27号 臨時増刊 | 東京電力の大罪 | | |
| | 福島第一原発事故タイムテーブル | | 18-19 |
| 第53巻第25号, 2011. 6. 23号 | CATCH UP 3・11から3カ月不肖・宮嶋が見た被災地の現実 津波の高さを超えた瓦礫の山 | 宮嶋茂樹/撮影・文 | 13-15 |
| | CATCH UP 千葉、茨城に忘れられた震災の爪痕を訪ねる 歪んだままの町 | 石川 啓次/撮影 | 18-19 |
| | THIS WEEK 社会 本当に余震収束?地震、津波、噴火まだそこにある危機 | | 48 |
| | THIS WEEK 新聞不信 震災三カ月なぜ今これが一面に? | 兔/[著] | 50 |
| | チャット&トーク 千の風から応援メッセージ | 新井 満/[著] | 62 |
| | ウソと放射能を垂れ流す東京電力に「公開質問状」2900ページ「事故データ」に重大疑問 | 桜井 淳/[著] | 133-136 |
| | “墮ちたジャーナリズム” 共同通信福島前支局長が流した「告発メール」 読者より 第二の『安全神話』か? | | 138-139 152 |
| 第53巻第26号, 2011. 6. 30号 | 総力特集墮落したケモノたちの群れ 東京電力作業員を欺いた「非情の指令」! 福島原発協力会社に無責任な「安全宣言」決定的証拠を入手 | | 24-27 |
| | 総力特集墮落したケモノたちの群れ 5時間で停止「汚染水浄化なんて夢のまた夢」原発作業員が告発する「灼熱の地獄」 | 鈴木 智彦/[著] | 27-29 |
| | 総力特集墮落したケモノたちの群れ 広報のドンが仕掛ける “洗脳キャンペーン” 「東電だけが悪いのか」「政府に責任を押しつけられた」 | | 29-31 |
| | 総力特集墮落したケモノたちの群れ “原発処理” フランス企業チェルノブイリで「最低最悪の評判」 | 青沼 陽一郎/[著] | 32-33 |
| | 震災から100日「被災地の希望と絶望」政治家たちよ、この過酷な現実を見よ 完全ルポ | | 38-43 |
| | THIS WEEK 社会 心配な放射能汚染レジャープールの安全性は大丈夫? | 岡崎 博之/[著] | 53 |
| | 夜ふけのなわとび 1222 風評について | 林 真理子/[著] | 58-59 |
| | 本音を申せば 連載第656回 非常事態5 | 小林 信彦/[著] | 60-61 |
| | 文春図書館 著者は語る “善意” を正常に機能させるために『検証東日本大震災の流言・デマ』荻上チキ | 荻上 チキ/[著] | 122 |
| | CATCH UP メルトダウンから100日原発30キロ圏内の酪農家に密着2カ月 終りのない汚染、何も見えない未来 | 郡山総一郎/撮影・文 | 151-155 |
| 第53巻第27号, 2011. 7. 7号 | 大特集東電と放射能悪いヤツら 放射能被曝野菜の真実 「出荷制限全面解除」本当にいいのか? | 浅川 芳裕/[著] | 28-30 |
| | 大特集東電と放射能悪いヤツら 福島汚染水浄化システムに致命的欠陥がある! 菅首相の恩師・東工大教授が国民に訴える | 有富 正憲/[著] | 31-32 |
| | 大特集東電と放射能悪いヤツら 東京電力369分怒濤の株主総会を実況中継! | 若林 亜紀/[著] | 34-34 |
| | 巨大津波「PTSDとの闘い」被災者の慟哭を聞け | 伊藤集也[ほか]/著 | 39-43 |
| | THIS WEEK 社会 ボランティアと経済復興が目的被災地ツアーに参加する人たち | 岡崎 博之/[著] | 53 |
| | 本音を申せば 連載第657回 非常事態6 | 小林 信彦/[著] | 60-61 |
| | 文春図書館 今週の必読 被災地のリアルな姿が立ち上がる渾身作『津波と原発』佐野真一 | 高嶋 哲夫/評 | 118 |
| | CATCH UP 3. 11で子供たちは何を見たのか? 80人の作文が伝える「つなみ」 | | 156-157 |
| 第53巻第28号, 2011. 7. 14号 | 本音を申せば 連載第658回 非常事態7 | 小林 信彦/[著] | 68-69 |
| | スクープ特集スッパ抜き! 福島原発汚染水浄化最短でも5年かかる! 「東電の大ウソ」技術幹部に徹底取材180分 | | 147-149 |
| | CATCH UP 『原発のウソ』著者小出裕章氏が語る「フクシマの明日と日本の未来」 「たかが電気のためになぜ原発なんて使うのですか?」 | 山田 真美/撮影 | 166-171 |
| | CATCH UP 東電西澤新社長、何を聞いても「おはようございます」 | 田中 茂/撮影 | 172-173 |
| 第53巻第29号, 2011. 7. 21号 | 九電「やらせメール」どころじゃない スクープ! 東京電力元社員が明かす「ペテン説明会」全手口! 国が主催する「公開ヒヤリング」。その実態は、東電お手盛りの “出来レース” だった | 藤吉 雅春/[著] | 22-25 |
| | 伊集院静の「悩むが花」連載第28回 Q原発でこれほどの大事故が… | 伊集院 静/[著] | 58 |
| | 通信の安心を支える現場 第1回 大震災に立ち向かうドコモの通信ネットワーク | 株式会社NTTドコモ | 69-71 |
| | 文春図書館 今週の必読 それでもなお原発を支持する地方のメカニズムとは? 『「フクシマ」論 原子カムラはなぜ生まれたのか』開沼博 | 野村 進/評 | 115 |
| | 文春図書館 私の読書日記 浸水範囲、「降れ降れ」、江戸人の自由 | 池澤 夏樹/[著] | 120-121 |
| | 池上彰のそこからですか!? 連載35 IAEA何するの? | 池上 彰/[著] | 124-125 |
| | ワイド特集熱い胸騒ぎ セシウム汚染牛出荷政府は “確信犯” だ! | 青沼陽一郎/[著] | 140 |
| | CATCH UP 石巻・大川小学校の7月7日 悲痛な短冊 | 三宅 史郎/撮影 | 149-151 |
| | CATCH UP 地元写真館店主がレンズ越しに見た南三陸町の4カ月 「私は人生を賭けて故郷を撮り続けます」 | 佐藤 信一/撮影 | 152-155 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ |
|--------------------------------------|---|-------------|--------------------|
| 第53巻第30号, 2011. 7. 28号 | CATCH UP 不肖・宮嶋、乱舞するハエにたかられながらの密着取材・これが自衛隊「フライ・バスターズ」や! | 宮嶋 茂樹/撮影 | 20 |
| | なでしこジャパン「フランクフルトの奇跡」全記録 最高年収480万福島原発シヨム、日テレ系ハケン社員も | | 27-28 |
| | 病院情報ファイル2011 原発被災地の医療 | 恵原真知子/取材・構成 | 119 |
| | 総力特集 原発は菅直人の玩具じゃない! セシウム汚染牛公評されない大手スーパー、出荷者の「実名」 | | 150-151 |
| | 総力特集 原発は菅直人の玩具じゃない! 汚染水浄化アレバ社がスガる「納豆の糸」ポリグルタミン酸 | | 152-153 |
| | CATCH UP 伊集院静が語る「復興」と「再生」日本人よ、震災を機に「新しい人」となれ | 杉山 秀樹/撮影 | 157-161 |
| 第53巻第31号, 2011. 8. 4号 | スポーツの力1 仙台でマー君、ダルビッシュが見せた 鎮魂のオールスター | 杉山 秀樹/撮影 | 16 |
| | 総力特集 新聞・TVがまったく報じない「国家の危機」 潜入ルポ「放射能汚染牛」農家が告発する「致命的な無策」 問題の稲ワラはここから全国にバラまかれた | 青沼 陽一郎/[著] | 22-24 |
| | 荻野アンナのワンダーランド宮城 がんばろう東北! がんばろう宮城! | 荻野 アンナ/[著] | 94-96 |
| | ワンポイント情報①震災復興支援『MISAWA HEART 2011』を発売 | | 122 |
| | この国のまつり 受け継がれる想いと未来への祈り | 小林紀晴/撮影・文 | 161-168 |
| 第53巻第32号, 2011. 8. 11-18号 の特大号 | 重大事件の目撃者 私はそこにいた! 平成23年気仙沼崖の上で死を覚悟した「60メートルの大津波」 | | 27-28 |
| | 重大事件の目撃者 私はそこにいた! 平成23年4号機爆発! 警察が撤退した現場に消防は残った | | 30-31 |
| | 菅直人原発事故福島県民200万人を見捨てた大罪 米軍が調査した「高濃度汚染地域」通告を無視 | | 41-43 |
| | 原発・放射能消えた主役を追い | | 44-47 |
| | 東日本大震災、「あの写真」の主人公たちは今 涙の先の笑顔を探した150日 | 三宅 史郎/撮影 | 211-218 |
| 第53巻第33号, 2011. 8. 25号 | 内閣官房参与松本健一怒りの独占告白 菅官邸被災地を見殺しにした「戦慄の内幕」 | 松本 健一 | 42-44 |
| | 夜ふけのなわとび 1229 ディスカバリージャパン | 林 真理子/[著] | 56-57 |
| | 見もの聞きもの Close Up 坂茂(建築家)「災害時建築」のプロフェッショナルが東北で展開する画期的システム | | 111 |
| | 文春図書館 文庫本を狙え! 676 『地震雑感/津波と人間』寺田寅彦著 | 坪内 祐三/[著] | 124 |
| | 私欲まみれ「震災復興プラン」をブツ斬る! | 東谷 暁/[著] | 134-136 |
| | 経産省「原発官僚」の大罪を暴く! 新次官の娘も東電社員、「更迭」で退職金上積み 原発事故避難区域、大震災被災地、鎮魂の夏 それでもホテルは瞬く | 小原 玲/撮影 | 146-148 162-165 |
| 第53巻第34号, 2011. 9. 1号 | CATCH UP 4号機から立ち上る不気味な煙 収束への工程表は本当に予定通りに進んでいるのか? | | 13 |
| | CATCH UP 被災地の夏1 ハワイで取り戻した束の間の笑顔 被災者45人を無償でホームステイに招待 | 岩根 愛/撮影・文 | 18-19 |
| | CATCH UP 被災地の夏2 瓦礫の街に咲くひまわり | 杉山 秀樹/撮影 | 20 |
| | 都内スーパーを徹底調査! イワシ、桃、茶葉、牛肉…「放射線」が検出された! 「108品目」完全リスト | 青沼 陽一郎/[著] | 27-31 |
| | 菅原文太「日本復興」に直言! 「草莽の士たちよ、地底から声を上げよ」 | 菅原 文太/[著] | 48-49 |
| | 風まかせ赤マント1047 福島、奥会津の憂鬱 | 椎名 誠/[著] | 72-73 |
| | 文春図書館 私の読書日記 写真で見るヒロシマ・ナガサキ、原発と原爆 | 立花 隆/[著] | 122-123 |
| 第53巻第35号, 2011. 9. 8号 | 東京電力「35年の墮落」 内部告発原爆168個分のセシウムが! | 桜井 淳/[著] | 40-42 |
| | THIS WEEK 暮らし 東日本震災、原発事故の影響で今年の新米商戦に異常あり | 岡崎 博之/[著] | 55 |
| | 本音を申せば 連載第665回 2011年夏の出来事 | 小林 信彦/[著] | 62-63 |
| | いまなんつった? 連載160 「べっ! べっ! べっ! べっ!」 | 宮藤 官九郎/[著] | 69 |
| | 文春図書館 今週の必読 かつてない汚染に直面。われわれはどうすればいい? 『放射能に生きる』武田邦彦 | 河崎 貴一/評 | 123 |
| | CATCH UP フクシマの切なすぎる新学年 放射能除染で校庭は使えず、1校に4つの学校が間借り | 深野 未季/撮影 | 153-155 |
| | CATCH UP 不肖・宮嶋が見た福島原発20キロ線上の荒廃 | 宮嶋 茂樹/撮影 | 156-157 |
| 第53巻第36号, 2011. 9. 15号 | 9. 11の昨日と3. 11の明日 ニューヨークテロに遭遇した10年後、私は東日本大震災を体験した | 小林紀晴/撮影・文 | 155-159 |
| 第53巻第37号, 2011. 9. 22号 | CATCH UP ドジョウ総理、ハチに刺される 鉢呂経産大臣、就任9日目で失言辞任 | 山元 茂樹/撮影 | 13 |
| | 総力特集 鉢呂だけじゃないスキャンダル時限爆弾 鉢呂自爆! ずっとあなたはおバカだった 「放射能つけちゃうぞ」は氷山の一角 | | 25-26 |
| | 東京電力「反省なき値上げ」を許すな | | 35-36 |
| | THIS WEEK 国際 被災地の子供が綴った感動作文「つなみ」が世界へ | | 52 |
| 第53巻第38号, 2011. 9. 29号 | 東電が国会に提出した禍々しい黒塗り資料 | | 20 |
| | THIS WEEK 新聞不信 何とも珍妙な「トップ記事」 | 兎 | 50 |
| | THIS WEEK 社会 原発の放射線被害へ募る不安線量計、病院の検査の信頼度 | | 51 |
| | 枝野経産相よ、東電をなぜ破綻処理しない | 小宮 一慶/[著] | 134-135 |
| 第53巻第39号, 2011. 10. 6号 | 真相追求! アンフェアな「女と男」 東電元社長ヌケヌケと「原発を動かせば料金も下がる」 | | 139-140 |
| 第53巻第40号, 2011. 10. 13号 | CATCH UP 飯館村の叫び | 飯田勇/撮影・文 | 13-17 |
| | CATCH UP 空の見えない運動会 原発に翻新された福島の子供たち | 山田 真美/撮影 | 18-19 |
| | 命懸け潜入ルポ 福島第一原発「絶望の現場」で働いた! 初めて明らかになる驚愕の事実 | 鈴木 智彦/[著] | 37-41 |
| | THE WEEK 暮らし 震災後、不動産の価値観も変化安全安心な「住宅選び」新基準 | 岡崎 博之/[著] | 51 |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|--------------------------------|--|-------------|------------------|
| | 阿川佐和子のこの人に会いたい 第894回 「想定外」ではなく、「想定しないことにしよう」としていただけなんです。 | 阿川佐和子〔ほか／談〕 | 124-128 |
| | 山から放射能が降ってくる福島市「最悪の被曝地帯」 | 青沼 陽一郎〔著〕 | 130-132 |
| 第53巻第41号, 2011. 10. 20号 | CATCH UP 密着アルバム 菅前総理、お遍路で大いに語る | 山元 茂樹／撮影 | 13-17 |
| | 大反響集中連載第2回「原発潜入作業員」 放射能汚染水「灼熱地獄」に飛び込んだ！ アメリカ人技術者が職場放棄 | 鈴木 智彦 | 44-49 |
| | 地域に根ざした復旧・復興のためにいまできること 被災地に寄り添い奮闘する明日への希望を担う人たち | 三井物産株式会社／提供 | 92-93 |
| | 独占激白 福島第一原発の保守管理者として32年勤めた東電を断腸の想いで告発する！ | 蓮池 透〔著〕 | 151-153 |
| | CATCH UP 不肖・宮嶋の被災地異聞 津波は自然までも狂わせたのか 川では鮭が釣り放題、ススキとともに桜咲く | 宮嶋茂樹／撮影・文 | 156-157 |
| 第53巻第42号, 2011. 10. 27秋の特大号 | CATCH UP 誕生日は、3月11日 あの日、被災地で誕生した11人の子供たち | 小林 紀晴／撮影 | 17-23 |
| | 大反響集中連載最終回「原発潜入作業員」「原子力村のタブー」取材がバレて解雇された！ | 鈴木 智彦〔著〕 | 160-164 |
| | 「放射線」魚貝、エビ、イカ初の徹底調査！ 築地市場、大手スーパーで83品目を購入 | 青沼 陽一郎〔著〕 | 165-169 |
| 第53巻第43号, 2011. 11. 3号 | CATCH UP 不肖・宮嶋が見た震災復興への道程 釜石の「戦艦ヤマト」7カ月ぶりに海に還る | 宮嶋 茂樹／撮影 | 24 |
| 第53巻第44号, 2011. 11. 10号 | 「海の放射能汚染」漁師たちの闘い 福島、宮城、茨城、千葉漁港縦断ルポ | 青沼 陽一郎〔著〕 | 136-139 |
| 第53巻第45号, 2011. 11. 17号 | CATCH UP 彼女たちのフクシマ あの日以来、すべてが変わってしまった町に生きる | 岩根 愛／撮影 | 13-17 |
| | CATCH UP 飯館村で味わった、「怒りのキノコごはん」 計画的避難区域の「失われた秋の味覚」 | 飯田 勇／撮影・文 | 18-19 |
| | 文春図書館 私の読書日記 原発、普天間、沖縄 | 池沢 夏樹〔著〕 | 122-123 |
| | スクープワイド「想定外」ワナ 蓮池透が警告！ 東京電力まだ続く「ペテンの流儀」 | 蓮池 透〔著〕 | 137-138 |
| 第53巻第46号, 2011. 11. 24号 | 文春図書館 今週の必読 3・11後の壮絶な現場を見つめた渾身作『遺体 震災、津波の果てに』石井光太 | 山折 哲雄 | 121 |
| 第53巻第47号, 2011. 12. 1号 | CATCH UP ブータン国王夫妻が見た被災地 震災後初の国賓は「世界一幸せな国」から | 近藤 俊哉／撮影 | 164-165 |
| 第53巻第48号, 2011. 12. 8号 | CATCH UP 退院からわずか5日後にご公務復帰 天皇陛下が見せられた労りと愛情 福島第一原発吉田所長が号泣した日 メルトダウンと戦った指揮官緊急入院！ | 深野 未季／撮影 | 13 30-31 |
| 第53巻第49号, 2011. 12. 15号 | 岩手、宮城、福島徹底ルポ「震災復興バブル」の現場を歩く 空前の予算、仕事はあるのに人手がない | | 143-145 |
| | スギ花粉にセシウムがついて来る！？ 花粉症対策に深刻な問題提起 | 青沼 陽一郎〔著〕 | 148-149 |
| 第53巻第50号, 2011. 12. 22号 | CATCH UP 不肖・宮嶋 警戒区域に潜入撮 原発に肉薄して見た「除染」と「時の止まった街」 | [宮嶋 茂樹]／撮影 | 18-19 |
| | 文春図書館 著者は語る 震災後の日本の空気に風穴を開ける挑発作『恋する原発』高橋源一郎 | 高橋 源一郎〔著〕 | 130 |
| | CATCH UP 仮設住宅独居老人たちの冬 震災から九カ月寒風吹きすさぶ岩手、宮城を訪ねる | 田中 茂／撮影 | 167-174 |
| 第53巻第51号, 2011. 12. 29号 | 東日本大震災「隠されたスキャンダル」 チェルノブイリの教訓を無視 野田首相原発事故収束宣言は世界の笑いもの | 青沼 陽一郎〔著〕 | 22-24 |
| | 東日本大震災「隠されたスキャンダル」 作業員は見た！ 福島第二原発も地震で放射能洩れ | 鈴木 智彦〔著〕 | 24-26 |
| | 東日本大震災「隠されたスキャンダル」 放射能汚染福島で不気味な植物巨大化進行中 | | 28 |
| | 東日本大震災「隠されたスキャンダル」 佐藤栄佐久前知事が語った「放射能とUFOの | | 28-29 |
| | 東日本大震災「隠されたスキャンダル」 輸出阻止まだ嫌われるメイドインジャパン | | 31-32 |
| | 東日本大震災「隠されたスキャンダル」 仏アレバ社役立たず浄化装置でいくらブン獲った？ | | 33 |
| | THIS WEEK 新聞不信 「冷温停止状態」か「事故収束」か | 翼〔著〕 | 50 |
| | 本音を申せば 連載第681回 〈復旧〉ではなく〈復興〉を！ | 小林 信彦〔著〕 | 58-59 |
| 第54巻第1号, 2012. 1. 5-12新年特大号 | 福島原発衝撃の真実！ 官邸、東電、大メディアの「原罪」 隠し続けた90日 上杉隆 最後の渾身ドキュメント | 上杉 隆〔著〕 | 30-33 |
| | 東京電力と放射能の「タブー」すべて話そう | 坂本龍一〔ほか／談〕 | 68-71 |
| | 消えた女消された事件 小出裕章VS山下俊一フクシマが露にした学者の良心 | | 213-214 |
| 第54巻第2号, 2012. 1. 19新春特別号 | 2012年被災地のいつもと違うお正月 住民たちが記録した元旦の「食卓」と「風景」 年末&年始「書かれざるスキャンダル」 箱根駅伝柏原父が語る「息子は被災地を見て奮起した」 | | 13-19 149-150 |
| 第54巻第3号, 2012. 1. 26号 | ぶち抜き特集「運命の人」 東電会見は二転三転原発作業員はなぜ死んだか？ | | 148 |
| | CATCH UP 阪神・淡路大震災から17年「復興した町」の復興住宅で暮らす独居老人を訪ねる | 大久保 千広／撮影 | 158-161 |
| 第54巻第4号, 2012. 2. 2号 | 「原発ストレステスト」日本は勘違いしている | 青沼 陽一郎〔著〕 | 152-153 |

| 巻号 | 内容細目 | 著者 | ページ | |
|--|---|---|--------------------|-------|
| 第54巻第5号, 2012. 2. 9号 | CATCH UP 脱原発へのカウントダウン | 三宅 史郎／撮影 | 13-15 | |
| 第54巻第8号, 2012. 3. 1号 | CATCH UP メルトダウンから11カ月原発20km圏内は時間が止まったままだった 棄てられた町、無人の世界 | 岩根 愛／撮影 | 17-21 | |
| | 郡山4歳児と7歳児に「甲状腺がん」の疑い 福島からの避難民11人に深刻な異常が見 つかった | おしどりマコ[ほか／著] | 26-29 | |
| | セシウム「スギ花粉」が放射性物質を日本に拡散する 地震&がん保険誰も知らない「正しい入り方」 大震災で加入者が急増 | 青沼 陽一郎／[著] | 160-161 178-181 | |
| 第54巻第9号, 2012. 3. 8号 | 「東日本大震災」終わらない恐怖と一瞬の光 大津波から一年TVでは流せない「被災者 の肉声」 | | 41-47 | |
| | 「東日本大震災」終わらない恐怖と一瞬の光 原発崩壊3・11私はそこにいた！ その 瞬間何が起こったのか？「民間事故調」初めて明かされる緊迫の完全証言 | 藤吉 雅春／[著] | 48-55 | |
| | 「東日本大震災」終わらない恐怖と一瞬の光 「作家の言葉」 あらゆるものを否定せよ | 野坂 昭如／[著] | 154-155 | |
| | 「東日本大震災」終わらない恐怖と一瞬の光 「作家の言葉」 東日本大震災に思う | 津本 陽／[著] | 155 | |
| | 「東日本大震災」終わらない恐怖と一瞬の光 「4歳児と7歳児に『甲状腺がん』の疑 い！」私はこう考える 山下福島医大副学長の「安全講話」 御用学者は即刻退場せよ | 伊藤 隼也／[著] | 158-160 | |
| | 「東日本大震災」終わらない恐怖と一瞬の光 「4歳児と7歳児に『甲状腺がん』の疑 い！」私はこう考える チェルノブイリに学べ本格的な健康被害はこれから | 青沼陽一郎／[著] | 160-161 | |
| 第54巻第10号, 2012. 3. 15号 | 2012年3月、私は母になる 原発事故から1年新たな命を宿した福島の女性たち | 岩根 愛／撮影 | 13-17 | |
| | CATCH UP 世界各国から届いた美しく熱いメッセージ ミス・インターナショナルから 日本に愛をこめて | ヴィンセント・ホアン／ 撮影 | 18-19 | |
| | CATCH UP 石巻市「100年分の瓦礫」は処理も受入も遅々として進まず 瓦礫にくす ぶる有毒ガスと被災地の苛立ち | 宮嶋 茂樹／撮影 | 20-21 | |
| | CATCH UP 震災時はお腹の中&卵でした 水族館ですくすく育つ「きぼう」と「春」 | 尾崎 たまき／撮影 | 22-23 | |
| | CATCH UP 原発20km圏内の悲劇 35年ローンは3月11日から引き落とし予定 だった帰れないマイホーム | 飯田 勇／撮影 | 24 | |
| | 総力特集東日本大震災365日「消えた事件」「消された叫び」 東京に「戒厳令」発動極 秘作戦書を独占入手！ スクープ民間事故調も知らない緊迫の瞬間 原発暴走 | | 31-36 | |
| | 総力特集東日本大震災365日「消えた事件」「消された叫び」 菅直人危機管理センター に差し入れた柿ピー | | 37-38 | |
| | 総力特集東日本大震災365日「消えた事件」「消された叫び」 復興パブルにわくいわき 原発作業員に夜間外出禁止令 | | 38 | |
| | 総力特集東日本大震災365日「消えた事件」「消された叫び」 ストーブにやかんでガン バった小名浜ソーブ奮闘記 | | 41-42 | |
| | 総力特集東日本大震災365日「消えた事件」「消された叫び」 帰還困難区域に戻れない “されどわれらが日々” 密着ルポ | | 43-45 | |
| | 「原発廃炉」40年後に待つ “地獄絵図” 汚染廃棄物の捨て場がない | 東京新聞原発取材班／[著] | 50-53 | |
| | 著名人が明かす「3・11」が私の人生を変えた！ 塩川正十郎／ビーター・バラカン／山 本陽子／安藤優子／吉岡忍／小島慶子／弘兼憲史／鴻上尚史／加藤登紀子／ダニ エル・カール／関口宏／C・W・ニコル | | 155-160 | |
| | CATCH UP 被災者が撮った東日本大震災 あの日の涙、あの日の笑顔 避難所で暮らした150日間の食事記録 今こそ振り返る大震災の日々 | 菊池 信平／撮影 | 179-190 192-195 | |
| | 第54巻第11号, 2012. 3. 22号 | CATCH UP 天皇陛下と東日本大震災 | 日本雑誌協会代表取材／撮影 | 11-13 |
| CATCH UP 東電、本日モ反省ノ色ナシ | | 三宅 史郎／撮影 | 14-15 | |
| CATCH UP 14時46分 東北と東京の3月11日 | | | 16-18 | |
| 東電「最悪の再建計画」舞台裏をスッパ抜く！ 国費2兆6千億円投入、枝野大臣やらせ パフォーマンス 内部告白！ | | | 26-29 | |
| 天皇が吐露された雅子さま「ご病状」への懸念 「震災追悼式」22分ご出席の全内幕 見もの聞きもの 言葉尻とらえ隊 21 ありがとう、おかげさまで福島は元気です | | 能町 みね子／[著] | 30-33 119 | |
| 文春図書館 著者は語る 東北在住のベストセラー作家が描く “日常” と “3・11” 『仙台ぐらし』 | | 伊坂 幸太郎／[著] | 132 | |
| 石巻工業野球部「ガレキと闘った球児たち」 密着ルポ 甲子園初出場！ 読者より ゴールが見えない廃炉／福島県いわき市の現実／写真から学んだこと | | 神田 憲行／[著] | 148-151 164 | |
| CATCH UP 11人の写真家が見た2012年3月11日 浅田政志／荒木経惟／上田 義彦／川内倫子／小林紀晴／新津保建秀／瀧本幹也／都築響一／平間至／藤代眞 砂／宮嶋茂樹 | | | 165-176 | |
| 第54巻第12号, 2012. 3. 29号 | | 復興応援キリン絆プロジェクト 「農業編」レポート 津波に浸かった農地を菜の花畑に。 | 高安正樹[ほか／著] | 2-3 |
| | | 本音を申せば 連載第693回 がれきと積雪 | 小林 信彦／[著] | 68-69 |
| | 東日本大震災、原発事故私はこう変わった！ 2000人大アンケート | | 145-147 | |
| 第54巻第13号, 2012. 4. 5号 | 「震災復興」不都合すぎる真実 「奇跡のボランティア組織」と絶賛された石巻ボランティア会長「ガレキ処理」補助金 チョロまかし | 田中康夫[ほか／談] 川村 昌代／[著] | 50-54 156-159 | |
| | 細野原発担当相の「資質」を問う | | 158-159 | |
| 第54巻第16号, 2012. 4. 26号 | CATCH UP 『「つなみ」の子どもたち』スイス・アルプス旅行記 | 山田 真美／撮影 | 20-23 | |
| | 「『つなみ』の子どもたち」スイスへ行く 大宅賞受賞 | 森 健／[著] | 142-145 | |
| 第54巻第17号, 2012. 5. 3-10ゴールデン ウィーク特大号 | 告白ワイド30本今だから話せる 福島第一原発吉田所長「被災地復興基金のため」回 顧録執筆中 | | 192 | |
| 第54巻第18号, 2012. 5. 17号 | CATCH UP 不肖・宮嶋、原発20km圏内を往く フクシマにも春は来るなり | 宮嶋茂樹／撮影・文 | 13-17 | |

| 巻 号 | 内 容 細 目 | 著 者 | ページ |
|----------------------------|--|-----------|---------|
| 第54巻第19号, 2012. 5. 24号 | Close Up 原発事故で取り残されたペットたちは一迷いながらの取材は半年以上に渡った | 森 絵都/[著] | 123 |
| 第54巻第21号, 2012. 6. 7号 | CATCH UP 菅直人が事故調で明かした家庭内メルトダウン 夫婦喧嘩は原発より激し!? | 田中 茂/撮影 | 13 |
| | CATCH UP 震災瓦礫、広域処理の苦悩 | 山元 茂樹/撮影 | 14-15 |
| 第54巻第23号, 2012. 6. 21号 | CATCH UP 行方不明者1200人以上を捜索する岩手県警の月命日 東日本大震災から1年3カ月 | 志水 隆/撮影 | 176-177 |
| 第54巻第29号, 2012. 8. 2号 | 新聞不信 なぜ原発労働者を無視したのか | | 56 |
| 第54巻第32号, 2012. 8. 30号 | CATCH UP 石巻で本格稼働巨大円柱の正体は? | 杉山 拓也/撮影 | 176 |
| 第54巻第33号, 2012. 9. 6号 | CATCH UP 東北三県、被災地の夏 | 杉山 拓也/撮影 | 166-169 |
| 第54巻第40号, 2012. 10. 25号 | CATCH UP 復興を強く願う両陛下の眼差し 除染作業を視察され、仮設住宅をご訪問 | 山田 真美/撮影 | 20-21 |
| 第54巻第48号, 2012. 12. 20号 | 文春図書館 私の読書日記 秘密基地、原発事故の証言、系統樹 | 立花 隆/[著] | 140-141 |
| 第54巻第49号, 2012. 12. 27号 | 文春図書館 私の読書日記 震災句、シェクスピアの秘密、数学の秘密 | 池澤 夏樹/[著] | 130-131 |